

志布志市学校施設等長寿命化計画

令和3年3月

志布志市

目 次

序章. 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	2
3. 計画期間	10
4. 計画における対象施設	10

第1章. 学校施設等の目指すべき姿

1. 学校施設等の今日的な課題	11
(1) 安全・快適な学校施設の環境向上	11
(2) 児童・生徒の減少に伴う適正な学校の再編	11
(3) 社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充	11
(4) 生活空間としての施設の充実	11
(5) 地域コミュニティ施設としての活用	12
2. 学校施設等のあり方	13

第2章. 学校施設等の実態

1. 志布志市を取り巻く状況	15
(1) 志布志市の概況	15
(2) 人口・世帯数の推移	16
(3) 年齢別人口の推移	17
(4) 将来人口	18
(5) 地域別人口の推移	19
(6) 財政状況	21
2. 運営状況・活用状況の把握	25
(1) 公共施設全体の保有状況	25
(2) 学校施設等の保有状況	26
(3) 児童・生徒数及び学級数の変化	31
(4) 職員数の推移	37
(5) 学校施設等の配置状況	39
(6) 学校の維持管理コスト	41
(7) 学校施設等の実態を踏まえた課題	46
3. 学校施設等の老朽化状況	48
(1) 学校施設等の老朽化状況の把握	48
(2) 学校施設等の老朽化所見	57

第3章. 学校施設等整備の基本方針

1. 学校施設の規模・配置計画等の方針	58
(1) 適正配置の方針	58
(2) 適切な施設整備の方針	59
2. 改修等の基本的な方針	60
(1) 長寿命化の方針	60
(2) 予防保全の方針	63
(3) 目標使用年数の設定	64
(4) 改修周期の設定	65

第4章. 基本的な方針を踏まえた施設の水準

1. 改善等の整備水準	66
2. 維持管理の項目・手法等の検討	68
(1) 維持管理の必要性	68
(2) 維持管理の項目	69
(3) 点検・評価結果の蓄積	71

第5章. 長寿命化の実施計画

1. 施設評価及び優先順位	72
(1) 改修等の優先順位	72
2. コスト試算	73
(1) 単価設定	73
(2) コスト試算条件	74
(3) コスト試算結果	74
3. 事業計画	76
(1) 今後10年間の事業計画の考え方	76
(2) 今後10年間の事業計画	77
4. 事業推進のための財源	79

第6章. 長寿命化計画の継続的運営方針

1. 情報基盤の整備と活用	80
(1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成	80
(2) データベース及び簡易マニュアルの作成	80
(3) データベースの活用	80
2. 推進体制等の整備	81
3. フォローアップ	82



序章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景と目的

本市の学校施設は、高度経済成長期を契機として昭和 30 年代から 40 年代に集中して整備され、長寿命化の検討となる築 40 年以上を経過する建物が全体の 4 割強を占めている状態です。

その中で、校舎、屋内運動場等の主要建物の合計 144 棟のうち、65 棟が旧耐震基準である昭和 56 年以前に建設されたものであったため、これらを対象に耐震診断を行い、校舎及び屋内運動場は診断結果に基づいた耐震補強工事等が完了しています。

耐震補強を行った建物を含め、建築から長い年数が経過した建物や設備の老朽化により、今後、建替え又は大規模改修に多額の費用が必要となると考えられます。

しかしながら、厳しい財政状況の中、学校施設の整備を集中的に行うことは困難であり、財政運営に大きな影響を与えることから、計画的な施設整備を行う必要があります。

全国的に同様の傾向が見られる中、文部科学省は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を公表し、単なる更新のための改修・改築ではなく、施設を長い期間、有効利用できる長寿命化改修への転換、計画的な維持管理に向けた中長期計画の策定・実施の考え方を示しています。

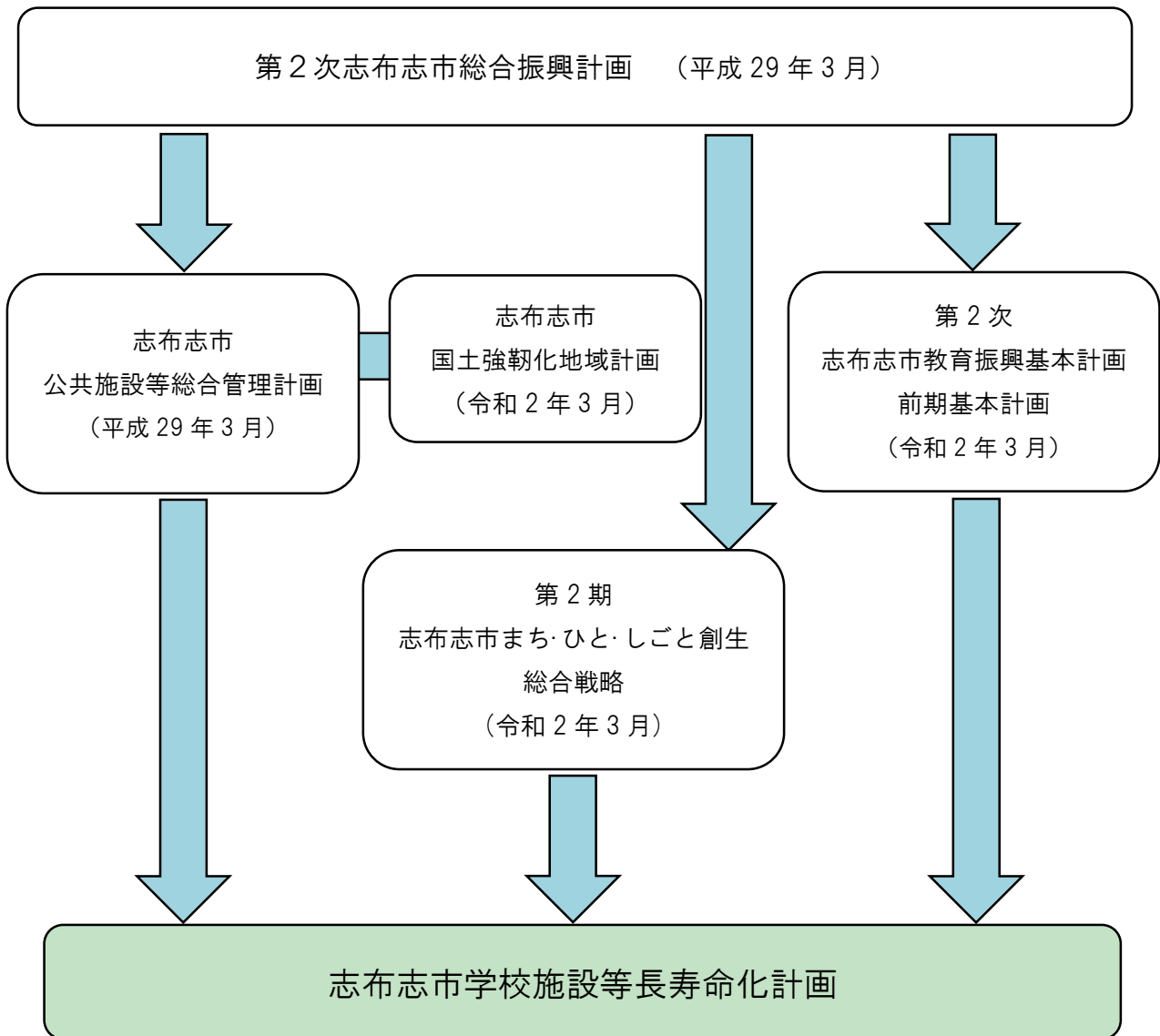
学校施設等長寿命化計画（以下、「本計画」という）は、以下の背景を踏まえ、中長期的な視点から学校施設として求められる機能や役割などを考慮しながら長寿命化改修、建替等の方向性や優先順位等を設定し、施設整備に要するライフサイクルコストの縮減、財政負担の平準化、児童生徒の安全性の確保や適正な教育環境の充実を図ることを目的として、策定するものです。

* 学校施設長寿命化計画の背景

中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現しつつ、こうした学校施設に求められる機能を確保するため、域内の学校施設の老朽化等の状況を把握し、地域における学校施設の役割等を考慮した上で、長期的な施設整備の具体的方針・計画を示すものである。

2. 計画の位置づけ

本計画は、以下の上位・関連計画を踏まえ、それらの内容との整合を図りながら、多様な機能や役割を充足しつつ、施設整備を計画的に行い、長寿命化を図ることを目的として策定します。次頁で上位計画である「第2次志布志市総合振興計画」、「第2期志布志市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「志布志市公共施設等総合管理計画」、「第2次志布志市教育振興基本計画 前期基本計画」について学校施設に関する内容を整理します。



第 2 次志布志市総合振興計画	
策定年	平成 29 年 3 月
計画期間	基本構想：平成 29 年度～令和 8 年度 基本計画：前期:平成 29 年度～令和 3 年度 後期:令和 4 年度～令和 8 年度 実施計画：各年
基本理念	“志” あふれるまち
将来都市像	未来へ躍動する創造都市 志布志 【さらに輝く ひと・まち・みなと・ふるさとを目指して】
基本目標	1.「郷と郷」「人と人」「物と物」のつながりがあるまち 2.自然や風土と共生する安心で豊かなまち 3.大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち 4.生き生きと笑顔で暮らせるまち 5.心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち 6.人と地域が輝く共生・協働・自立のまち 7.市民とともに歩む「ムダ」のない経営
学校施設に関する内容	<p>基本目標 5〈教育・文化〉 心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち</p> <p>個別目標 5-1 たくましく生きる力を育むまち</p> <p>●施策 1：知・徳・体の調和のとれた教育の推進</p> <p>(4) 学校における ICT 環境の整備を図るため、デジタルテレビ・電子黒板・パソコン・校内 LAN を更新するとともに、タブレット端末の導入を年次的に進める。</p> <p>(5) 小中一貫教育の導入や、コミュニティ・スクールの導入校を新たに増やすことで、より地域と一体となった学校づくりに努め、地域に開かれ信頼される学校づくりを目指す。</p> <p>●施策 2：教育環境の整備</p> <p>(1) 学校環境の安全管理のため、実態把握と適切な整備を行うとともに、不審者対策や避難訓練などを行う。</p> <p>(2) 子どもを犯罪等の被害から守るため、各関係機関と連携しながら防犯灯の整備やパトロールの実施、子ども 110 番の家の設置、防犯ブザーの配布や地域住民等の学校安全ボランティアであるスクールガードの養成・活用に努め、安全な地域づくりと安全教育の充実を推進する。</p> <p>(3) 学校施設は、著しい老朽化への対応や施設の全般的な事故防止の観点からも、緊急度の高い建物について大規模改修や改築などの整備を行う。また、小・中学校のトイレの洋式化や屋外運動場の排水対策等も年次的に整備する。</p> <p>(4) 社会教育施設や社会体育施設については、その有効利用を図るとともに、老朽化の著しい施設については、緊急度や必要性に応じ改修を行う。</p>

第2期 志布志市まち・ひと・しごと創生 総合戦略								
策定年	令和2年3月							
計画期間	令和2年4月から令和4年3月							
基本目標	<p>【基本目標1】 稼ぐ志布志をつくとともに、安心して働けるようにする。</p> <p>【基本目標2】 ひとや企業とのつながりを築く</p> <p>【基本目標3】 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる</p> <p>【基本目標4】 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる</p>							
学校施設、 公営住宅に 関する内容	<p>【基本目標4】 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる</p> <p>(3) 公共施設最適化プロジェクト</p> <p>人口減少社会における人口規模や財政状況に対応した公共施設を備えていくため、公共施設等のストックマネジメントを強化します。</p> <p><重要業績評価指標（KPI）></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公共施設等個別施設計画の策定</td> <td>未策定 (R1年度)</td> <td>策定済 (R3年度)</td> </tr> </tbody> </table> <p><取組内容></p> <p>・公共施設等の長寿命化の推進、維持管理コストの削減、総資産量の適正化の実施</p>		指標	基準値	目標値	公共施設等個別施設計画の策定	未策定 (R1年度)	策定済 (R3年度)
指標	基準値	目標値						
公共施設等個別施設計画の策定	未策定 (R1年度)	策定済 (R3年度)						

志布志市 公共施設等総合管理計画

策定年 平成 29 年 3 月

計画期間 平成 29 年度から令和 8 年度

基本目標

方針 1：長寿命化の推進

60 年で建替えを予定していた建物については長寿命化にかかる工事を実施し、70 年利用できるようにすることで、建替え費用の圧縮に努める。

方針 2：維持管理コストの削減

統廃合しない施設についても、光熱水費をはじめとした経常的にかかる維持管理コストの削減に努める。

方針 3：総資産量の適正化

公共施設等の廃止、複合化、集約化、用途変更等を行うことで、更新及び更新後の管理コストの削減に努める。

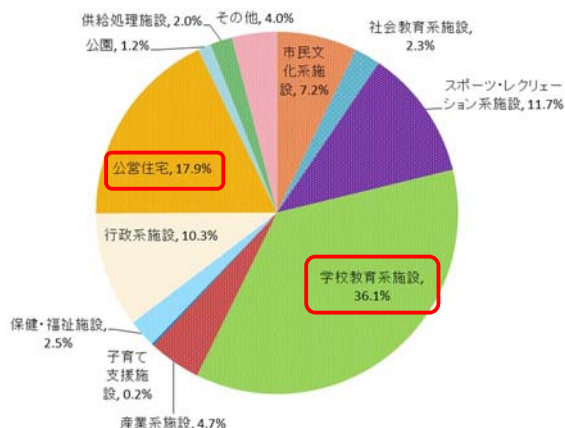
目標

今後 10 年で総資産量の 7.7%の削減

公共施設等の保有状況

本市が保有する公共施設は、858 棟、総延べ床面積 205,590.36 m²。用途別に分類すると、保有面積は「学校教育系施設」が最も多く、次いで「公営住宅」となっている。

施設分類	施設数	延床面積	
		面積(m ²)	構成比
市民文化系施設	41	14,744	7.2%
社会教育系施設	22	4,821	2.3%
スポーツ・レクリエーション系施設	49	24,002	11.7%
学校教育系施設	194	74,199	36.1%
産業系施設	53	9,617	4.7%
子育て支援施設	2	375	0.2%
保健・福祉施設	17	5,159	2.5%
行政系施設	60	21,135	10.3%
公営住宅	261	36,821	17.9%
公園	51	2,429	1.2%
供給処理施設	51	4,044	2.0%
その他	57	8,243	4.0%
合計	858	205,590	100.0%



「志布志市 公共施設総合管理計画（平成 29 年 3 月）」から抜粋

<現在の状況>

- ・児童生徒数は年々減少傾向。
- ・大半の施設は建築後30年を経過し、内部外部ともに著しい老朽化が進む。
- ・財政的な制約もあり年次計画に沿った大規模改修を実施。
- ・建築後間もない場合でも、一部施設では内部の機器類に故障がみられ、中長期的には機器の入れ替え等が予想される。

<今後の方針>

- ・児童生徒数の減少による空きスペースの利活用方法の検討。
- ・施設情報の一元管理・予防保全に努める。

学校施設に関する内容

中分類	施設名称	建物名称	取得年度	経過年数	施設(棟)延床面積(m ²)
学校	原田小学校	校舎	2005	10	350.00
学校	志布志中学校	校舎	2001	14	1440.00
学校	山重小学校	校舎	2000	15	2695.00
学校	森山小学校	校舎	1995	20	40.00
学校	泰野小学校	校舎	1994	21	393.00
学校	蓬原小学校	校舎	1994	21	2232.00
学校	尾野見小学校	校舎	1993	22	342.00
学校	安楽小学校	校舎	1993	22	1472.00
学校	宇都中学校	校舎	1993	22	3564.00
学校	野神小学校	校舎	1991	24	926.00
学校	通山小学校	校舎	1991	24	411.00
学校	志布志中学校	校舎	1991	24	989.00
学校	有明小学校	校舎	1990	25	1015.00
学校	志布志中学校	校舎	1899	26	203.00
学校	有明中学校	校舎	1986	29	1628.00
学校	志布志小学校	校舎	1981	34	1322.00
学校	志布志小学校	校舎	1981	34	33.00
学校	志布志小学校	校舎	1981	34	1286.00
学校	伊崎田中学校	校舎	1980	35	1241.00
学校	伊崎田中学校	校舎	1980	35	365.00
学校	潤ヶ野小学校	校舎	1979	36	1365.00
学校	通山小学校	校舎	1979	36	991.00
学校	通山小学校	校舎	1979	36	360.00
学校	松山中学校	校舎	1979	36	226.00
学校	志布志中学校	校舎	1979	36	701.00
学校	泰野小学校	校舎	1978	37	234.00
学校	尾野見小学校	校舎	1977	38	91.00
学校	安楽小学校	校舎	1976	39	598.00
学校	原田小学校	校舎	1974	41	1083.00
学校	尾野見小学校	校舎	1969	46	1277.00
学校	松山中学校	校舎	1966	49	440.00
学校	松山小学校	校舎	1965	50	1945.00
学校	泰野小学校	校舎	1965	50	1112.00
学校	森山小学校	校舎	1965	50	828.00
学校	通山小学校	校舎	1965	50	338.00
学校	四浦小学校	校舎	1964	51	429.00
学校	四浦小学校	校舎	1964	51	285.00
学校	有明小学校	校舎	1964	51	976.00
学校	松山中学校	校舎	1964	51	329.00
学校	伊崎田中学校	校舎	1964	51	411.00
学校	松山中学校	校舎	1963	52	1752.00
学校	有明中学校	校舎	1962	53	633.00
学校	野神小学校	校舎	1960	55	1045.00
学校	志布志小学校	校舎	1958	57	1428.00
学校	志布志中学校	校舎	1951	64	2084.00
その他教育施設	志布志市立学校給食センター	給食センター	2008	7	2148.00
その他教育施設	松山学校給食センター	給食センター	1989	26	373.15

※学校施設のみを抜粋

公営住宅：低所得者に対する住宅、教職員住宅、そして人口減少抑制のための定住促進住宅によって構成

<現在の状況>

- ・人口減少ではあるが、入居については一定のニーズがあり、統廃合された小中学校の教職員住宅については通常の住居として貸付を行っている。
- ・建築後 30 年以上経過している住宅については著しく老朽化している施設が大半であり、すでに多額の修繕費用がかかっている。本市の財政負担の観点からしてもニーズに見合った適正規模での住宅提供、計画的な建替え、修繕や改修が必要。

<今後の方針>

- ・本市策定の「公営住宅長寿命化計画」に基づき、入居調整を行いながら住宅の整備（維持・改善・用途廃止）を行うことで、施設延床面積の削減を図る。
- ・老朽化した教職員住宅の一部については、平成 29 年度以降に取り壊しを計画。

公営住宅に関する内容

中分類	施設名称	建物名称	取得年度	経過年数	施設(棟)延床面積(m ²)
公営住宅等	原田小学校 教員住宅	教員住宅	2013	2	88
公営住宅等	有明小学校 教員住宅	教員住宅	2012	3	88
公営住宅等	蓬原小学校 教員住宅	教員住宅	2011	4	87.5
公営住宅等	有明中学校 教員住宅	教員住宅	2005	10	75
公営住宅等	四浦小学校 教員住宅 校長教頭住宅	教頭住宅	2002	13	80
公営住宅等	山重小学校 教員住宅	教員住宅	2000	15	77
公営住宅等	田之浦小学校 教員住宅 教頭	教頭住宅	1996	19	80
公営住宅等	志布志中学校 教員住宅 教頭	教頭住宅	1994	21	82
公営住宅等	森山小学校 教員住宅 教頭	教頭住宅	1993	22	82
公営住宅等	安楽小学校 教員住宅 校長	校長住宅	1991	24	80
公営住宅等	潤ヶ野小学校 教員住宅 教頭	教頭住宅	1991	24	80
公営住宅等	田之浦小学校 教員住宅 校長	校長住宅	1990	25	80
公営住宅等	潤ヶ野小学校 教員住宅 校長	校長住宅	1990	25	80
公営住宅等	四浦小学校 教員住宅 職員住宅	職員住宅	1989	26	60
公営住宅等	教育長住宅	教育長住宅	1989	26	109
公営住宅等	香月小学校 教員住宅 校長	校長住宅	1987	28	80
公営住宅等	森山小学校 教員住宅 校長	校長住宅	1987	28	80
公営住宅等	志布志小学校 教員住宅 教頭	教頭住宅	1982	33	80
公営住宅等	志布志中学校 教員住宅 校長	校長住宅	1981	34	67
公営住宅等	原田小学校 教員住宅	教員住宅	1981	34	73
公営住宅等	蓬原小学校 教員住宅	教員住宅	1980	35	73
公営住宅等	伊崎田小学校 教員住宅	教員住宅	1979	38	73
公営住宅等	宇都中学校 教員住宅	教員住宅	1979	38	73
公営住宅等	山重小学校 教員住宅	教員住宅	1979	38	73
公営住宅等	有明小学校 教員住宅	教員住宅	1978	37	73
公営住宅等	香月小学校 教員住宅 教頭	教頭住宅	1978	37	67
公営住宅等	志布志小学校 教員住宅 校長	校長住宅	1974	41	67
公営住宅等	野神小学校 教員住宅	教員住宅	1973	42	73
公営住宅等	通山小学校 教員住宅	教員住宅	1972	43	73
公営住宅等	安楽小学校 教員住宅 教頭	教頭住宅	1971	44	62
公営住宅等	伊崎田中学校 教員住宅	教員住宅	1971	44	73
公営住宅等	有明中学校 教員住宅	教員住宅	1969	46	73

※教職員住宅のみを抜粋

第2次 志布志市教育振興基本計画 前期基本計画

策定年	令和2年3月	
計画期間	令和2年度～令和6年度 5年間	
基本理念	「きらり輝く三つのおしえ」を身に付ける「『志』の教育」	
基本目標	<p>「夢や希望を実現し未来を担う心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまちづくり」</p> <p>1. 知・徳・体・食の調和がとれ、主体的に考え粘り強く行動する力を備え、生涯にわたって志を持って意欲的に自己実現を目指す人間の育成</p> <p>2. 郷土に誇りを持ち、社会・郷土の一員として、志高く社会づくり・まちづくりに貢献できる人間の育成</p>	
5年間の教育施策	<p>I お互いの人格を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>① 豊かな心の育成</p> <p>② 健やかな体の育成</p> <p>II 未来を切り拓くための能力を伸ばし、社会で自立する力を育む教育の推進</p> <p>① 「確かな学力」の定着</p> <p>② 特別支援教育の推進</p> <p>③ 幼児教育の推進</p> <p>④ 郷土教育の推進</p> <p>⑤ 教育の情報化の推進</p> <p>⑥ 社会の変化に対応した教育の推進</p> <p>III 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進</p> <p>① 開かれた学校づくり</p> <p>② 学校運営の充実</p> <p>③ 市立幼稚園、小・中学校の在り方へき地・小規模校教育の振興</p> <p>④ 教職員の資質向上</p> <p>⑤ 安全・安心な学校づくり</p> <p>⑦ 子育て世代の就学支援と「学びのセーフティネット」の充実</p> <p>⑧ 安全な学校給食の推進</p>	<p>IV 地域全体で子どもを守り育てる環境づくりの推進</p> <p>① 地域ぐるみでの子どもの育成</p> <p>② 地域を支える次世代の人づくり</p> <p>③ 地域ぐるみでの安全・安心な環境づくり</p> <p>④ 家庭の教育力の向上</p> <p>V 生涯を通して学び活躍できる環境づくりとスポーツ・文化の振興</p> <p>① 生涯学習環境の充実</p> <p>② 生涯スポーツの推進</p> <p>③ 競技スポーツの推進</p> <p>④ 文化芸術活動の推進</p> <p>⑤ 地域文化の継承・発展</p> <p>⑥ 文化財の保存・活用</p>

プロジェクト1：教育環境の整備促進プロジェクト 教育総務課

■プロジェクト推進計画

- ・ R2 年度
「学校施設長寿命化計画」の策定
- ・ R2 年度～R6 年度（予定）
事業実施（実施設計→改修工事）

■具体的な取組

1 長寿命化計画における老朽化改修順位の決定

- (1) 令和元年度に未改修の建物を中心とした、市内各学校の校舎、屋内運動場の現況調査を行い、基本的に建築年次を優先した改修計画を令和 2 年度に策定します。
- (2) 建築年次が同じものは、外壁モルタル落下の危険性が高いもの及び過去の改修実績がないものを優先します。

2 事業実施の手法

耐震補強が不要であった未改修の老朽化学校施設について、上記 1 により優先順位を付して学校施設長寿命化計画を基に、年次的に改修事業を実施します。

重点
プロジェクト

3. 計画期間

本計画の計画期間は、「志布志市公共施設等総合管理計画」で設定されている30年から40年間を見据えた上で、今後10年間の事業計画を策定するものとします。

ただし、法改正等の社会的要求水準の変化を受けて、状況が変化する場合があるため、5年～10年を目途に計画の見直しを行います。

4. 計画における対象施設

本計画における対象施設は、下表に示す小学校16校、中学校5校とします。

表：学校施設一覧

区分	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	対象建物※
小学校	松山小学校	志布志市松山町新橋1502番地	2,798	7
	泰野小学校	志布志市松山町泰野3743番地	2,508	8
	尾野見小学校	志布志市松山町尾野見36番地1	2,548	9
	志布志小学校	志布志市志布志町帖6390番地3	5,055	7
	香月小学校	志布志市志布志町安楽188番地	4,569	7
	潤ヶ野小学校	志布志市志布志町帖10638番地	1,875	5
	安楽小学校	志布志市志布志町安楽1768番地1	3,106	5
	田之浦小学校	志布志市志布志町田之浦2019番地2	1,943	7
	森山小学校	志布志市志布志町内之倉1642番地2	1,410	5
	伊崎田小学校	志布志市有明町伊崎田8845番地1	2,819	9
	蓬原小学校	志布志市有明町蓬原815番地	3,233	5
	野神小学校	志布志市有明町野神3139番地	3,041	6
	有明小学校	志布志市有明町野井倉1182番地	3,119	7
	通山小学校	志布志市有明町野井倉8304番地4	3,196	7
	原田小学校	志布志市有明町原田529番地2	2,594	6
	山重小学校	志布志市有明町山重10873番地2	3,545	4
中学校	松山中学校	志布志市松山町泰野3870番地	3,855	12
	志布志中学校	志布志市志布志町帖3389番地	7,340	10
	有明中学校	志布志市有明町野井倉1582番地	3,843	8
	宇都中学校	志布志市有明町原田2256番地1	4,432	3
	伊崎田中学校	志布志市有明町伊崎田8866番地	2,979	7

資料：令和2年度志布志市公立学校施設台帳

※延床面積200㎡以上（主施設は200㎡以下でも対象）



第1章 学校施設等の目指すべき姿

1. 学校施設等の今日的な課題

本市の教育行政において、人口減少や超高齢社会の到来、情報通信技術の発展、グローバル化の進展など、社会情勢が急激に変化する中、次のような多くの課題があります。

(1) 安全・快適な学校施設の環境向上

本市の学校施設の耐震化は完了していますが、建築年度が古く老朽化した校舎等が残されているため、修繕等を必要とする箇所が多くなってきているのが現状です。建物の改修を計画的に進め、児童・生徒が安全かつ快適に学ぶことができる教育環境の充実を図ることが必要です。

また、習熟度別指導や少人数指導、特別支援教育など、児童・生徒一人ひとりに合わせた教育環境や指導が可能な施設整備が求められています。

(2) 児童・生徒の減少に伴う適正な学校の再編

本市の児童・生徒数は、人口減少化・少子化の一層の進行などにより年々減少しています。学校教育においては、児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め、協力し合い、切磋琢磨することで一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことが重要とされており、一定の集団規模が確保されていることが望ましいものと考えられています。一方で、小規模校としてのメリットもあり、学校は地域コミュニティの核としての役割や機能を持つなど、地域の実情により学校の在り方は異なることがあり、「適正な学校規模」を一概に判断することは難しい点もあります。

しかし、少子化が中長期的に継続すると見込まれている現状においては、学校の小規模化に伴う教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されています。

このことから、少子化に対応した活力ある学校づくりの方策を継続的に検討・実施していくことが求められており、小規模校のデメリットを克服しつつ、児童生徒にとって望ましい学校規模について、保護者や地域と一体となって検討していくことが必要です。

(3) 社会の変化に対応した教育機器・教材の拡充

グローバル化の進展などにより、社会全体が急速に変化していく中で、情報化社会に対応したデジタル教材の活用や情報教育を推進するためのICT環境の充実、社会状況の変化や多様な学習活動に対応した教材の整備等を計画的に行い、児童生徒の学習能力の向上のための教育環境の充実を図っていくことが必要です。

(4) 生活空間としての施設の充実

児童生徒が1日の大半の時間を過ごす学校施設は、教育の場であるのみならず、生活の場として、充実した学校生活を過ごすことができる豊かで潤いのある空間としていくこと

が重要です。そのためには、学習の場としての整備だけでなく、交流の場の確保など多様な空間を整備することが必要です。

さらに、安全に施設が利用できるバリアフリー化や、不審者などに対する防犯対策を進めるとともに、トイレの設備など衛生的な環境整備を図る必要があります。

(5) 地域のコミュニティ施設としての活用

小中学校は、学校と地域との連携による多様な交流の場や放課後児童クラブとして活用されています。また、災害時などの避難場所に指定されています。このように、地域のコミュニティ施設としての多様な機能に対応できる施設や設備の整備が必要です。

表：志布志市避難施設一覧（学校施設）

	施設名	一般災害	地震	津波	電話番号	収容人数
通常 避難場所 (1次開設)	志布志小学校体育館	○	○	×	472-1358	500
	潤ヶ野小学校多目的教室	○	○		479-1314	60
	森山小学校多目的教室	○	○		479-1616	50
	有明小学校体育館	○	○		474-0006	500
	通山小学校体育館	○	○	×	477-0555	500
	蓬原小学校体育館	○	○		475-0102	500
	野神小学校体育館	○	○		475-0002	500
	原田小学校体育館	○	○		475-0004	500
	山重小学校体育館	○	○		475-0055	500
追加 避難場所 (2次開設)	松山小学校体育館	○	○		487-2004	500
	泰野小学校体育館	○	○		487-8159	500
	尾野見小学校体育館	○	○		487-8615	500
	松山中学校体育館	○	○		487-8158	500
	香月小学校体育館	○	○	×	472-0246	500
	安楽小学校体育館	○	○		472-1426	500
	志布志中学校体育館	○	○	○	472-1357	500
	伊崎田中学校体育館	○	○		474-0623	500
	有明中学校体育館	○	○		474-0011	500
宇都中学校体育館	○	○		475-0115	500	

資料：志布志市地域防災計画（概要版）

2. 学校施設等のあり方

本計画の方針を定めるにあたり、次のような環境や空間等が整備された学校施設を目指します。

安全性

- ◇ 地震、台風、大雨等に強い学校施設
(非構造部材の耐震補強、照明器具等の落下防止措置)
- ◇ 防犯に対応した学校施設(防犯対策や地域との連携)
- ◇ 安全で安心して生活できる環境(老朽化対策の推進)

快適性

- ◇ 授業に集中でき、学習効率向上に資する快適な学習環境
(エアコンの設置、遮音・吸音性能への配慮)
- ◇ バリアフリーに配慮した環境(段差の解消、障がい者用トイレの設置等)
- ◇ 児童生徒の健康や衛生面に配慮した環境
(トイレの洋式化、適正な照度の確保等)
- ◇ 児童生徒の交流を促すなど、生活の場として快適に過ごすことができる環境
(多目的室、ミーティング室、児童クラブなどの環境整備等)
- ◇ 教職員が快適に働ける環境(職員室の環境整備)
- ◇ 授業の充実に資する設備や機材等の整備(学校備品、教材備品の整備)
- ◇ 教職員等の事務の効率化を高められるICT環境(パソコンなどの整備)
- ◇ 省エネルギーに配慮した施設の整備(自然光の利用、特別教室の効率的な利用)

学習活動への適応性

- ◇ 個別指導や習熟度別指導など多様な学習形態を展開するための環境
(少人数教室、多目的室の環境整備等)
- ◇ 学習効果を高められる教材等の整備、情報教育に対応したICT環境
(教材備品、パソコンなどの整備)
- ◇ 児童生徒の自発的な学習や読書活動を促すための環境(特別教室、図書室などの整備)
- ◇ 社会性を身につけるための空間(多学年間の学習環境、遊具施設の整備)
- ◇ 特別支援教育に配慮した学校施設(特別支援教室の環境整備)
- ◇ 進路指導や相談等、児童生徒の支援・指導に取り組みやすい空間
(キャリア教育の推進、進路指導室や相談室の整備)
- ◇ 充実した運動ができる環境(屋内運動場、校庭の整備)

環境への適応性

- ◇ 環境を考慮した学校施設（太陽光発電、省エネルギー・省資源、自然共生、木材利用）

地域の拠点化

- ◇ 地域住民が健康づくりや学習拠点等に活用できる開かれた環境
（屋内運動場、校庭、特別教室などの開放）
- ◇ 児童クラブなど、放課後の児童の居場所がある施設（空き教室などの活用）
- ◇ 避難所としての機能を有する施設（トイレの洋式化、バリアフリー環境の整備）



第2章 学校施設等の実態

1. 志布志市を取り巻く状況

(1) 志布志市の概況

本市は、平成18年1月に曾於郡松山町、同郡志布志町及び同郡有明町の合併により「志布志市」として誕生しました。鹿児島県東部、志布志湾の湾奥ほぼ中央に位置し、東部は宮崎県串間市、西部は大崎町、北部は曾於市と境をなし、その一部は、宮崎県都城市と接しています。東西約23km、南北に約18kmの扇形の区域で、総面積290.28km²となっており、隣接する大崎町に1.02km²の飛地を有しています。

北部から東部にかけて丘陵山間地帯で、市域面積の6割を占める森林地が広がる傾斜の多い地形となっています。中央部から西部にかけてはシラス台地が広がり、志布志湾に向けて緩やかな勾配となっています。また、河川は北部の山岳地帯から、菱田川、安楽川、前川が志布志湾に注ぎ、農村部及び山間部の集落の多くがこれらの河川沿いに点在しています。

海岸部一帯は、日南海岸国定公園に指定されており、亜熱帯性の植物が繁茂し、沖合いの枇榔島亜熱帯性植物群落は国の特別天然記念物に指定されています。また、中央部には物流拠点港湾かつ九州唯一の国際バルク戦略港湾^{*1}である志布志港があり、南九州地域の国内・国際物流拠点となっています。



図：本市の位置

^{*1} 国際バルク戦略港湾：港の強化と国際競争力の増強を目的とした国の成長戦略の一環で、国内の港を選定して集中的に整備される港。

(2) 人口・世帯数の推移

本市の総人口は、平成 27 年の国勢調査によると 31,479 人となっており、減少傾向で推移しています。

また、世帯数についても 13,869 世帯、一世帯当たりの人数は 2.27 人／世帯となり、人口減少に伴い減少傾向にあります。

表：人口・世帯数の推移

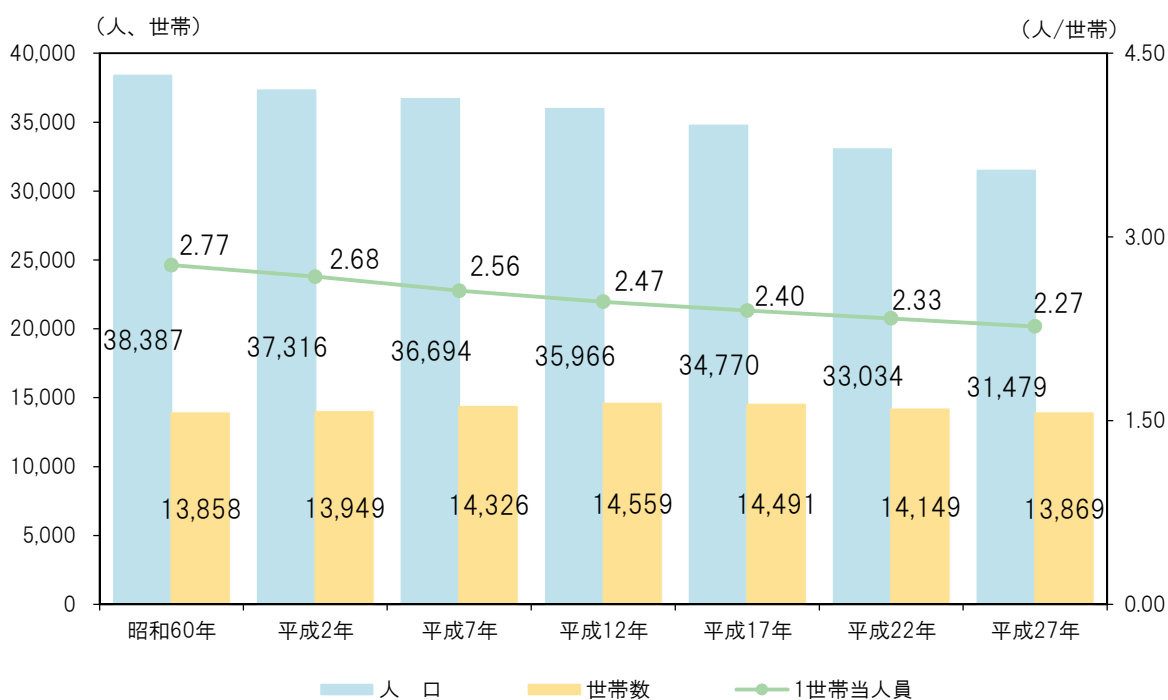
単位：世帯、人							
志布志市	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
人口	38,387	37,316	36,694	35,966	34,770	33,034	31,479
世帯数	13,858	13,949	14,326	14,559	14,491	14,149	13,869
1世帯当人員	2.77	2.68	2.56	2.47	2.40	2.33	2.27

表：人口・世帯数の推移（合併前 町別）

単位：世帯、人					
松山地域	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
人口	5,436	5,289	5,156	4,967	4,666
世帯数	1,952	1,997	1,975	1,938	1,881
1世帯当人員	2.78	2.65	2.61	2.56	2.48

単位：世帯、人					
志布志地域	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
人口	20,248	19,350	19,216	18,825	18,327
世帯数	7,283	7,378	7,648	7,856	7,788
1世帯当人員	2.78	2.62	2.51	2.40	2.35

単位：世帯、人					
有明地域	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
人口	12,703	12,677	12,322	12,174	11,777
世帯数	4,623	4,574	4,703	4,765	4,822
1世帯当人員	2.75	2.77	2.62	2.55	2.44



図：人口・世帯数の推移

資料：国勢調査（平成 17 年以前は旧松山町、旧志布志町、旧有明町を合算）

(3) 年齢別人口の推移

年齢 3 区分別人口の推移をみると、15 歳未満人口は昭和 60 年の 8,028 人から平成 27 年には 4,302 人へと減少し、人口に占める割合は 14%弱となっています。一方、65 歳以上人口は、昭和 60 年の 5,820 人から平成 27 年には 10,329 人へと大幅に増加し、約 33% の人口割合となっています。

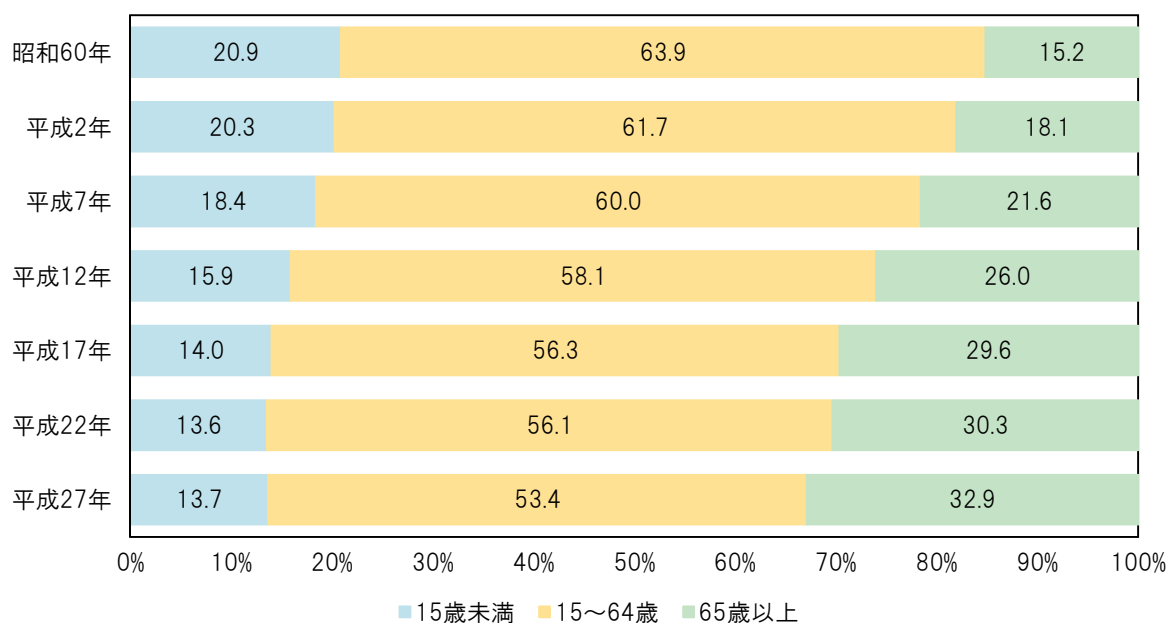
年齢別人口割合の推移をみると、65 歳以上人口の割合は年々増加し、平成 7 年時点で 15 歳未満人口比を上回り、徐々に少子高齢化が進行しています。

表：年齢別人口の推移

単位：人

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
15歳未満	8,028	7,559	6,764	5,727	4,867	4,483	4,302
15～64歳	24,539	23,015	22,006	20,888	19,549	18,511	16,783
65歳以上	5,820	6,738	7,924	9,349	10,282	10,008	10,329

資料：国勢調査



図：年齢別人口割合の推移

資料：国勢調査（平成 17 年以前は旧松山町、旧志布志町、旧有明町を合算）

(4) 将来人口

本市の将来人口について、令和2年3月に策定された「志布志市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」では、以下のようになっています。

Ⅲ 将来人口の推計と分析

○人口減少段階

令和12年まで：老年人口増加段階

令和17年以降：老年人口減少段階

○人口増減状況

自然動態の影響度よりも社会動態の影響度が高い

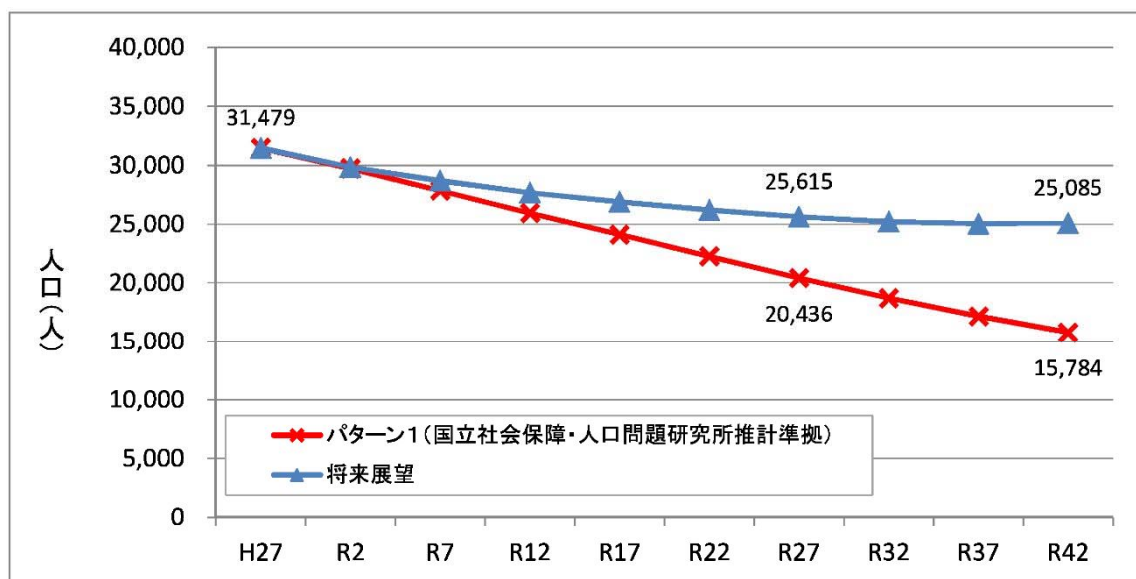
→高い出生率を維持しつつ、若い世代の人口確保に取り組んでいくことが有効と考えられる。

Ⅳ 将来展望

(2) 今後の施策効果を想定した推計

第2期「志布志まち・ひと・しごと創生 総合戦略」に定めた施策等の効果として、合計特殊出生率が上昇、かつ移住者が増加していくと仮定した推計を将来展望とする。

総人口の将来展望



総人口(人)	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32	R37	R42
パターン1	31,479	29,732	27,846	25,946	24,111	22,269	20,436	18,715	17,177	15,784
将来展望	31,479	29,861	28,696	27,676	26,879	26,206	25,615	25,202	25,032	25,085

将来展望による令和27年(2045年)の総人口は25,615人、令和42年(2060年)の総人口は25,085人となる。

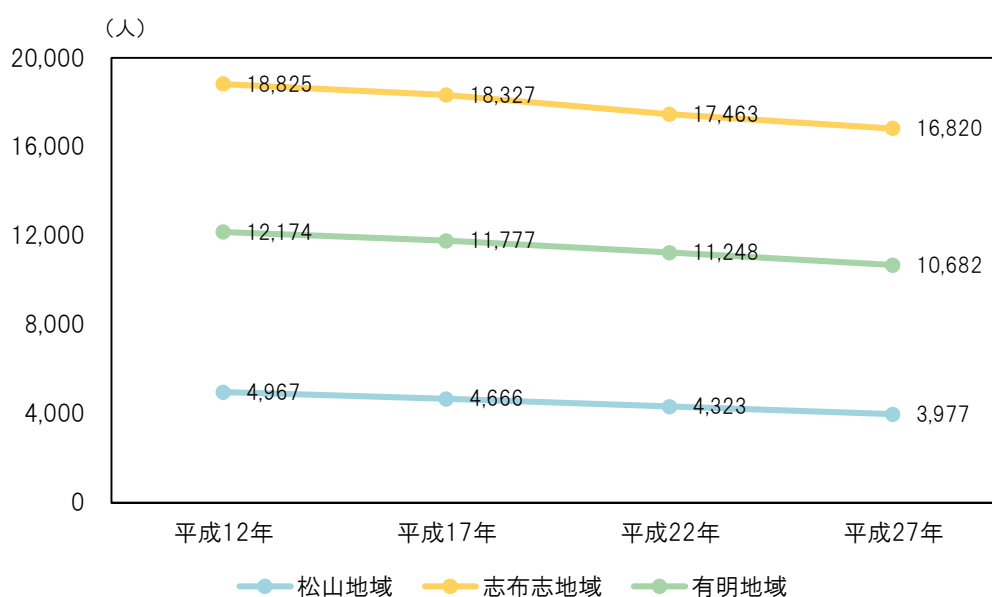
(5) 地域別人口の推移

本市の地域別に平成12年から平成27年までの人口の推移をみると、いずれの地域でも減少しています。減少率は10%から20%弱で、最も大きいのは「松山地域」の19.9%となっています。

表：地域別人口の推移

単位：人

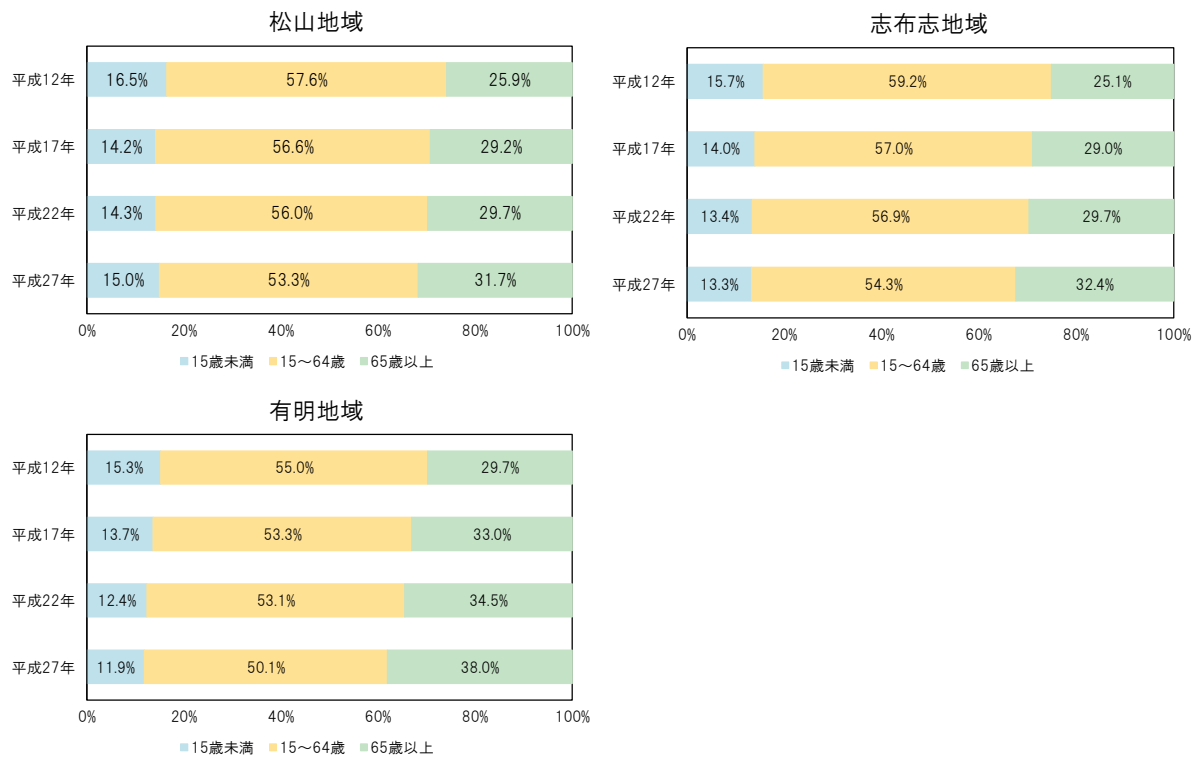
人口	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	H27/H12
松山地域	4,967	4,666	4,323	3,977	▲ 990
	13.8%	13.4%	13.1%	12.6%	80.1%
志布志地域	18,825	18,327	17,463	16,820	▲ 2,005
	52.3%	52.7%	52.9%	53.4%	89.3%
有明地域	12,174	11,777	11,248	10,682	▲ 1,492
	33.8%	33.9%	34.0%	33.9%	87.7%
合計	35,966	34,770	33,034	31,479	▲ 4,487
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%



図：地域別人口の推移

資料：国勢調査

平成12年から平成27年までの地域別年齢区分別人口の推移をみると、いずれの地域も65歳以上人口の割合が3割を上回り、15歳未満人口の割合が1割程度となっており、少子・高齢化が進んでいます。



図：地域別・年齢区分別人口割合の推移

資料：国勢調査

※年齢不詳は含まない

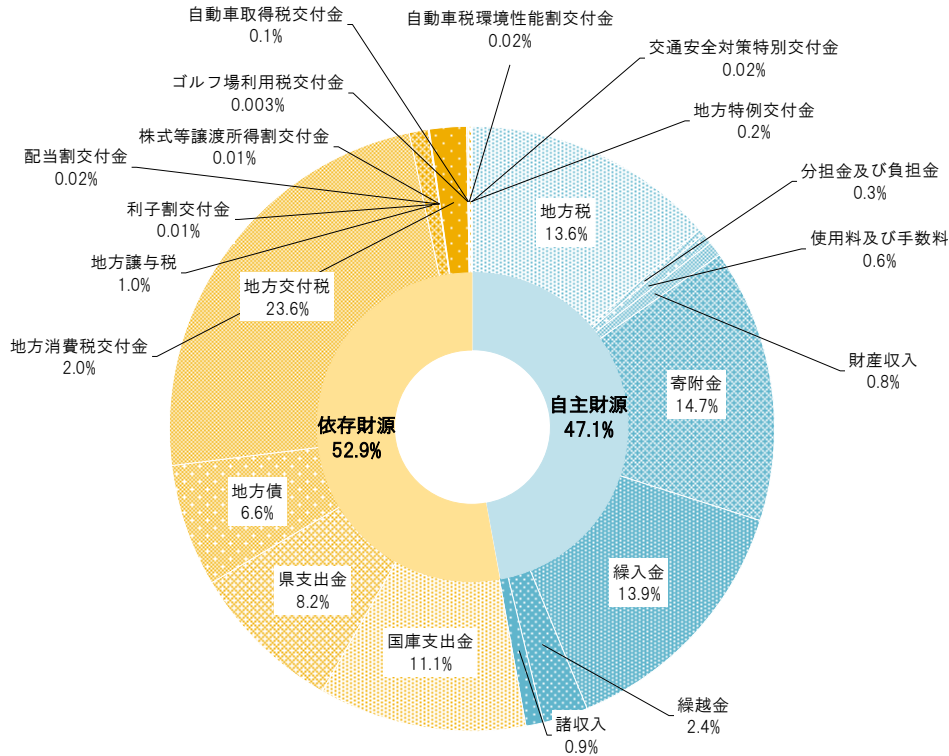
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない

(6) 財政状況

① 歳入（一般会計）の内訳

令和元年度決算の歳入額は、276 億 9,666 万円であり、前年度と比較すると 2 億 2,261 万円増加しています。

自主財源では「寄附金」が 14.7%、依存財源では「地方交付税」が 23.6%と最も多くなっています。



表：歳入の内訳

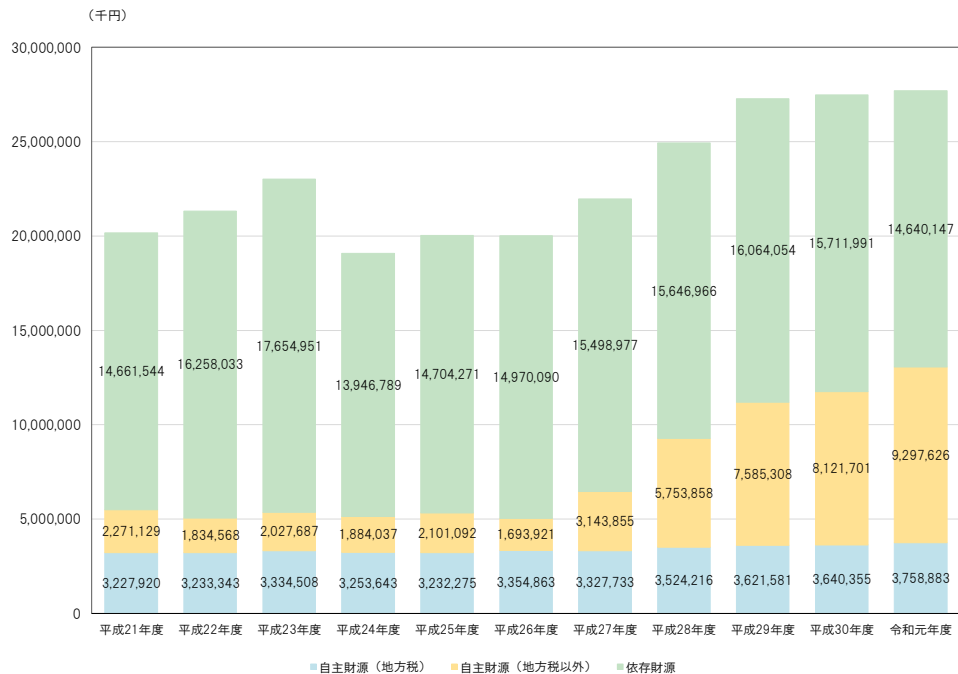
単位：千円、%

区分	款	令和元年度		平成30年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
自主財源	地方税	3,758,883	47.1	3,640,355	42.8	118,528
	分担金及び負担金	89,501		195,845		▲ 106,344
	使用料及び手数料	159,825		172,599		▲ 12,774
	財産収入	217,746		206,391		11,355
	寄附金	4,059,626		3,270,920		788,706
	繰入金	3,843,604		3,389,418		454,186
	繰越金	666,260		644,815		21,445
	諸収入	261,064		241,713		19,351
	国庫支出金	3,078,936		52.9		3,072,464
県支出金	2,281,050	3,133,392	▲ 852,342			
地方債	1,818,511	1,918,420	▲ 99,909			
地方交付税	6,537,232	6,655,507	▲ 118,275			
地方譲与税	287,726	273,857	13,869			
利子割交付金	1,908	4,596	▲ 2,688			
配当割交付金	5,862	5,098	764			
株式等譲渡所得割交付金	3,388	5,986	▲ 2,598			
地方消費税交付金	548,312	582,218	▲ 33,906			
ゴルフ場利用税交付金	733	844	▲ 111			
自動車取得税交付金	19,662	39,170	▲ 19,508			
自動車税環境性能割交付金	5,515	-	5,515			
地方特例交付金	46,391	15,028	31,363			
交通安全対策特別交付金	4,921	5,411	▲ 490			
合計	27,696,656	100	27,474,047	100	222,609	

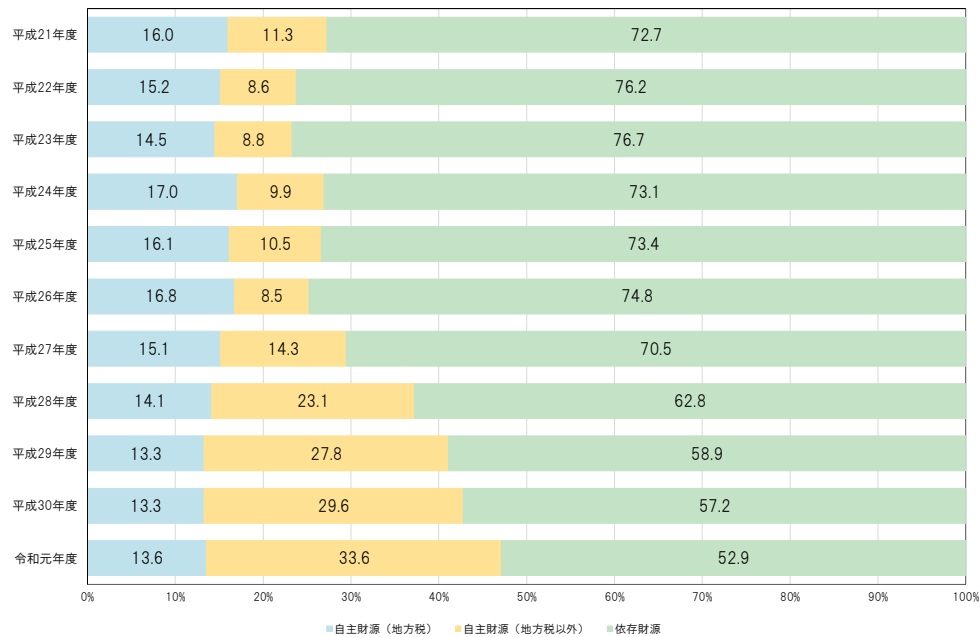
出典：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

平成 21 年度以降の歳入の推移をみると、平成 26 年度までは 200 億円前後で推移しており、平成 27 年度以降は「寄附金（自主財源）」の増加のため大幅に増加しています。市町村合併による優遇措置として、これまで 10 億円程度普通交付税の加算措置をうけてきましたが、今後段階的な減少が見込まれ、厳しい財政運営を迫られることが見込まれます。



図：歳入（一般会計）の推移



図：歳入（一般会計）の割合

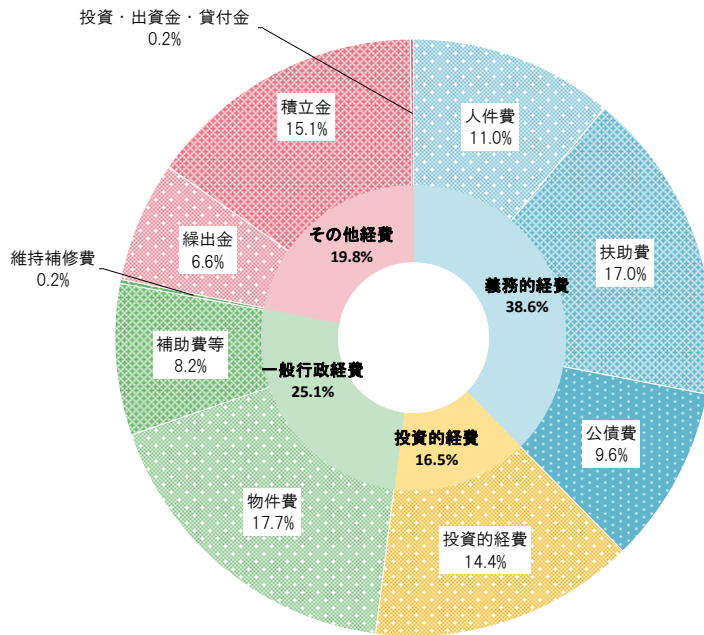
資料：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない

② 歳出（一般会計）の内訳

令和元年度決算の歳出額は、273 億 6,832 万円であり、前年度と比較すると 5 億 6,053 万円増加しています。

義務的経費では「扶助費」が 17.0%、一般行政経費では「物件費」が 17.7%、その他経費では「積立金」が 15.1%と最も多くなっています。



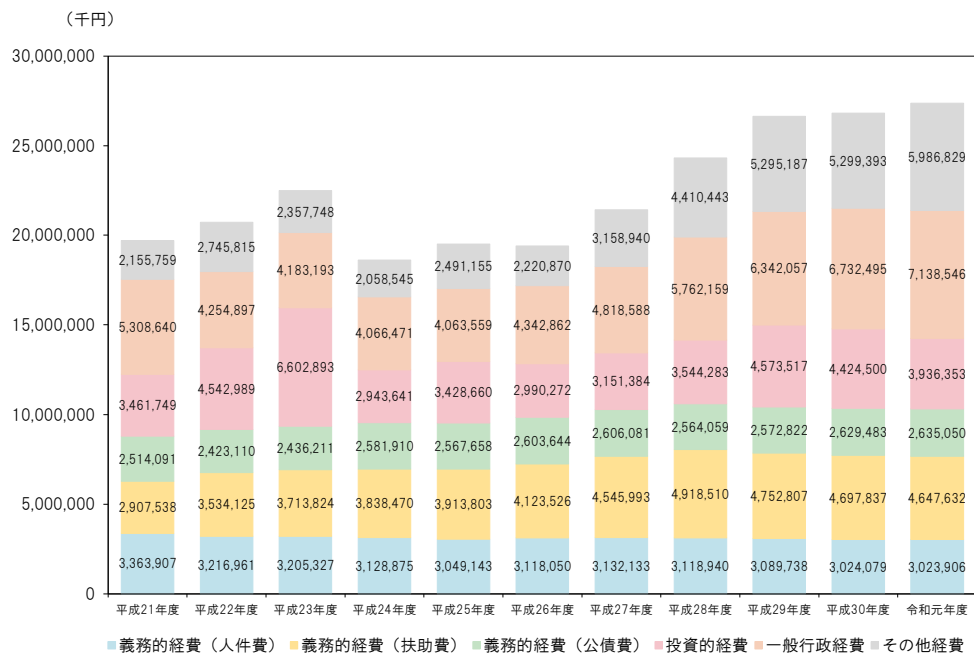
表：歳出の内訳

区分	款	令和元年度		平成30年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
義務的経費	人件費	3,023,906	37.7	3,024,079	38.6	▲ 173
	扶助費	4,647,632		4,697,837		▲ 50,205
	公債費	2,635,050		2,629,483		5,567
投資的経費	投資的経費	3,936,353	14.4	4,424,500	16.5	▲ 488,147
一般行政経費	物件費	4,837,849	26.1	4,600,573	25.1	237,276
	補助費等	2,243,905		2,070,179		173,726
	維持補修費	56,792		61,743		▲ 4,951
その他経費	繰出金	1,794,835	21.9	1,731,477	19.8	63,358
	積立金	4,144,742		3,505,716		639,026
	投資・出資金・貸付金	47,252		62,200		▲ 14,948
合計		27,368,316	100	26,807,787	100	560,529

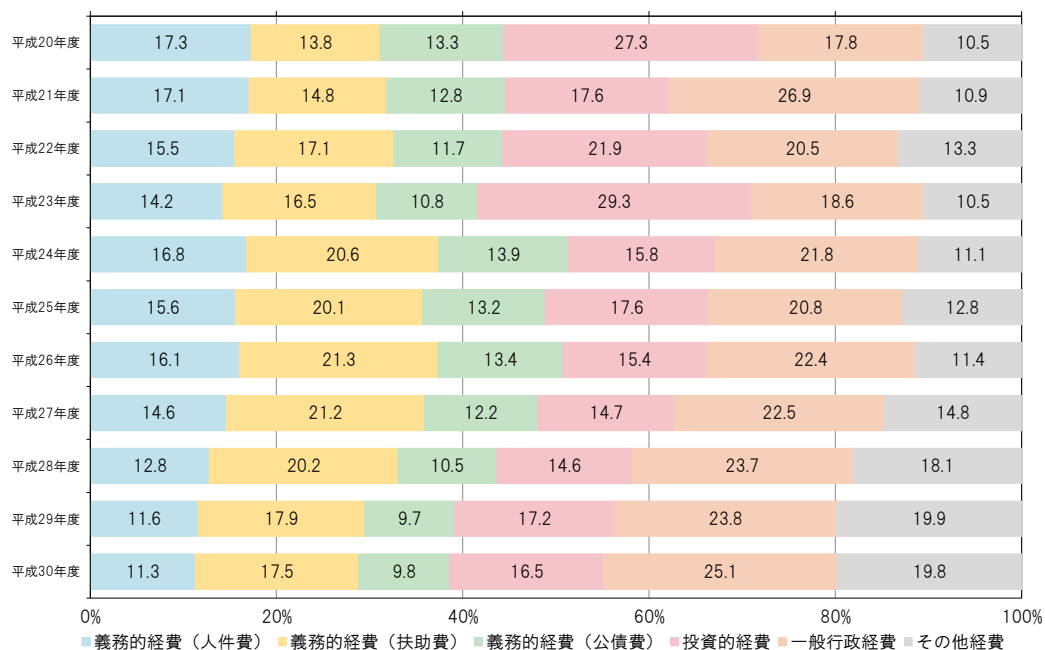
出典：総務省決算カード
 ※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

平成 21 年度から平成 27 年度までは、歳入と同様に 200 億円前後で推移しています。平成 27 年度以降は、「一般行政経費」と「その他経費」が増加したため、約 260 億円まで増加しています。

また、高齢化に伴い、「扶助費（義務的経費）」が増加していることがわかります。今後も人口減少や更なる高齢化の進展に伴い、扶助費等の増加に加え、後期高齢者医療費や介護保険等の負担が増大していくことが考えられます。



図：歳出（一般会計）の推移



図：歳出（一般会計）の割合

2. 運営状況・活用状況の把握

(1) 公共施設全体の保有状況

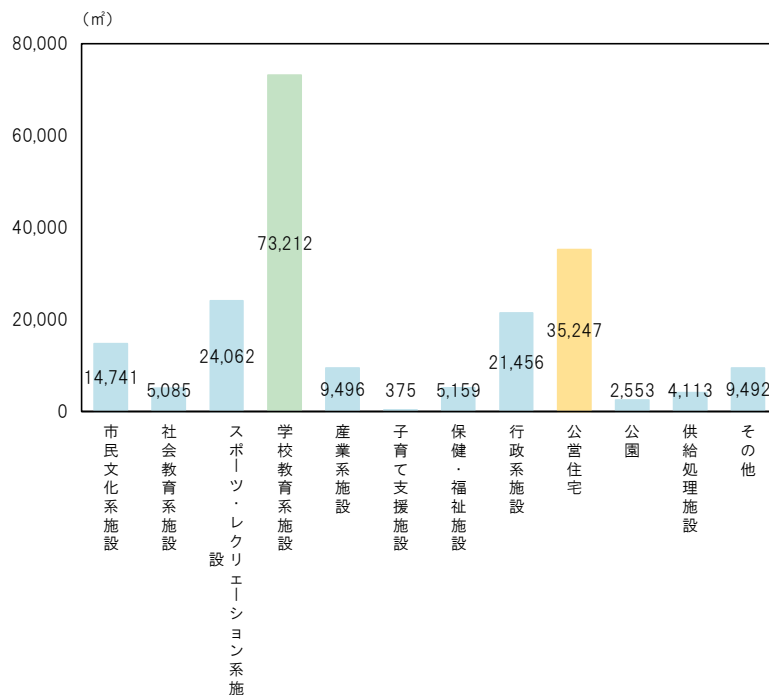
志布志市の「公共施設等総合管理計画 個別施設計画」では、本市の建築系公共施設は全体で 838 施設、延床面積 204,992 ㎡となります。

用途別合計の延床面積が多い順に学校教育系施設、公営住宅、スポーツ・レクリエーション系施設となっています。小学校、中学校、学校共同調理場を合わせた学校教育系施設の延床面積は 73,212 ㎡となり、全体の 4 割近く（35.7%）を占めています。

表：公共施設の用途別延床面積

施設分類	施設数	延床面積	
		面積(㎡)	構成比
市民文化系施設	41	14,741	7.2%
社会教育系施設	24	5,085	2.5%
スポーツ・レクリエーション系施設	50	24,062	11.7%
学校教育系施設	182	73,212	35.7%
産業系施設	52	9,496	4.6%
子育て支援施設	2	375	0.2%
保健・福祉施設	17	5,159	2.5%
行政系施設	62	21,456	10.5%
公営住宅	239	35,247	17.2%
公園	53	2,553	1.2%
供給処理施設	52	4,113	2.0%
その他	64	9,492	4.6%
合計	838	204,992	100.0%

資料：令和元年度決算「固定資産台帳」



図：公共施設の用途別延床面積

(2) 学校施設等の保有状況

本市の小学校 16 校、小学校教職員住宅 26 戸、中学校 5 校、中学校教職員住宅 9 戸の全 21 施設の建物のうち、延床面積 200 ㎡未満の部室、倉庫、トイレ等の小規模な建物を含む一覧を下表に示します。

小学校・中学校のほとんどの校舎建物は鉄筋コンクリート造（RC 造）、屋内運動場（体育館）は鉄骨造（S 造）であり、耐震診断を行った建物で耐震性能が基準値以下の建物は全て耐震補強が完了しています。

表：対象施設一覧（小学校）

■学校施設一覧
【基本情報】小学校

学 校 名	開 校 年 度	建 物 名	棟 番 号	構 造	階 数	建 築 年 度	※新耐震：1981年6月1日以降			校 舎 等 校 面 積	地 積	単位：年、㎡、室		
							耐 震 基 準 値	校 舎 等 校 面 積	校 舎 等 校 面 積			教 室 数	普 通 室	特 別
松山小学校	1872年 (明治5年)	管理教室棟	1-1	RC造	2	1959	61	旧	622	37,862	15	8	7	
		管理教室棟	1-2	RC造	3	1964	56	旧	663					
		管理教室棟	1-3	RC造	3	1965	55	旧	650					
		管理教室棟・助手室	1-4	S造	1	1965	55	旧	27					
		屋内運動場	3	RC造	1	1981	39	新	680					
		校長住宅	11	W造	1	1983	37	新	78					
		教頭住宅	12	S造	1	1986	34	新	78					
		小計				-								2,798
泰野小学校	1873年 (明治6年)	管理棟	1-1	RC造	2	1957	63	旧	399	14,647	13	6	7	
		管理棟	1-2	RC造	2	1963	57	旧	320					
		管理棟	1-3	RC造	2	1965	55	旧	393					
		屋内運動場	3	RC造	1	1978	42	旧	613					
		管理棟	4	RC造	2	1978	42	旧	234					
		特別教室棟	13	RC造	2	1994	26	新	393					
		校長住宅	15	RC造	1	1985	35	新	78					
		教頭住宅	16	RC造	1	1987	33	新	78					
小計				-				2,508						
尾野見小学校	1874年 (明治7年)	管理棟	1-1	RC造	2	1960	60	旧	345	17,513	14	8	6	
		管理棟	1-2	RC造	2	1961	59	旧	274					
		管理棟	1-3	RC造	2	1964	56	旧	311					
		管理棟	1-4	RC造	2	1969	51	旧	347					
		管理棟	1-5	RC造	2	1993	27	新	342					
		屋内運動場	2	RC造	1	1977	43	旧	613					
		管理棟	6	RC造	1	1977	43	旧	91					
		校長住宅	10	W造	1	1984	36	新	78					
教頭住宅	11	RC造	2	1970	50	旧	147							
小計				-				2,548						
志布志小学校	1872年 (明治5年)	管理教室棟	1-1	RC造	3	1957	63	旧	754	14,010	30	15	15	
		管理教室棟	1-2	RC造	3	1958	62	旧	674					
		教室棟	16	RC造	3	1981	39	新	1,322					
		倉庫・図工室	17	S造	1	1981	39	新	33					
		教室棟	18	RC造	3	1982	38	新	1,266					
		教頭住宅	22	W造	1	1974	46	旧	67					
		屋内運動場	27	RC造	1	1992	28	新	919					
小計				-				5,055						
香月小学校	1957年 (昭和32年)	管理教室棟	1-4	RC造	2	1969	51	旧	470	22,375	23	15	8	
		管理教室棟	1-5	RC造	2	1990	30	新	1,175					
		教室棟	2	RC造	2	1956	64	旧	906					
		特別教室棟	12	RC造	3	1985	35	新	734					
		校長住宅	13	W造	1	1987	33	新	80					
		多目的教室	14	RC造	2	1990	30	新	285					
		屋内運動場	18	RC造	1	1995	25	新	919					
小計				-				4,569						

※経過年数は2020年時点

資料：令和2年度 志布志市公立学校施設台帳

表：対象施設一覧（小学校）

■学校施設一覧
【基本情報】小学校

※新耐震：1981年6月1日以降

単位：年、㎡、室

学 校 名	開 校 年 度	建 物 名 称	標 番 号	構 造	階 数	建 年 度	経 年 数	耐 震 数 値	農 業 校 舎 等 種 別	校 舎 面 積	地 積	室			
												教室数	普 通	特 別	別
潤ヶ野小学校	1873年 (明治6年)	管理教室棟	1-1	RC造	2	1964	56	旧	555	10,223	11	6	5		
		管理教室棟	1-2	RC造	2	1979	41	旧	810						
		屋内運動場	9	S造	1	1971	49	旧	350						
		校長住宅	14	W造	1	1990	30	新	80						
		教頭住宅	15	W造	1	1991	29	新	80						
		小計				-			1,875						
安楽小学校	1874年 (明治7年)	教室棟	12	RC造	2	1976	44	旧	598	11,218	17	11	6		
		教室棟	18-1	RC造	3	1989	31	新	1,106						
		教室棟	18-2	RC造	2	1993	27	新	428						
		校長住宅	22	W造	1	1991	29	新	80						
		屋内運動場	23	RC造	1	1997	23	新	894						
		小計				-			3,106						
田之浦小学校	1876年 (明治9年)	教室棟	4	W造	1	1962	58	旧	116	16,160	13	4	9		
		教室棟	5	S造	1	1964	56	旧	251						
		郷土館	9	W造	1	1949	71	旧	50						
		屋内運動場	11	S造	1	1973	47	旧	350						
		管理特別教室棟	12	RC造	3	1978	42	旧	1,016						
		校長住宅	15	W造	1	1990	30	新	80						
		教頭住宅	16	W造	1	1996	24	新	80						
		小計				-			1,943						
森山小学校	1873年 (明治6年)	管理特別教室棟	1	RC造	2	1965	55	旧	828	8,556	9	5	4		
		屋内運動場	9	S造	1	1977	43	旧	380						
		校長住宅	14	W造	1	1987	33	新	80						
		教頭住宅	15	W造	1	1993	27	新	82						
		多目的教室	16	S造	1	1995	25	新	40						
		小計				-			1,410						
伊崎田小学校	1874年 (明治7年)	教室棟	6-1	RC造	2	1962	58	旧	489	23,057	14	8	6		
		管理教室棟	6-2	RC造	2	1963	57	旧	766						
		管理教室棟	6-3	RC造	2	1964	56	旧	261						
		WC	6-4	RC造	2	1962	58	旧	60						
		屋内運動場	9	RC造	1	1979	41	旧	659						
		教員住宅（校長住宅）	17	W造	1	2014	6	新	88						
		郷土資料室	19	RC造	1	2018	2	新	25						
		特別教室棟	20	W造	1	2018	2	新	377						
		教員住宅（教頭住宅）	21	W造	1	2018	2	新	88						
		小計				-			2,813						
蓬原小学校	1874年 (明治7年)	屋内運動場	7-1	RC造	1	1984	36	新	680	18,401	14	8	6		
		クラブハウス	7-2	RC造	1	1984	36	新	160						
		教員住宅（教頭住宅）	9	W造	1	1980	40	旧	73						
		管理棟、教室棟	10	RC造	2	1994	26	新	2,232						
		校長住宅	13	W造	1	2012	8	新	88						
		小計				-			3,233						
野神小学校	1874年 (明治7年)	特別教室棟	1-2	RC造	2	1960	60	旧	534	13,479	14	9	5		
		教室棟	1-3	RC造	2	1959	61	旧	508						
		教頭住宅	11	W造	1	1980	40	旧	73						
		屋内運動場	12-1	RC造	1	1989	31	新	800						
		クラブハウス	12-2	RC造	1	1989	31	新	200						
		特別教室管理棟	13	RC造	2	1991	29	新	926						
		小計				-			3,041						
有明小学校	1874年 (明治7年)	教室棟	5-1	RC造	2	1963	57	旧	326	22,408	14	8	6		
		管理棟	5-2	RC造	2	1964	56	旧	595						
		トイレ棟	5-3	RC造	2	1963	57	旧	65						
		特別教室棟	15	RC造	2	1990	30	新	1,013						
		屋内運動場	17-1	RC造	1	1996	24	新	802						
		クラブハウス	17-2	RC造	1	1996	24	新	230						
		校長住宅	18	W造	1	2012	8	新	88						
		小計				-			3,119						

※経過年数は2020年時点

資料：令和2年度 志布志市公立学校施設台帳

表：対象施設一覧（小学校）

学 校 名	開 校 年 度	建 物 名 称	棟 番 号	構 造	階 数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	床 面 積	校 舎 等 種 類	校 面 積	地 種	教 室						
													教室数	普	通	特 別			
通山小学校	1874年 (明治7年)	特別教室棟	9	RC造	2	1965	55	旧	338	16,752	14	8	6						
		管理棟、教室棟	14	RC造	2	1979	41	旧	999										
		特別教室棟	15	RC造	1	1979	41	新	360										
		屋内運動場	20-1	RC造	1	1987	33	新	800										
		クラブハウス	20-2	RC造	1	1987	33	新	200										
		特別教室棟	21	RC造	2	1991	29	新	411										
		校長住宅	23	W造	1	2016	4	新	88										
		小計				-			3,196										
原田小学校	1873年 (明治6年)	教室棟、管理棟	8	RC造	2	1974	46	旧	1,083	16,376	13	7	6						
		教頭住宅	15	W造	1	1981	39	新	73										
		屋内運動場	16-1	RC造	1	1988	32	新	800										
		クラブハウス	16-2	RC造	1	1988	32	新	200										
		特別教室棟	23	W造	1	2005	15	新	350										
		校長住宅	24	W造	1	2013	7	新	88										
		小計				-			2,594										
		山重小学校	1874年 (明治7年)	屋内運動場	14	RC造	1	1981	39						新	700	18,620	14	6
教頭住宅	16			W造	1	1979	41	旧	73										
教室棟	17			RC造	2	2000	20	新	2,695										
校長住宅	20			W造	1	2000	20	新	77										
小計						-			3,545										

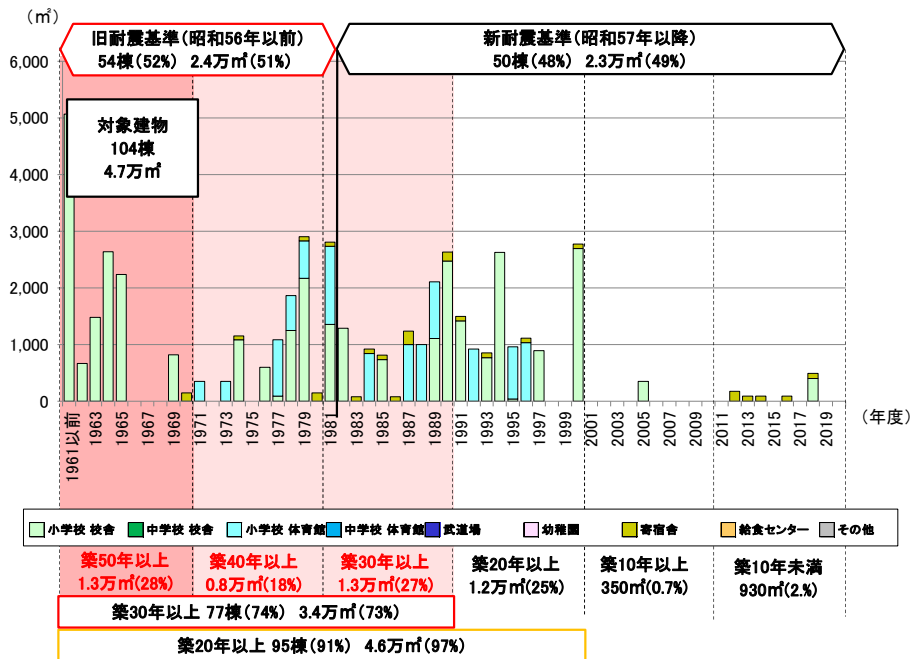
※経過年数は2020年時点

資料：令和2年度 志布志市公立学校施設台帳

学校施設の築年別整備状況をみると、小学校では旧耐震基準（昭和56年以前）によるものが54棟（52%）、床面積で2.4万㎡（51%）、新耐震基準（昭和57年以降）によるものが50棟（48%）、床面積で2.3万㎡（49%）となっており、旧耐震基準の建物が5割以上を占めています。

経過年数では、築50年以上が1.3万㎡（28%）、築40年から49年までが0.8万㎡（18%）、築30年から39年までが1.3万㎡（27%）となっており、築30年以上を合わせると77棟（74%）、床面積3.4万㎡（73%）となっています。

築年別整備状況



図：小学校施設の築年別建物状況

※作図のプログラムにより、面積は万㎡、比率が整数になっています。

表：対象施設一覧（中学校）

■学校施設一覧
【基本情報】中学校

※新耐震：1981年6月1日以降

単位：年、㎡、室

学 校 名	開 校 年 度	建 物 名 称	棟 番 号	構 造	階 数	建 築 年 度	経 過 年 数	耐 震 基 準	震 害 耐 力	校 舎 等 積 面	校 舎 等 積 面	地 積			
												教室数	普 通	特 別	別
松山中学校	1947年 (昭和22年)	管理教室棟	1-1	RC造	2	1960	60	旧		434	33,584	18	5	13	
		管理教室棟	1-2	RC造	1	1961	59	旧		88					
		管理教室棟	1-3	RC造	2	1961	59	旧		397					
		管理教室棟	1-4	RC造	2	1962	58	旧		562					
		管理教室棟	1-5	RC造	2	1963	57	旧		271					
		特別教室棟	2	RC造	1	1964	56	旧		329					
		特別教室棟	3	RC造	2	1966	54	旧		440					
		屋内運動場	4	RC造	1	1970	50	旧		661					
		格技場	6	RC造	1	1978	42	旧		350					
		特別教室棟	7	RC造	1	1979	41	旧		226					
		校長住宅	13-1	W造	1	1982	38	新		78					
		教頭住宅	14-1	RC造	1	1987	33	新		78					
小計								3,914							
志布志中学校	1947年 (昭和22年)	教室棟	5	RC造	3	1951	69	旧		2,084	57,738	30	15	15	
		特別教室棟	20	RC造	2	1979	41	旧		701					
		武道場	22	S造	1	1979	41	旧		352					
		校長住宅	25	W造	1	1981	39	新		67					
		屋内運動場	31-1	RC造	2	1987	33	新		1,222					
		クラブハウス	31-2	RC造	1	1987	33	新		200					
		下足室、コンテナ置場、倉庫	32	RC造	1	1989	31	新		203					
		教室棟	35	RC造	2	1991	29	新		989					
		教頭住宅	36	W造	1	1994	26	新		82					
		管理教室棟	37	RC造	2	2001	19	新		1,440					
		小計								7,340					
有明中学校	1947年 (昭和22年)	特別教室棟	8-1	RC造	2	1962	58	旧		181	22,026	18	6	12	
		特別教室棟	8-2	RC造	2	1961	59	旧		178					
		特別教室棟	8-3	RC造	2	1961	59	旧		285					
		教室棟	20	RC造	3	1986	34	新		1,628					
		屋内運動場	25-1	RC造	1	1998	22	新		1,176					
		クラブハウス	25-2	RC造	1	1998	22	新		232					
		校長住宅	26	W造	1	2005	15	新		75					
		教頭住宅	27	W造	1	2009	11	新		88					
		小計								3,843					
宇都中学校	1947年 (昭和22年)	屋内運動場	14	RC造	1	1981	39	新		780	26,886	19	8	11	
		特別教室棟、教室棟、管理棟	21	RC造	2	1993	27	新		3,564					
		教頭住宅	29	W造	1	2017	3	新		88					
		小計								4,432					
伊崎田中学校	1947年 (昭和22年)	屋内運動場	11	S造	1	1968	52	旧		602	18,841	16	5	11	
		管理棟、教室棟	13	RC造	2	1980	40	旧		1,241					
		特別教室棟	14	RC造	1	1980	40	旧		365					
		教頭住宅	17	W造	1	1979	41	旧		73					
		校長住宅	21	W造	1	2015	5	新		88					
		資料室	22	RC造	1	2018	2	新		23					
		特別教室棟	23	W造	1	2018	2	新		587					
		小計								2,979					

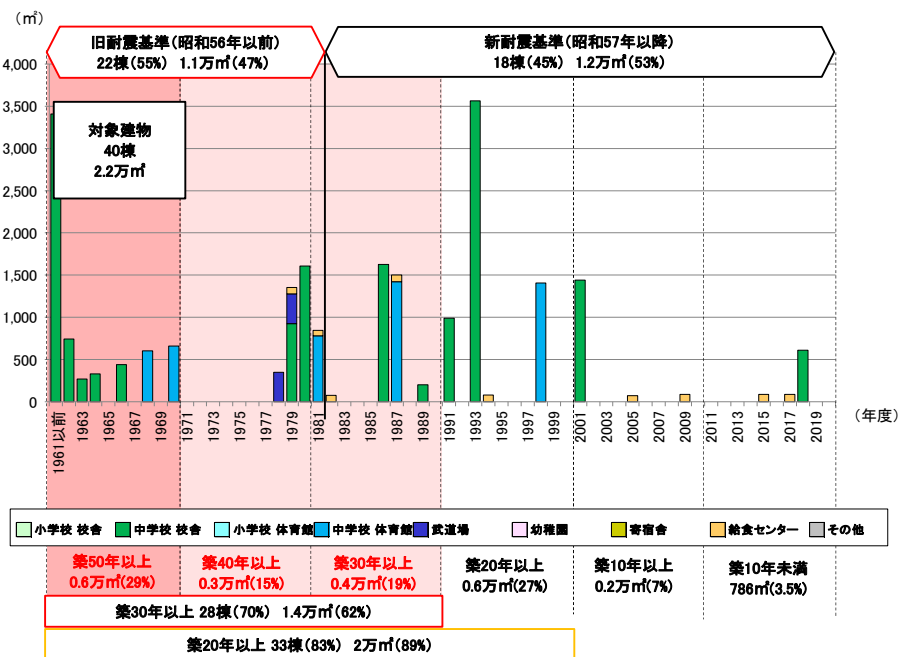
※経過年数は2020年時点

資料：令和2年度 志布志市公立学校施設台帳

また、中学校では旧耐震基準（昭和56年以前）によるものが22棟（55%）、床面積で1.1万㎡（47%）、新耐震基準（昭和57年以降）によるものが18棟（45%）、床面積で1.2万㎡（53%）となっており、旧耐震基準の建物が5割以上を占めています。

経過年数では、築50年以上が0.6万㎡（29%）、築40年から49年までが0.3万㎡（15%）、築30年から39年までが0.4万㎡（19%）となっており、築30年以上を合わせると28棟（70%）、床面積1.4万㎡（62%）となっています。

築年別整備状況



図：中学校施設の築年別建物状況

※作図のプログラムにより、面積は万㎡、比率が整数になっています。

(3) 児童・生徒数及び学級数の変化

①児童・生徒数及び学級数の推移

小学校では、平成22年度以降、市内の小学校16校の全児童数は、平成23年度を境に大幅に減少したものの、平成27年度より徐々に増加に転じ、令和2年度は1808人となっています。平成22年度と比較すると約0.2%減少しています。児童数の変化の傾向は学校ごとに異なり、この10年間で安楽小学校、野神小学校、有明小学校では約2～6割増加しており、泰野小学校、伊崎田小学校では約2割減少しています。

学級数は増加傾向にありますが、これは特別支援学級数が増加している影響であり、普通学級数は減少しています。

表：児童数・学級数の推移（特別支援学級を含む）

単位：人、クラス

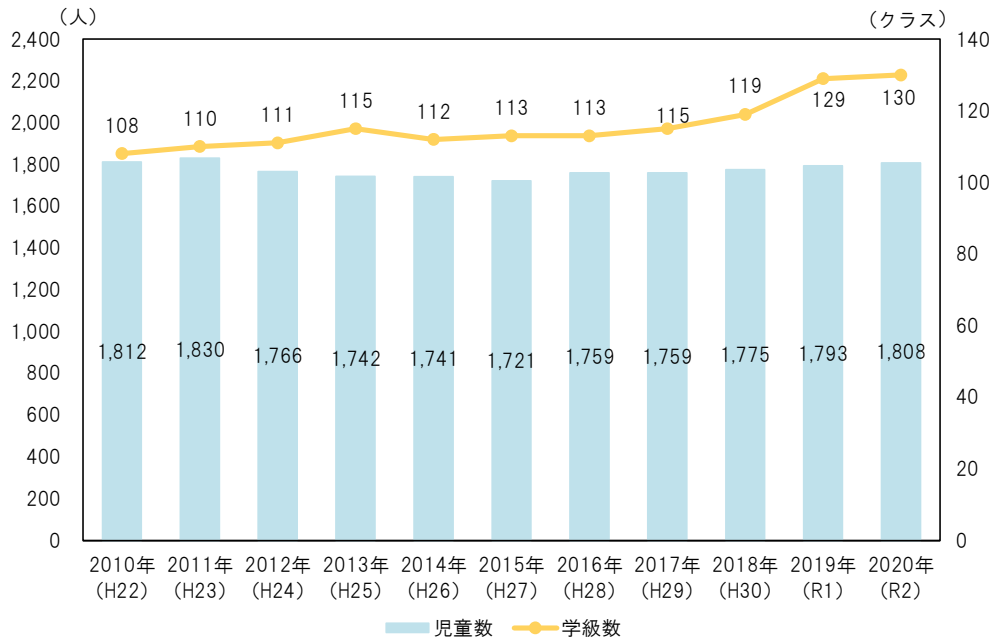
小学校	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2010年/ 2020年	
松山小学校	児童数	92	92	84	91	90	87	85	86	82	76	80	87.0%
	学級数	6	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8	2
泰野小学校	児童数	66	64	62	63	60	56	64	63	57	48	51	77.3%
	学級数	7	7	7	7	7	7	7	6	7	6	6	-1
尾野見小学校	児童数	59	72	67	65	72	69	70	64	73	70	64	108.5%
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	7	8	8	2
志布志小学校	児童数	354	362	359	368	371	367	351	326	302	298	295	83.3%
	学級数	15	16	15	15	14	14	14	14	15	15	15	0
香月小学校	児童数	356	367	354	353	352	343	333	332	344	334	301	84.6%
	学級数	15	15	16	16	16	15	14	14	15	16	15	0
潤々野小学校	児童数	37	30	26	19	15	9	18	24	27	32	31	83.8%
	学級数	4	3	3	3	3	2	3	5	6	6	6	2
安楽小学校	児童数	152	149	145	135	133	126	137	151	164	188	209	137.5%
	学級数	6	7	8	8	8	8	8	8	8	10	11	5
田之浦小学校	児童数	15	12	8	9	6	7	4	9	16	21	22	146.7%
	学級数	3	3	2	3	2	3	3	3	3	4	3	0
森山小学校	児童数	16	16	17	13	15	12	15	15	18	13	15	93.8%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	5	5	4	5	2
四浦小学校	児童数	(休校)											-
	学級数	(休校)											-
八野小学校	児童数	10											-
	学級数	3											-
伊崎田小学校	児童数	118	114	99	86	75	79	80	78	79	84	88	74.6%
	学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	1
蓬原小学校	児童数	86	79	68	67	67	70	73	80	82	84	94	109.3%
	学級数	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	0
野神小学校	児童数	93	99	104	104	102	111	111	125	126	133	139	149.5%
	学級数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	9	9	2
有明小学校	児童数	96	104	109	107	120	118	132	135	134	144	154	160.4%
	学級数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	8	8	2
通山小学校	児童数	168	172	166	151	149	164	171	164	170	175	172	102.4%
	学級数	6	6	6	6	7	8	8	7	7	7	8	2
原田小学校	児童数	45	48	53	62	68	57	66	61	57	50	48	106.7%
	学級数	4	4	5	6	6	6	6	6	5	7	6	2
山重小学校	児童数	49	50	45	49	46	46	49	46	44	43	45	91.8%
	学級数	5	6	5	6	5	6	6	6	5	6	6	1
小学校 合計	児童数	1,812	1,830	1,766	1,742	1,741	1,721	1,759	1,759	1,775	1,793	1,808	99.8%
	学級数	108	110	111	115	112	113	113	115	119	129	130	22

各年4月時点

表：学級数の推移（内訳）

単位：クラス

学級数	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2010年/ 2020年
特別	9	10	14	15	14	14	14	17	21	32	35	26
普通	102	100	97	100	98	99	99	98	98	97	95	-7



図：児童数・学級数の推移

資料：志布志市教育委員会資料

中学校では、平成 22 年度以降、市内の中学校 5 校の全生徒数は、平成 26 年度に増加したものの減少傾向にあり、令和 2 年度は 800 人となっています。平成 22 年度と比較すると 19.6%減少しています。

学級数は小学校と同様増加傾向にありますが、特別支援学級数が増加している影響であり、普通学級数は同じく減少しています。

表：生徒数・学級数の推移（特別支援学級を含む）

単位：人、クラス

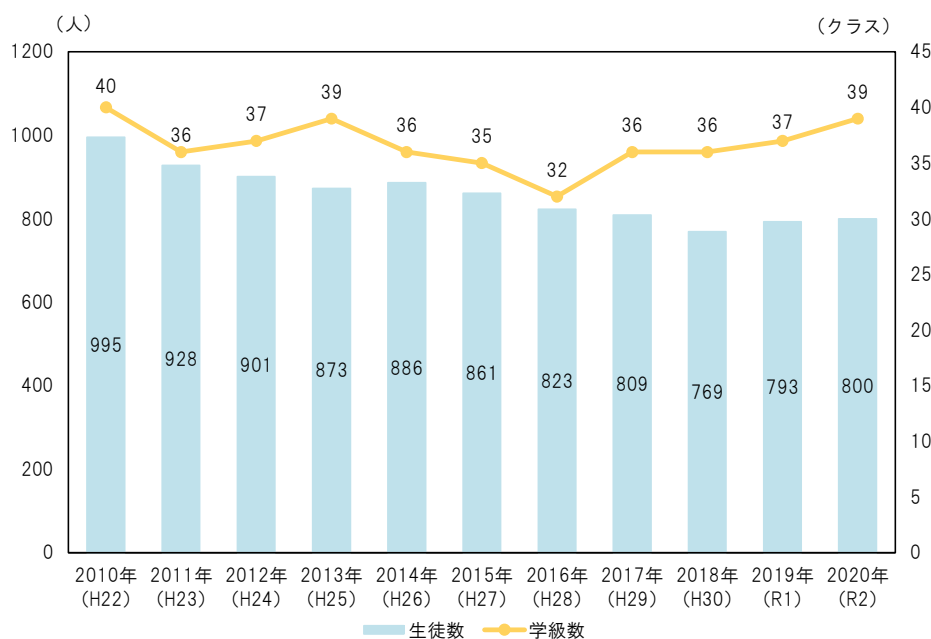
中学校		2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2010年/ 2020年
松山中学校	生徒数	122	108	110	114	118	112	95	102	94	109	104	85.2%
	学級数	4	3	4	5	6	5	4	4	4	4	5	1
志布志中学校	生徒数	489	455	445	415	450	439	444	418	406	401	407	83.2%
	学級数	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	15	2
田之浦中学校	生徒数	28	23	18	14								0.0%
	学級数	4	3	3	2								-4
出水中学校	生徒数	24	23	21	18								0.0%
	学級数	4	4	4	3								-4
有明中学校	生徒数	124	118	113	121	129	131	119	121	110	108	114	91.9%
	学級数	6	4	3	4	5	6	5	6	6	6	6	0
宇都中学校	生徒数	162	147	146	140	138	134	123	130	125	139	142	87.7%
	学級数	6	6	7	7	7	6	6	7	7	8	8	2
伊崎田中学校	生徒数	46	54	48	51	51	45	42	38	34	36	33	71.7%
	学級数	3	3	3	4	4	4	3	5	5	5	5	2
中学校 合計	生徒数	995	928	901	873	886	861	823	809	769	793	800	80.4%
	学級数	40	36	37	39	36	35	32	36	36	37	39	-1

各年4月時点

表：学級数の推移（内訳）

単位：クラス

学級数	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2010年/ 2020年
特別	3	2	3	4	5	5	5	8	9	9	11	8
普通	37	34	34	35	31	30	27	28	27	28	28	-9



図：児童数・学級数の推移

資料：志布志市教育委員会資料

②児童・生徒数及び学級数の推計

小学校の2025年度までの推計では、児童数は2021年を目途に徐々に減少していくと予測されます。また、学級数も2021年を境に減少していくと予想されます。

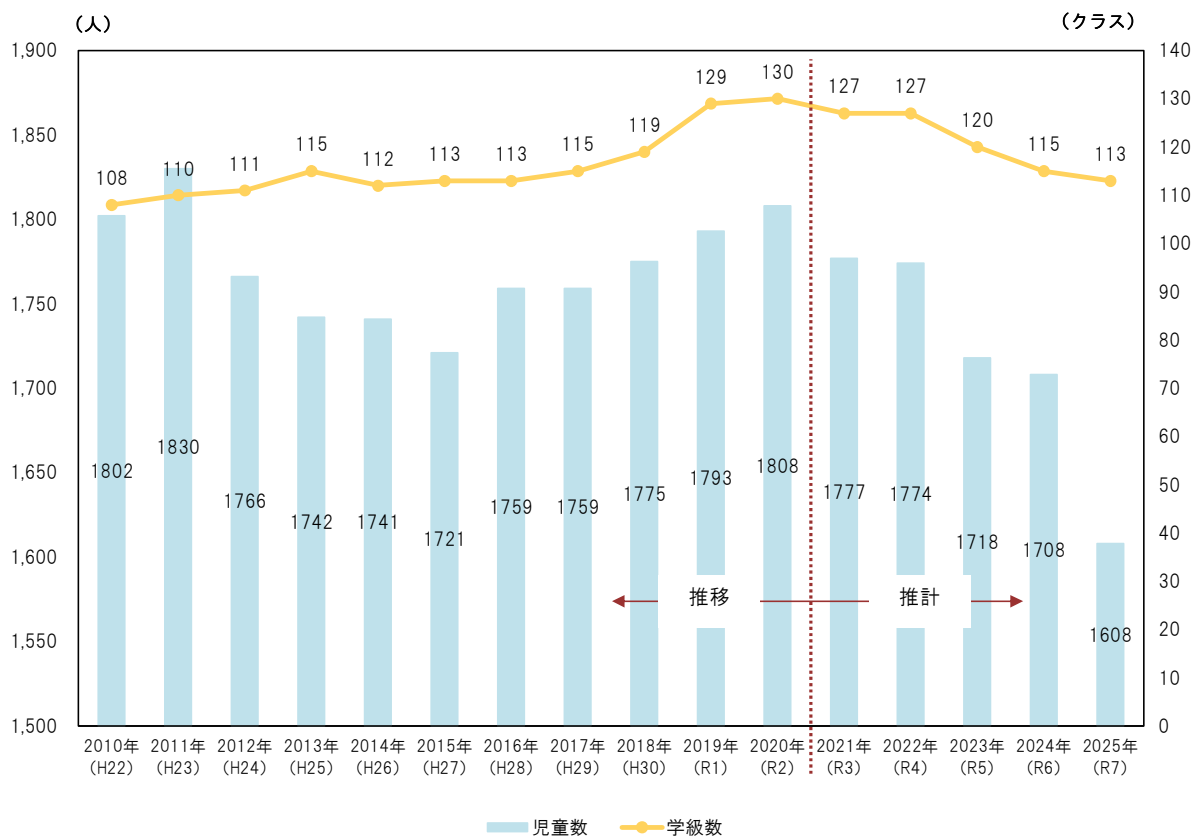
【小学校】

表：児童数・学級数の推計

令和2年現在

		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
松山小学校	児童数	72	76	69	69	62
	学級数	7	8	8	7	7
泰野小学校	児童数	54	45	43	43	38
	学級数	6	5	6	5	6
尾野見小学校	児童数	62	66	62	51	45
	学級数	8	8	8	8	7
志布志小学校	児童数	298	307	313	329	320
	学級数	14	14	14	15	15
香月小学校	児童数	315	301	285	280	275
	学級数	15	14	13	13	13
潤ヶ野小学校	児童数	30	31	27	23	15
	学級数	5	6	5	5	4
安楽小学校	児童数	227	241	231	242	212
	学級数	11	12	12	11	10
田之浦小学校	児童数	20	17	17	12	8
	学級数	3	3	2	3	3
森山小学校	児童数	9	9	9	4	4
	学級数	5	5	4	4	3
伊崎田小学校	児童数	82	77	70	61	52
	学級数	8	7	7	6	7
蓬原小学校	児童数	85	82	80	75	72
	学級数	7	7	7	5	6
野神小学校	児童数	122	130	109	108	99
	学級数	9	9	9	8	8
有明小学校	児童数	153	141	143	144	140
	学級数	8	8	7	7	7
通山小学校	児童数	152	160	164	167	179
	学級数	7	7	7	7	7
原田小学校	児童数	50	46	45	44	38
	学級数	7	7	5	5	4
山重小学校	児童数	46	45	51	56	49
	学級数	7	7	6	6	6
合計	児童数	1777	1774	1718	1708	1608
	学級数	127	127	120	115	113

資料：志布志市教育委員会資料



図：児童数・学級数

資料：志布志市教育委員会資料

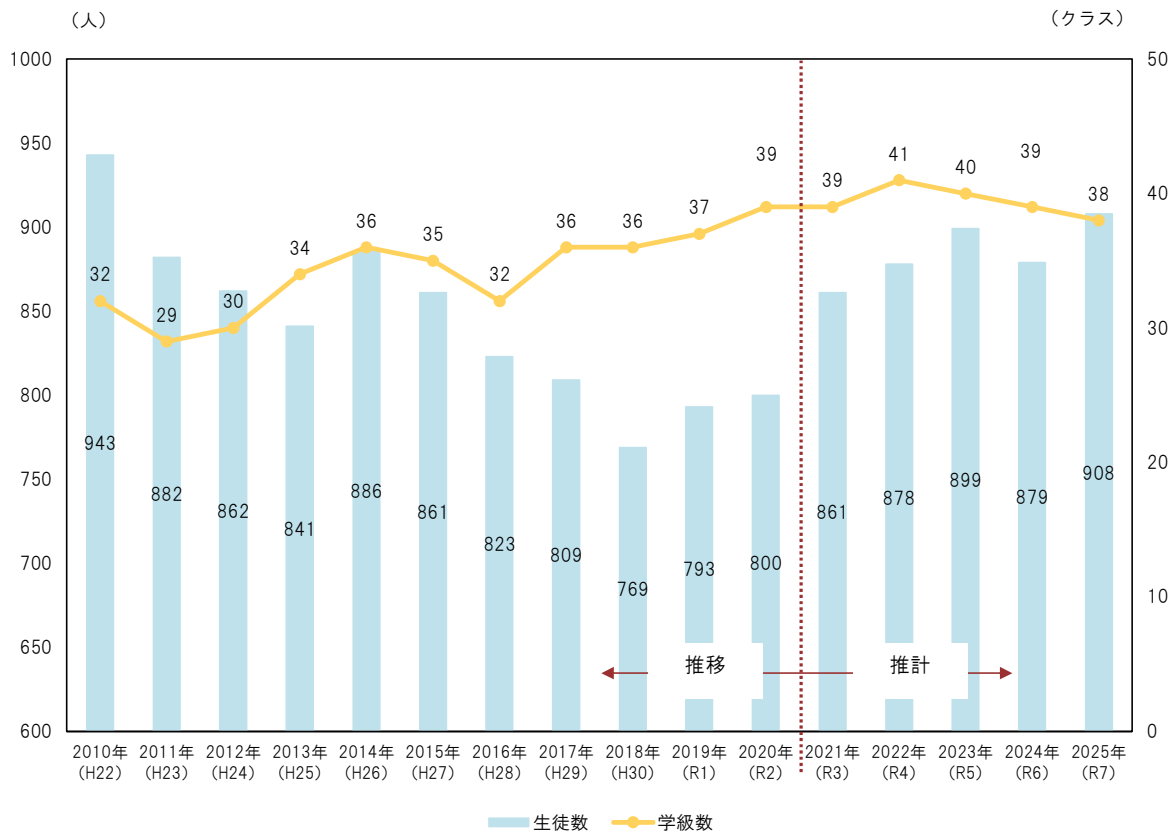
中学校の 2025 年度までの推計では、生徒数は徐々に増加していますが、学級数は年々、徐々に減少していくと予想されます。

【中学校】

表：生徒数・学級数の推計

		令和2年現在				
		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
松山中学校	生徒数	110	103	101	102	98
	学級数	5	5	5	5	5
志布志中学校	生徒数	413	415	424	435	460
	学級数	14	15	15	15	16
有明中学校	生徒数	145	170	168	154	148
	学級数	7	8	8	8	7
宇都中学校	生徒数	157	148	161	142	159
	学級数	8	8	8	7	7
伊崎田中学校	生徒数	36	42	45	46	43
	学級数	5	5	4	4	3
合計	生徒数	861	878	899	879	908
	学級数	39	41	40	39	38

資料：志布志市教育委員会資料



図：生徒数・学級数

資料：志布志市教育委員会資料

(4) 職員数の推移

本市の小中学校の職員数を下表に示します。

表：小学校の職員数の推移

単位：人

	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2020年/ 2010年
松山小学校	13	14	14	14	15	14	14	14	14	15	17	131%
泰野小学校	14	14	14	14	14	15	14	13	14	13	13	93%
尾野見小学校	13	13	13	13	13	13	13	13	15	16	16	123%
志布志小学校	26	26	26	25	24	24	25	26	27	28	29	112%
香月小学校	26	26	26	27	27	28	26	26	26	28	28	108%
潤ヶ野小学校	10	11	10	9	7	7	9	11	12	12	13	130%
安楽小学校	14	14	17	17	16	16	16	16	17	20	21	150%
田之浦小学校	9	9	7	8	6	7	7	9	9	10	8	89%
森山小学校	10	9	10	9	9	9	9	11	11	10	11	110%
四浦小学校	(休校)											-
八野小学校	9											-
伊崎田小学校	14	15	14	15	15	15	15	15	16	16	16	114%
蓬原小学校	15	15	14	15	15	14	14	14	14	14	16	107%
野神小学校	14	14	14	14	15	15	16	16	16	18	17	121%
有明小学校	14	14	15	16	16	16	15	15	15	17	17	121%
通山小学校	14	14	15	16	16	18	18	17	17	17	19	136%
原田小学校	10	10	11	13	14	14	14	14	12	14	13	130%
山重小学校	12	12	12	13	12	12	13	13	12	13	13	108%
合計	237	230	232	238	234	237	238	243	247	261	267	-

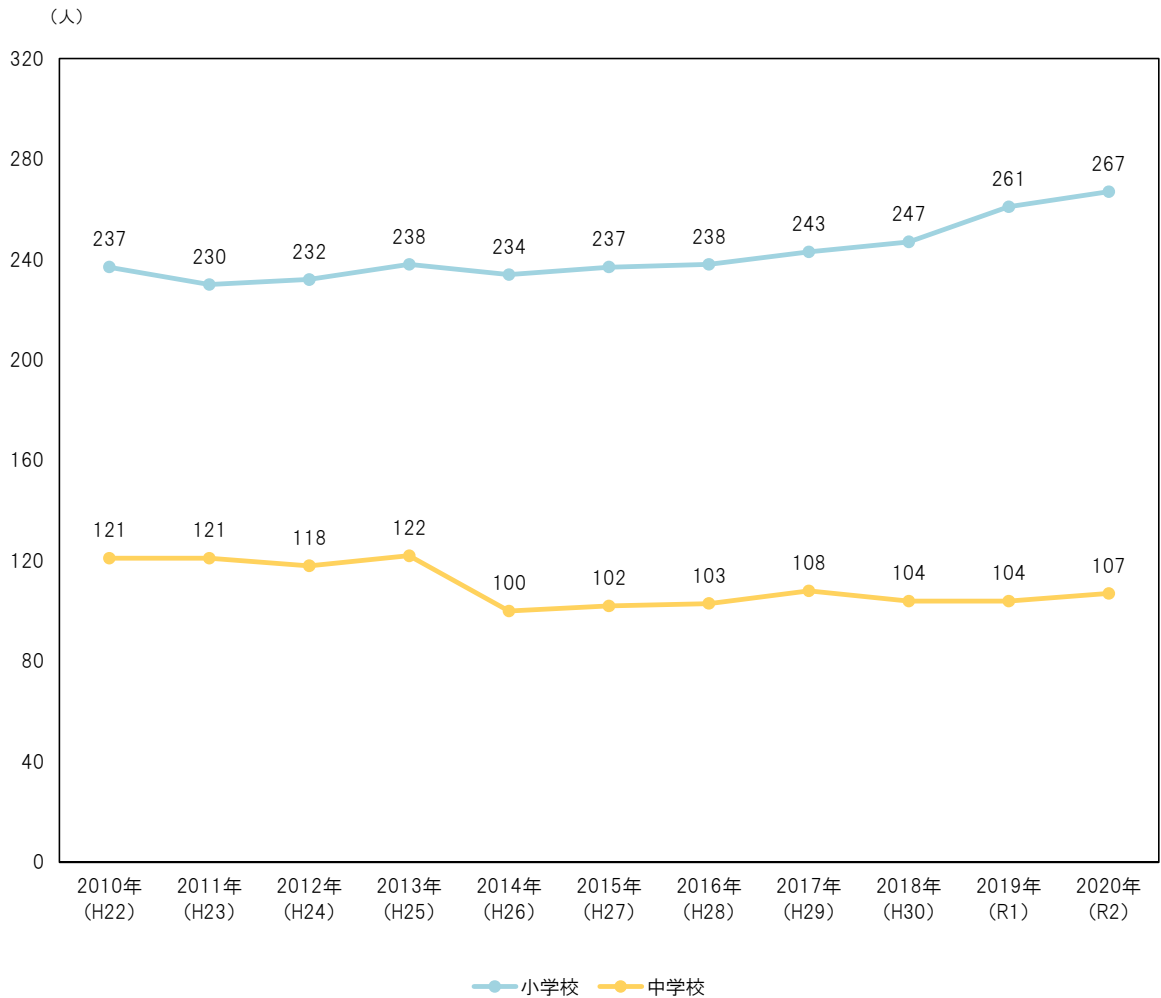
資料：志布志市教育委員会資料

表：中学校の職員数の推移

単位：人

	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2020年/ 2010年
松山中学校	16	16	15	16	17	16	15	15	16	16	18	113%
志布志中学校	30	31	32	34	35	36	40	40	37	37	36	120%
田之浦中学校	13	13	12	11								0%
出水中学校	13	13	12	13								0%
有明中学校	17	17	15	16	17	19	17	18	18	19	19	112%
宇都中学校	18	17	19	19	18	18	18	20	19	19	20	111%
伊崎田中学校	14	14	13	13	13	13	13	15	14	13	14	100%
合計	121	121	118	122	100	102	103	108	104	104	107	-

資料：志布志市教育委員会資料



図：小中学校の職員数の推移

(5) 学校施設等の配置状況

本市の人口は、志布志地域、有明地域、松山地域の順に多く、志布志地域は全人口の約5割を占めています。志布志地域には、小学校6校、中学校が1校あり、全体に対する15歳未満人口、児童数、生徒数ともに約5割を占めています。松山地域には小学校3校、中学校が1校、有明地域には小学校が7校、中学校が3校あります。

表：地域別の学校施設配置状況

単位：人

地域	項目	人口	15歳未満	小学校	児童数	中学校	生徒数		
松山地域	実数	3,977	473	松山小	76 4.2%	松山中	109		
				泰野小	48 2.7%				
	比率	12.6%	11.0%	尾野見小	70 3.9%		13.7%		
志布志地域	実数	16,820	2,228	志布志小	298 16.6%	志布志中	401		
				香月小	334 18.6%				
				潤ヶ野小	32 1.8%				
	比率	53.4%	51.8%	安楽小	188 10.5%		50.6%		
				田之浦小	21 1.2%				
				森山小	13 0.7%				
有明地域	実数	10,682	1,601	有明小	144 8.0%	有明中	108		
				通山小	175 9.8%				
				蓬原小	84 4.7%		139		
	比率	33.9%	37%	野神小	133 7.4%	宇都中		17.5%	
				原田小	50 2.8%				
				山重小	43 2.4%				
				伊崎田小	84 4.7%				伊崎田中
合計	実数	31,479	4,302	合計	1,793	合計	793		
	比率	100%	100%		100%		100%		

資料：人口は平成27年国勢調査、児童・生徒数は志布志市教育委員会資料（平成31年4月8日現在）



図：校区区分図（小学校）



図：校区区分図（中学校）

(6) 学校の維持管理コスト

①管理費の推移

表：管理費の推移（小学校）

施設名	内容	単位：千円					年平均
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
松山小学校	光熱水費	1,352	1,424	1,891	1,806	2,291	3,227
	維持修繕費	803	865	2,897	1,011	311	
	委託費	80	704	388	36	277	
	小計	2,235	2,993	5,176	2,853	2,879	
泰野小学校	光熱水費	1,386	1,392	1,363	1,433	1,366	2,846
	維持修繕費	230	718	906	207	133	
	委託費	91	1,677	1,747	55	1,527	
	小計	1,707	3,787	4,016	1,695	3,025	
尾野見小学校	光熱水費	1,075	1,051	1,144	1,279	1,548	2,120
	維持修繕費	457	675	519	812	502	
	委託費	166	441	535	127	266	
	小計	1,698	2,167	2,198	2,218	2,316	
志布志小学校	光熱水費	2,217	2,587	2,676	2,718	3,148	3,706
	維持修繕費	412	1,074	320	214	994	
	委託費	227	1,036	342	196	370	
	小計	2,856	4,697	3,338	3,128	4,511	
香月小学校	光熱水費	2,729	2,987	3,093	3,301	4,055	4,243
	維持修繕費	272	1,377	296	804	297	
	委託費	15	822	338	614	217	
	小計	3,015	5,186	3,726	4,719	4,568	
潤ヶ野小学校	光熱水費	870	969	1,036	913	1,130	2,104
	維持修繕費	201	741	445	817	125	
	委託費	222	1,115	1,295	222	420	
	小計	1,293	2,825	2,776	1,952	1,676	
安楽小学校	光熱水費	1,646	1,655	1,919	1,829	2,179	3,531
	維持修繕費	497	255	396	548	336	
	委託費	15	2,118	2,188	88	1,988	
	小計	2,157	4,029	4,503	2,465	4,503	
田之浦小学校	光熱水費	496	617	846	922	952	1,304
	維持修繕費	695	201	37	306	196	
	委託費	183	472	293	2	303	
	小計	1,375	1,289	1,175	1,230	1,451	
森山小学校	光熱水費	683	653	705	630	727	1,395
	維持修繕費	899	386	299	237	175	
	委託費	60	460	555	239	266	
	小計	1,642	1,499	1,560	1,106	1,167	
伊崎田小学校	光熱水費	1,378	1,348	1,502	1,429	1,402	1,976
	維持修繕費	1,031	841	78	689	0	
	委託費	0	28	97	0	56	
	小計	2,409	2,217	1,676	2,118	1,458	
蓬原小学校	光熱水費	1,674	1,644	1,777	2,061	2,019	2,394
	維持修繕費	247	332	45	767	291	
	委託費	28	423	325	121	217	
	小計	1,949	2,399	2,147	2,949	2,526	
野神小学校	光熱水費	1,500	1,415	1,473	1,650	1,854	2,494
	維持修繕費	917	711	26	848	227	
	委託費	45	563	312	27	903	
	小計	2,462	2,689	1,811	2,524	2,984	
有明小学校	光熱水費	1,645	1,576	1,801	1,922	1,978	2,746
	維持修繕費	443	876	88	710	1,150	
	委託費	15	684	293	213	337	
	小計	2,103	3,136	2,182	2,845	3,466	
通山小学校	光熱水費	1,645	1,569	1,612	1,593	1,956	3,301
	維持修繕費	1,155	417	5	198	252	
	委託費	55	1,864	1,936	346	1,901	
	小計	2,855	3,851	3,553	2,137	4,109	
原田小学校	光熱水費	1,196	1,304	1,306	1,542	1,567	3,233
	維持修繕費	365	367	39	328	378	
	委託費	15	2,640	2,556	9	2,554	
	小計	1,576	4,310	3,901	1,878	4,499	
山重小学校	光熱水費	1,358	1,390	1,550	1,613	1,626	2,277
	維持修繕費	168	246	285	869	235	
	委託費	15	990	298	227	515	
	小計	1,541	2,626	2,133	2,708	2,376	
合計	光熱水費	22,851	23,581	25,693	26,641	29,797	25,712
	維持修繕費	8,792	10,081	6,682	9,364	5,600	8,104
	委託費	1,231	16,038	13,495	2,521	12,116	9,080
	計	32,874	49,699	45,870	38,527	47,514	42,897

資料：志布志市教育委員会資料

表：管理費の推移（中学校）

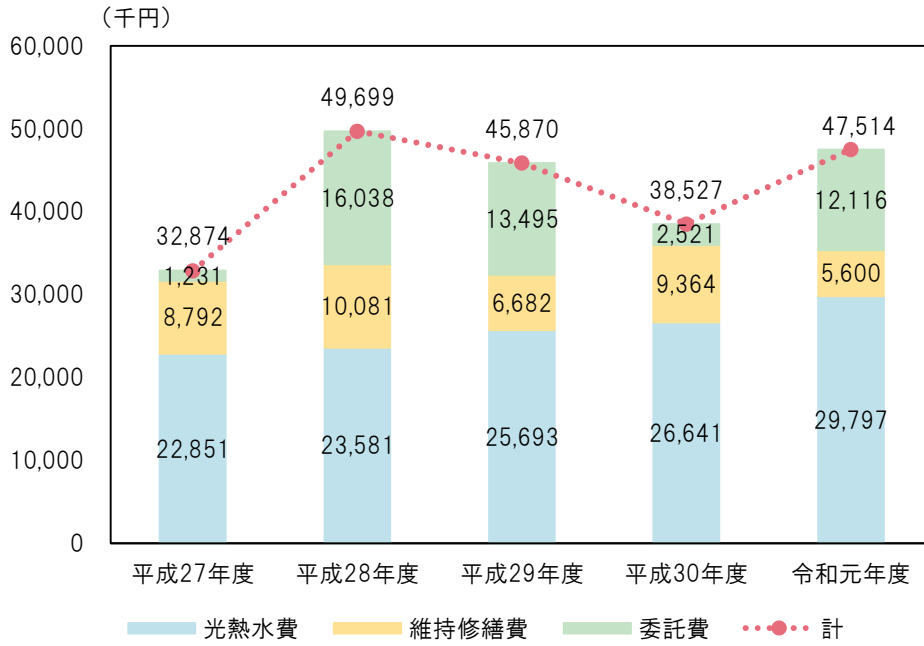
単位：千円

施設名	内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	年平均
松山中学校	光熱水費	2,169	2,110	2,120	2,030	2,066	3,202
	維持修繕費	805	1,098	911	455	243	
	委託費	108	426	521	313	637	
	小計	3,083	3,633	3,552	2,797	2,946	
志布志中学校	光熱水費	3,424	3,697	4,222	4,113	4,728	5,973
	維持修繕費	1,601	1,599	750	441	645	
	委託費	458	1,187	1,288	728	984	
	小計	5,483	6,482	6,260	5,282	6,357	
有明中学校	光熱水費	1,904	1,888	1,890	2,047	2,099	2,863
	維持修繕費	1,121	247	562	807	227	
	委託費	356	457	482	47	180	
	小計	3,380	2,592	2,934	2,901	2,506	
宇都中学校	光熱水費	2,014	2,262	2,316	2,417	2,513	3,162
	維持修繕費	958	834	275	884	97	
	委託費	68	298	428	79	370	
	小計	3,040	3,394	3,018	3,379	2,980	
伊崎田中学校	光熱水費	1,293	1,249	1,324	1,223	1,502	2,249
	維持修繕費	425	1,570	408	382	522	
	委託費	82	228	348	366	321	
	小計	1,800	3,047	2,080	1,972	2,345	
合計	光熱水費	10,804	11,205	11,873	11,830	12,908	11,724
	維持修繕費	4,910	5,347	2,905	2,969	1,734	3,573
	委託費	1,072	2,597	3,067	1,533	2,492	2,152
	計	16,786	19,149	17,845	16,332	17,133	17,449

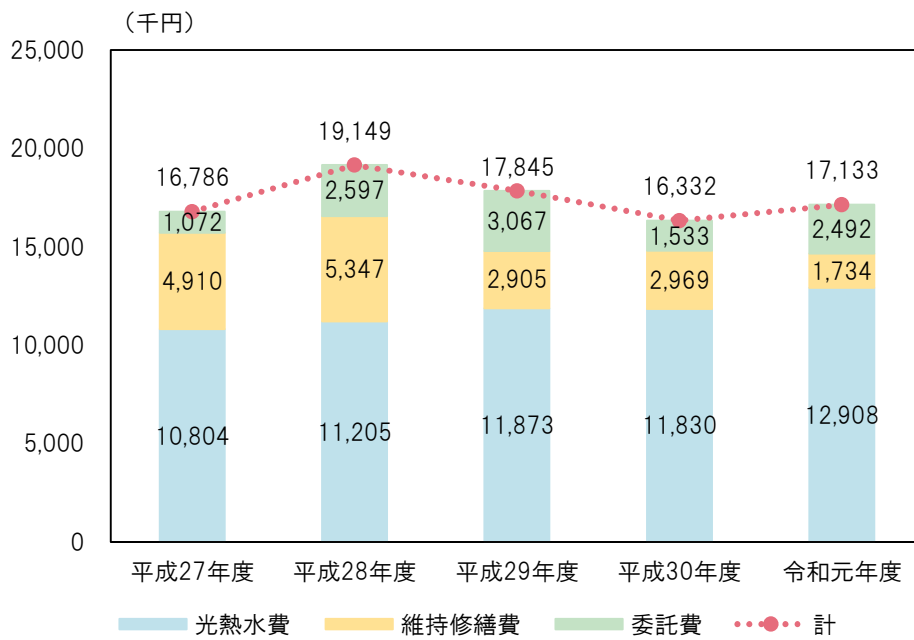
資料：志布志市教育委員会資料

小中学校の管理費（光熱水費、維持修繕費、委託費）に関する、平成27年度から令和元年度までの5年間の年平均は、小学校で42,897千円、中学校で17,449千円となります。

管理費の内訳をみると、平成27年度から令和元年度までの5年間の年平均は、小学校では光熱水費が25,712千円、維持修繕費が8,104千円、委託費が9,080千円、中学校では光熱水費が11,724千円、維持修繕費が3,573千円、委託費が2,152千円となっています。



図：管理費の推移（小学校）



図：管理費の推移（中学校）

②改修に係る工事費の推移

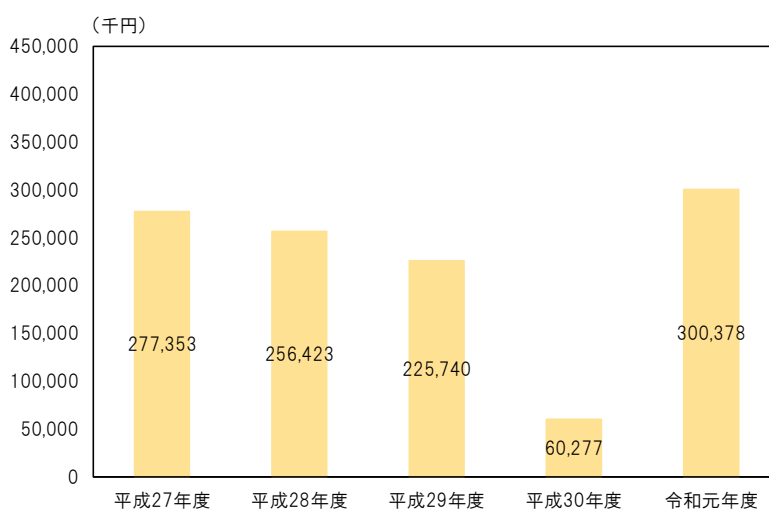
全小中学校の改修に係る工事費の平成27年度から令和元年度までの年平均は400,375千円となります。年度別で見ると、平成30年度が最も高くなっており、これは伊崎田中学校の解体、改築等を行ったためです。

表：学校改修に係る工事費の推移

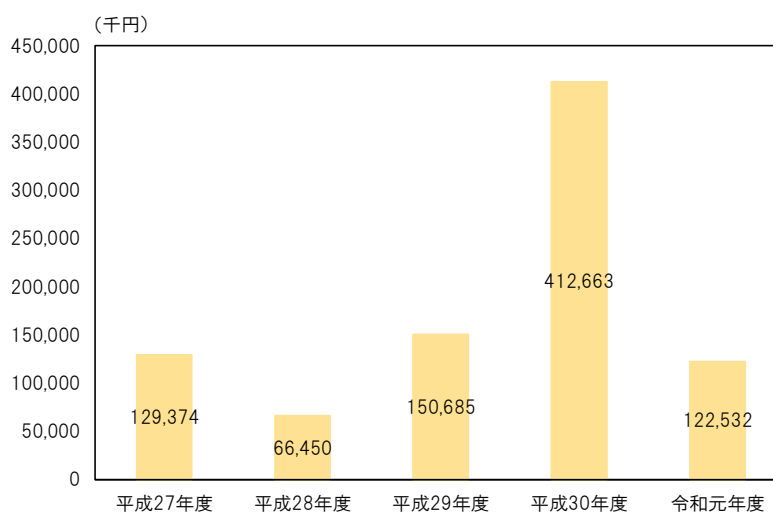
単位：千円

種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
小学校	277,353	256,423	225,740	60,277	300,378	
中学校	129,374	66,450	150,685	412,663	122,532	
計	406,727	322,873	376,424	472,940	422,911	400,375

資料：志布志市教育委員会資料



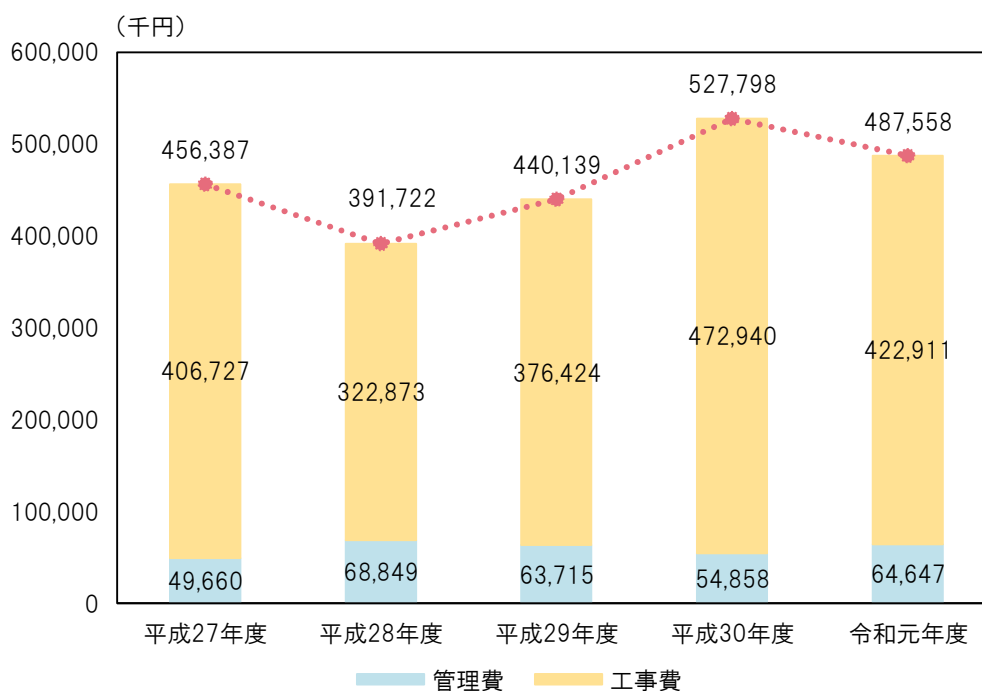
図：工事費の推移（小学校）



図：工事費の推移（中学校）

③維持管理コストの推移（管理費＋工事費）

全小中学校の改修に係る維持管理コスト（管理費＋工事費）を年度別で見ると、平成30年度が527,798千円で最も高くなっています。



図：維持管理コストの推移（小中学校）

資料：志布志市教育委員会資料

(7) 学校施設等の実態を踏まえた課題

本市には、小学校が16校、中学校が5校ありますが、人口減少や少子高齢化の影響により、15歳未満の人口が年々減少してきており、児童数・生徒数も減少しています。

これまでに述べたように、本市の学校施設は、築30年以上の建物が全体の約6割以上を占めています。建物の構造の多くは、鉄筋コンクリート造（RC造）で建てられ、耐震診断結果に基づいて耐震補強・大規模改修工事等を実施してきました。しかしながら、建築から長い年数が経過して建物の老朽化が進んでいるとともに設備の不具合もあり、近い将来に対策が必要となっています。

また、少子化の進展により児童・生徒数の減少や学校の小規模校化が進んできており、今後も更なる人口減少や少子化が予測されていることを踏まえると、学校規模の適正化について検討が必要になってきます。

さらに、教育内容や教育方法等の多様化、防災機能整備、バリアフリー化、環境への配慮など学校施設に求められる時代のニーズに対応するための対策が課題となっています。

① 財政状況を勘案した学校施設等の長期保全への取り組み

令和元年度の一般会計の決算における自主財源の割合は、歳入総額の47.1%となっていますが、市町村合併による優遇措置の段階的な減少が見込まれ、今後ますます厳しい財政運営を迫られることが見込まれます。一方、歳出においては、一般行政経費が増加する傾向を踏まえると、財政状況がますます厳しくなっていくこととなります。

本市の建築系公共施設は、838施設、総延床面積204,992㎡を保有している中で、小中学校、給食共同調理場を合わせた学校施設の延床面積は全体の約36%を占めています。（資料：公共施設等個別施設計画）これらの学校施設等は、近い将来に改築や大規模改修を行う必要があり、市の財政の大きな負担となることが考えられます。

このため、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、長期的な予算配分を確立していくことが必要です。

② 学校施設等の維持・改修など総合的な対応

学校施設の約60%以上が築30年以上と老朽化が進んでいる中で、建設当時に比べ大きく変化している多様な学習内容に応じた高機能かつ多機能な施設環境の必要性が高まっています。また、防災対策、バリアフリー対策、トイレの洋式化等の学習・生活空間としての安全性や快適性の向上を図るほか、環境負荷の低減対策等の様々な配慮が必要となっています。

施設の改修にあたっては、建築時の状態に戻すのではなく、その機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる必要があります。その際には、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、地域コミュニティの拠点形成を目指して再生を行うことが重要です。

③ 小中学校の規模・配置の適正化の検討

児童・生徒数が減少し、国が定める適正規模の学校は志布志中学校のみとなり、あとは全て小規模校と過小規模校に分類されます。このため、将来を見据えた小中学校の規模や配置の適正化が課題となっていますが、その検討にあたっては児童・生徒にとって望ましい教育環境はどうあるべきかという観点に立ち、保護者や地域住民等の理解や協力を得ながら進めていく必要があります。

表：学校規模の分類

	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
小学校	5学級以下	6～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級以上
中学校	2学級以下	3～11学級			

資料：学校教育法施行規則

3. 学校施設等の老朽化状況

(1) 学校施設等の老朽化状況の把握

① 老朽化状況の評価

施設の健全性・劣化状況を把握し評価するために、学校施設台帳、耐震診断結果を踏まえ、さらに屋上・外壁等の実態を把握するため、学校施設等 21 施設の主要建物 144 棟を対象にした目視による現地調査を行いました。

以下に示す劣化状況調査票を基に、各項目について劣化状況の確認と劣化具合の写真撮影し、「屋根・屋上」、「外壁」に区分して評価を行いました。また、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」も経過年数により評価を行い、それらを基に総合的に施設の健全度として点数化を行いました。

【劣化状況調査票】

通し番号			学校番号			調査日		
学校名				建物名				記入者
棟番号				建築年度	年度(年度)			
構造種別	延床面積	㎡	階数	地上	階	地下	階	

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフィングを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 () <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
3. 内部	内部劣化箇所②			内部劣化箇所③			
部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)			評価	
4 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修						
	<input type="checkbox"/> エコ改修						
	<input type="checkbox"/> トイレ改修						
	<input type="checkbox"/> 法令適合						
	<input type="checkbox"/> 校内LAN						
	<input type="checkbox"/> 空調設置						
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策						
	<input type="checkbox"/> 防犯対策						
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策						
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策						
<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事							
5 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修						
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事						
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検						
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事						
6 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修						
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修						
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検						
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事						
7 設備情報	トイレのドライ化	太陽光発電	エレベーター	点字ブロック	スロープ		
	木質化	屋上緑化	多目的トイレ	手すり			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	0 / 100点

【評価指標】

目視による評価 (屋根・屋上、外壁)		経過年数による評価 (内部仕上、電気設備、機械設備)	
評価	基準	評価	基準
A	おおむね良好	A	20年未満
B	部分的に劣化 (安全上・機能上：問題なし)	B	20～40年
C	広範囲に劣化 (安全上・機能上：不具合発生の兆し)	C	40年以上
D	早急に対応する必要がある	D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある

図：評価指標

【健全度の算定】

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。部位のコスト配分を下表のように定め、健全度を100点満点で算定します。

表：部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

表：部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

◇ 計算例：総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 60（コスト配分合計）

表：計算例

部位	評価	→	評価点例	×	コスト配分	=	配分評価点
屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
内部仕上	B	→	75	×	22.4	=	1,680
電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
計							3,148
							÷60
健全度							52

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：屋根・屋上】

目視状況を写真真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。		劣化			
仕様	評価	A	B	C	D
7スアルト 保護防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
7スアルト 露出防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
シート 防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
塗膜防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
金属板 (長尺、折板、平葺き)	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				

目視状況を写真真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》







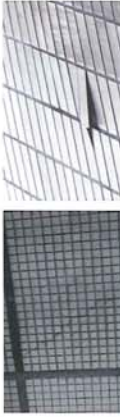













《点検項目》

- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ✓ 防水面において、膨れ・剥がれ・破れ・穴開きなどがないか。
- ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。
- ✓ 上記のような劣化現象の箇所数を記入。

《点検の留意点》

- ✓ ルーフドレイン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
- ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
- ✓ パラペット立上り部分の防水端部で、剥がれ等がないか確認する。
- ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
- ✓ 1箇所の劣化現象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
- ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
- ✓ 現状として、降雨時に複数箇所雨漏りしている場合はD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済でも、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、見極める必要がある。

【評価基準：外壁】

評価 仕様	A	B	C	D
塗 り 仕 上 げ	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質・浮き・さび汁がある。	 広範囲に、ひび割れ、亀甲状のひび割れ、変質・浮き・剥がれ・さび汁があり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
タイル張り 石張り	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ、変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
金属系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
セメント系 パネル	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質・欠損・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ、変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠損があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
窓 (サッシ)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。	 全体的に、変形・変質・さび・シーリングの硬化・ひび割れが見られる。	 全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。




目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好 劣化

《解説》
 《点検項目》
 ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
 ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができていないか。
 ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
 ✓ 建具枠、繋ぎなどの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
 ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。
 ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。
 《点検の留意点》
 ✓ 目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
 ✓ 外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
 ✓ スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。
 ✓ 現状として降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。
 ✓ 鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評価とする。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備】

部位の全面的な改修年数から経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

CまたはDの事象(例)	該当する部位	
<ul style="list-style-type: none"> ● 内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・特定の教室のみの改修 ・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事 ● 広範囲(25%以上の面積)または箇所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることが目安とする。  <p>天井の落下・剥がれ</p>  <p>床のひび割れ</p>  <p>床仕上げの剥がれ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 床、壁、天井 ● 内部開口部(扉、窓、防火戸) ● 室内表示、手すり、固定家具など ● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具 	内部仕上
<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・受変電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新 (評価例) ・視聴覚室やコンピュータ室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱電設備) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。</p> </div>	電気設備
<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年度を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) ・部分的な修繕等 (評価例) ・給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価 ・給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。</p> </div>	機械設備

《解説》

内部仕上と設備は修繕・改修や点検の履歴を基に、経過年数により4段階で評価することを基本とする。ただし、現地目視により、右頁にあるような事象があれば、それらも加味して総合的に評価すること。

対象となる部位、及びC/D評価に該当する事象例を右表に示す。

《点検項目》

✓ 内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボード類の浮きや損傷などがないか。

✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。

✓ 設備機器においては、機器や梁架に錆・損傷・腐食などがないか。

✓ 設備機器に漏水・漏油などがないか。

✓ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。

✓ 機器から異音はしていないか。

✓ 保守点検や消防の査察などで正措置等の指摘がないか。

《点検の留意点》

✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。

✓ 受変電設備等の高圧機器は、フェンスの外から目視により確認する。

✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。

✓ 目視で評価する場合、複数台あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。

表：劣化状況（小学校）

■：築50年以上 ■：築30年以上 ■：築20年以上
□：部分的に劣化 □：広範囲に劣化 □：緊急に対応する必要がある

2020 基準

通し調査番号	施設名	施設名	棟番号	国定資産台帳番号	用途区分	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性				構造躯体の健全性				劣化状況				備考			
									西暦	和暦		調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試験上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)	調査基準	診断	補強		調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試験上の区分
56	1467	森山小学校	管理特別教室棟	建物37-1	小学校	校舎	RC造	2	828	1985	S40	55	旧	済	-	H21	19.7	長寿命	A	A	B	D	86	H31 空調機整備工事			
57	1467	森山小学校	屋内運動場	建物37-3	小学校	体育館	S造	1	380	1977	S52	43	旧	済	済	H21	-	長寿命	A	B	A	D	82	H23 大規模改造 H23 耐震工事			
58	1467	森山小学校	校長住宅	建物39-1	小学校	寄宿舎	W造	1	80	1987	S82	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	75				
59	1467	森山小学校	教頭住宅	建物40-1	小学校	寄宿舎	W造	1	82	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	84				
60	1467	森山小学校	多目的教室	建物37-6	小学校	校舎	S造	1	40	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	66				
61	1470	伊崎田小学校	教室棟	建物50-4	小学校	校舎	RC造	2	489	1982	S37	58	旧	済	済	H20	17.4	長寿命	B	A	A	D	87	H27 大規模改造/H27 耐震工事 H31 空調機整備工事			
62	1470	伊崎田小学校	管理教室棟	建物50-4	小学校	校舎	RC造	2	766	1983	S38	57	旧	済	済	H20	17.4	長寿命	B	B	A	D	80	H27 大規模改造 H27 耐震工事			
63	1470	伊崎田小学校	管理教室棟	建物50-4	小学校	校舎	RC造	2	261	1984	S39	56	旧	済	済	H20	17.4	長寿命	A	B	A	D	82	H27 大規模改造 H27 耐震工事			
64	1470	伊崎田小学校	WC	建物50-4	小学校	校舎	RC造	2	60	1982	S37	58	旧	済	済	H24	24.8	長寿命	A	B	A	D	82	H27 大規模改造			
65	1470	伊崎田小学校	屋内運動場	建物50-6	小学校	体育館	RC造	1	659	1979	S54	41	旧	済	-	-	-	長寿命	A	B	A	D	82	H29 大規模改造			
66	1470	伊崎田小学校	教員住宅(校長住宅)	建物51-1	小学校	寄宿舎	W造	1	88	2014	H26	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100				
67	1470	伊崎田小学校	郷土資料室	建物51-1	小学校	校舎	RC造	1	25	2018	H30	2	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100				
68	1470	伊崎田小学校	特別教室棟	建物51-1	小学校	校舎	W造	1	377	2018	H30	2	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100				
69	1470	伊崎田小学校	教員住宅(教頭住宅)	建物増51	小学校	寄宿舎	W造	1	88	2018	H30	2	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100	H31 空調機整備工事			
70	1471	蓬原小学校	屋内運動場	建物52-1	小学校	体育館	RC造	1	680	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62				
71	1471	蓬原小学校	クラブハウス	建物52-1	小学校	体育館	RC造	1	160	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	75				
72	1471	蓬原小学校	教員住宅(教頭住宅)	建物4132-2	小学校	寄宿舎	W造	1	73	1980	S55	40	旧	-	-	-	-	長期劣化	A	B	C	D	52				
73	1471	蓬原小学校	管理棟・教室棟	建物52-2	小学校	校舎	RC造	2	2232	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62	H31 空調機整備工事			
74	1471	蓬原小学校	校長住宅	建物4132-3	小学校	寄宿舎	W造	1	88	2012	H24	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100				
75	1472	野神小学校	特別教室棟	建物56-1	小学校	校舎	RC造	2	534	1980	S35	60	旧	済	済	H20	16.2	長寿命	A	A	A	D	89	H26 大規模改造 H26 耐震工事			
76	1472	野神小学校	教室棟	建物56-1	小学校	校舎	RC造	2	508	1989	S34	61	旧	済	済	H20	16.2	長寿命	A	B	A	D	82	H26 大規模改造/H26 耐震工事 H31 空調機整備工事			
77	1472	野神小学校	校長住宅	建物56-1	小学校	寄宿舎	W造	1	88	2020	R2	0	新	-	-	-	-	長寿命	-	-	-	-	0	教頭住宅は令和2年度7月に取壊し済み 新築で校長住宅を建設			
78	1472	野神小学校	屋内運動場	建物56-2	小学校	体育館	RC造	1	800	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	B	B	53				
79	1472	野神小学校	クラブハウス	建物56-2	小学校	体育館	RC造	1	200	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77				
80	1472	野神小学校	特別教室管理棟	建物56-3	小学校	校舎	RC造	2	926	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	59	H31 空調機整備工事 (H31 屋根防水改修工事※調査後)			
81	1473	有明小学校	教室棟	建物59-1	小学校	校舎	RC造	2	326	1983	S38	57	旧	済	済	H20	21	長寿命	C	B	A	D	77	H25 大規模改造/H25 耐震工事 H31 空調機整備工事			
82	1473	有明小学校	管理棟	建物59-1	小学校	校舎	RC造	2	595	1984	S39	56	旧	済	済	H20	21	長寿命	B	A	A	D	87	H25 大規模改造/H25 耐震工事 H31 空調機整備工事			
83	1473	有明小学校	トイレ棟	建物59-1	小学校	校舎	RC造	2	65	1983	S38	57	旧	済	済	H20	16.9	長寿命	A	B	A	D	82	H25 大規模改造			
84	1473	有明小学校	特別教室棟	建物59-5	小学校	校舎	RC造	2	1,013	1990	H2	30	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	65	H31 空調機整備工事			
85	1473	有明小学校	屋内運動場	建物59-7	小学校	体育館	RC造	1	802	1996	H8	24	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	63	H27 防災機能強化			
86	1473	有明小学校	クラブハウス	建物59-7	小学校	体育館	RC造	1	230	1996	H8	24	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	75				
87	1473	有明小学校	校長住宅	建物4150-3	小学校	寄宿舎	W造	1	88	2012	H24	8	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100				
88	1474	通山小学校	特別教室棟	建物61-1	小学校	校舎	RC造	2	338	1985	S40	55	旧	済	-	H21	22.7	長寿命	A	A	A	D	89	H28 大規模改造 H31 空調機整備工事			
89	1474	通山小学校	管理棟・教室棟	建物61-5	小学校	校舎	RC造	2	989	1979	S54	41	旧	済	-	H21	24.4	長寿命	B	A	A	D	87	H28 大規模改造 H31 空調機整備工事			
90	1474	通山小学校	特別教室棟	建物61-6	小学校	校舎	RC造	1	360	1979	S54	41	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	D	82	H28 大規模改造			
91	1474	通山小学校	屋内運動場	建物61-9	小学校	体育館	RC造	1	800	1987	S82	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	B	B	53				
92	1474	通山小学校	クラブハウス	建物61-9	小学校	体育館	RC造	1	200	1987	S82	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77				
93	1474	通山小学校	特別教室棟	建物61-10	小学校	校舎	RC造	2	411	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	75				
94	1474	通山小学校	校長住宅	建物62-4	小学校	寄宿舎	W造	1	88	2016	H28	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100				
95	1475	原田小学校	教室棟・管理棟	建物63-1	小学校	校舎	RC造	2	1,083	1974	S49	46	旧	済	-	H21	19.2	長寿命	A	A	A	D	89	H26 大規模改造 H31 空調機整備工事			
96	1475	原田小学校	教頭住宅	建物4172-3	小学校	寄宿舎	W造	1	73	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77				
97	1475	原田小学校	屋内運動場	建物63-5	小学校	体育館	RC造	1	800	1988	S83	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	65				
98	1475	原田小学校	クラブハウス	建物63-5	小学校	体育館	RC造	1	200	1988	S83	32	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77	H30 屋根防水改修工事			
99	1475	原田小学校	特別教室棟	建物63-11	小学校	校舎	W造	1	350	2005	H17	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	93	H31 空調機整備工事			
100	1475	原田小学校	校長住宅	建物4900-1	小学校	寄宿舎	W造	1	88	2013	H25	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100				
101	1476	山重小学校	屋内運動場	建物69-3	小学校	体育館	RC造	1	700	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	B	B	53	H27 防災機能強化 H27 屋根防水工事			
102	1476	山重小学校	教頭住宅	建物4184-1	小学校	寄宿舎	W造	1	73	1979	S54	41	旧	-	-	-	-	長期劣化	A	B	C	D	52				
103	1476	山重小学校	教室棟	建物69-4	小学校	校舎	RC造	2	2,895	2000	H12	20	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62	H27 防災機能強化 H31 空調機整備工事			
104	1476	山重小学校	校長住宅	建物4184-2	小学校	寄宿舎	W造	1	77	2000	H12	20	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	84				

【中学校】

表：劣化状況（中学校）

通し 番号	学校 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産 台帳番号	用途区分 学校 種別	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性		劣化状況		備考								
										西暦	和暦		調査 年度	評価 強度 (N/ ㎡)	長寿命判定 区分	屋根・ 屋上		外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)			
																							基準	診断	精査
105	4225	松山中学校	管理教室棟	1-1	建物74-1	中学校	RC造	2	434	1960	S35	60	旧	済	H20	12	要調査	A	A	A	D	89	H22 大規模改造/H22 耐震工事 H31 空調機整備工事		
106	4225	松山中学校	管理教室棟	1-2	建物74-1	中学校	RC造	1	177	1961	S36	59	旧	済	H20	12	要調査	-	A	A	D	88	H22 大規模改造 H22 耐震工事		
107	4225	松山中学校	管理教室棟	1-3	建物74-1	中学校	RC造	2	249	1961	S36	59	旧	済	H20	12	要調査	B	A	A	D	87	H22 大規模改造/H22 耐震工事 H31 空調機整備工事		
108	4225	松山中学校	管理教室棟	1-4	建物74-1	中学校	RC造	2	562	1962	S37	58	旧	済	H20	11	要調査	B	A	A	D	87	H22 大規模改造/H22 耐震工事 H27 空調機整備工事/H31 空調機整備工事		
109	4225	松山中学校	管理教室棟	1-5	建物74-1	中学校	RC造	2	271	1963	S38	57	旧	済	H20	12	要調査	A	A	A	D	89	H22 大規模改造/H22 耐震工事 H31 空調機整備工事		
110	4225	松山中学校	特別教室棟	2	建物74-2	中学校	RC造	1	329	1964	S39	56	旧	済	-	H21	18.5	長寿命	A	A	A	D	89	H28 大規模改造	
111	4225	松山中学校	特別教室棟	3	建物74-3	中学校	RC造	2	440	1966	S41	54	旧	済	H20	10	要調査	A	B	A	D	82	H22 大規模改造 H22 耐震工事		
112	4225	松山中学校	屋内運動場	4	建物74-4	中学校	RC造	1	661	1970	S45	50	旧	済	-	H20	14.3	長寿命	B	B	A	D	80	H27 大規模改造 H27 耐震工事	
113	4225	松山中学校	格技場	6	建物74-5	中学校	RC造	1	350	1978	S53	42	旧	-	-	-	-	要調査	A	C	C	D	41	H27 改修工事	
114	4225	松山中学校	特別教室棟	7	建物74-6	中学校	RC造	1	226	1979	S54	41	旧	済	-	H21	30	長寿命	A	A	C	D	81	R2 大規模改造	
115	4225	松山中学校	校長住宅	13-1	建物 10071-1	中学校	W造	1	78	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77		
116	4225	松山中学校	教頭住宅	14-1	建物 10072-1	中学校	RC造	1	78	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	65		
117	4226	志布志中学校	教室棟	5	建物76-1	中学校	RC造	3	2,084	1951	S26	69	旧	済	H18	19	長寿命	D	B	A	A	D	74	H21 大規模改造/H21 耐震工事 H31 空調機整備工事	
118	4226	志布志中学校	特別教室棟	20	建物76-3	中学校	RC造	2	701	1979	S54	41	旧	済	-	H21	28.5	長寿命	D	D	C	C	D	25	
119	4226	志布志中学校	武道場	22	建物76-4	中学校	S造	1	352	1979	S54	41	旧	-	-	-	-	要調査	B	B	C	C	55		
120	4226	志布志中学校	校長住宅	25	建物20- 1	中学校	W造	1	67	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	84		
121	4226	志布志中学校	屋内運動場	31-1	建物76-9	中学校	RC造	2	1,222	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	D	B	B	54	H27 防火機能強化 H28 屋根防水改修工事	
122	4226	志布志中学校	クラブハウス	31-2	建物76-9	中学校	RC造	1	200	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62		
123	4226	志布志中学校	下足室、コンテナ置 場、倉庫	32	建物76- 10	中学校	RC造	1	203	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	72		
124	4226	志布志中学校	教室棟	35	建物76- 13	中学校	RC造	2	989	1991	H3	29	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	67	H31 空調機整備工事	
125	4226	志布志中学校	教頭住宅	36	建物121- 1	中学校	W造	1	82	1994	H6	26	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	77		
126	4226	志布志中学校	管理教室棟	37	建物76- 14	中学校	RC造	2	1,440	2001	H13	19	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	93		
127	4229	有明中学校	特別教室棟	8-1	建物131- 1	中学校	RC造	2	181	1962	S37	58	旧	済	H20	14.9	長寿命	A	B	A	A	D	82	H24 大規模改造 H24 耐震工事	
128	4229	有明中学校	特別教室棟	8-2	建物131- 1	中学校	RC造	2	178	1961	S36	59	旧	済	H20	14.9	長寿命	B	B	A	A	D	80	H24 大規模改造 H24 耐震工事	
129	4229	有明中学校	特別教室棟	8-3	建物131- 1	中学校	RC造	2	285	1961	S36	59	旧	済	H20	14.9	長寿命	A	B	A	A	D	82	H24 大規模改造 H24 耐震工事	
130	4229	有明中学校	教室棟	20	建物131- 6	中学校	RC造	3	1,628	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62	H31 空調機整備工事	
131	4229	有明中学校	屋内運動場	25-1	建物131- 9	中学校	RC造	1	1,176	1998	H10	22	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	70	H27 防火機能強化	
132	4229	有明中学校	クラブハウス	25-2	建物131- 9	中学校	RC造	1	232	1998	H10	22	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	75		
133	4229	有明中学校	校長住宅	26	建物135- 3	中学校	W造	1	75	2005	H17	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100		
134	4229	有明中学校	教頭住宅	27	建物 4938-1	中学校	W造	1	88	2009	H21	11	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	A	A	98		
135	4230	宇都中学校	屋内運動場	14	建物136- 3	中学校	RC造	1	780	1981	S56	39	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	51		
136	4230	宇都中学校	特別教室棟、教室棟、 管理棟	21	建物136- 4	中学校	RC造	2	3,564	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	62	H31 空調機整備工事	
137	4230	宇都中学校	教頭住宅	29	建物140- 3	中学校	W造	1	88	2017	H29	3	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100		
138	4231	伊崎田中学校	屋内運動場	11	建物141- 4	中学校	S造	1	602	1968	S43	52	旧	済	H21	-	要調査	C	C	C	C	D	36	H23 耐震工事	
139	4231	伊崎田中学校	管理棟、教室棟	13	建物141- 6	中学校	RC造	2	1,241	1980	S55	40	旧	済	-	H21	27	長寿命	C	B	A	A	88	H28 大規模改造 H31 空調機整備工事	
140	4231	伊崎田中学校	特別教室棟	14	建物141- 7	中学校	RC造	1	365	1980	S55	40	旧	済	-	H21	28.5	長寿命	B	A	A	A	98	H28 大規模改造 H31 空調機整備工事	
141	4231	伊崎田中学校	教頭住宅	17	建物 4129-2	中学校	W造	1	73	1979	S54	41	旧	-	-	-	-	要調査	B	B	C	C	D	49	
142	4231	伊崎田中学校	校長住宅	21	建物 4129-3	中学校	W造	1	88	2015	H27	5	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100		
143	4231	伊崎田中学校	資料室	22	建物 4129-3	中学校	RC造	1	23	2018	H30	2	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100		
144	4231	伊崎田中学校	特別教室棟	23	建物、増 141	中学校	W造	1	587	2018	H30	2	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	100	H31 空調機整備工事	

 : 概ね良好
 : 広範囲に劣化
 : 部分的に劣化
 : 緊急に対応する必要のある

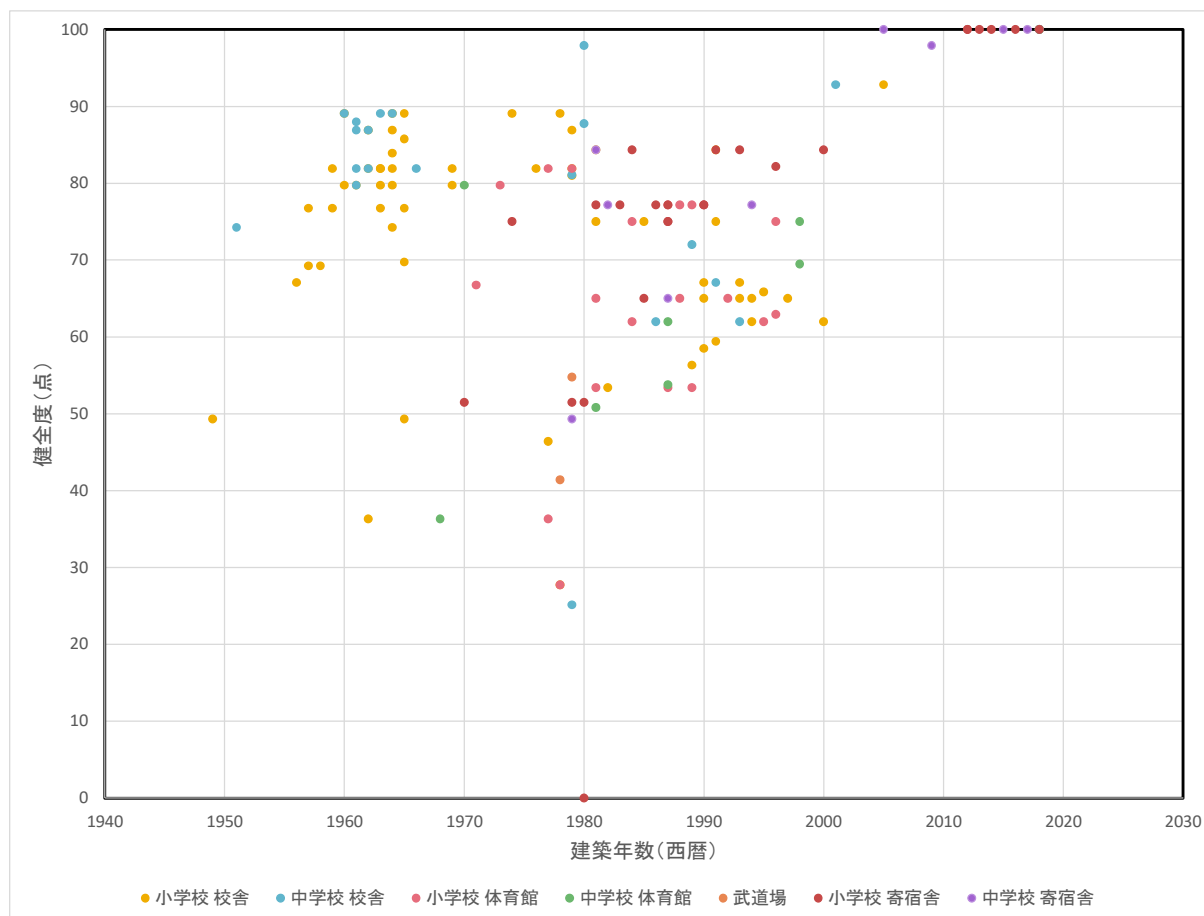
基準 2020

小学校の対象建物全 104 棟の健全度の平均値は 73 点、健全度 50 点未満の建物は 7 棟あり、中学校では全 40 棟の平均値は 76 点、健全度 50 点未満の建物は 4 棟となっています。

耐震改修工事及び大規模改修工事を近年に行っている建物が多く、全体的には良好な状態である建物が多いが、雨漏りが改善されていない建物も見られます。

建築年との関係では 1980 年（昭和 58 年）以降の建物は健全度が 50% を超えているが、それ以前の建築になると健全度が低い建物が増えています。

また、教員住宅は建築年度が比較的新しく、健全度も良好な建物が多い状況です。



図：建築年と健全度の相関

(2) 学校施設等の老朽化所見

現地調査の結果、学校施設等の建物は以下のような老朽化状況がみられます。

① 小学校 校舎

建築後40年を経過した校舎が6割以上あり、耐震補強工事や大規模改造工事等を実施し、劣化の低減が行えているが、雨漏りの改善がされていない建物も見られます。また、改修工事を行っていない建物は老朽化の進行が見られます。建築後30年未満の校舎については、比較的良好な状態を保っています。

② 中学校 校舎

建築後30年を経過した校舎が多くありますが、おおむね耐震補強工事や大規模改造工事等を実施し、劣化を低減しています。耐震診断で問題が無く、大規模改修を行っていない校舎は屋根・屋上、外壁共に劣化が進行しています。

③ 小学校 体育館

体育館は地域の避難所としての機能があり、旧耐震基準の建物は耐震補強を行っているところです。多くの体育館が建築後30年を経過しており、大規模改造工事等を実施している建物以外は屋根・屋上、外壁共に劣化が徐々に進行しています。

④ 中学校 体育館

小学校の体育館と同様に地域の避難所となっており、旧耐震基準の建物の耐震補強も完了しています。昭和の時代に建築されたものが多く、屋根・屋上、外壁共に劣化が進行しています。

⑤ 武道場

松山中学校と志布志中学校の武道場が対象となります。松山中学校の武道場は、外壁に劣化が進行しています。志布志中学校の武道場は比較的良好な状態を保っています。

⑥ 小学校 教職員住宅

小学校の教職員住宅は、半数以上が建築後30年を経過した建物ですが、築年数が古い建物や教職員の入れ替りに合わせて計画的に改築を行っているため、比較的良好な状態を保っています。

⑦ 中学校 教職員住宅

中学校の教職員住宅は、半数近くが建築後30年を経過した建物ですが、計画的に改築を行っているため、比較的良好な状態を保っています。



第3章 学校施設等整備の基本方針

1. 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 適正配置の方針

本市の学校施設は、小学校のうち過小規模校 6 校、小規模校 10 校、に分類されます。中学校は、小規模校 4 校、適正規模校 1 校です。

児童・生徒数は引き続き減少傾向にあり、学校の小規模化がさらに進むことが予想されます。このため本市においては、少子化に対応した学校づくり等の検討が必要となります。

表 3-1：学校別児童数・生徒数、学級数

小学校							単位：人、クラス
	松山小学校	泰野小学校	尾野見小学校	志布志小学校	香月小学校	潤ヶ野小学校	
児童数	80	51	64	295	301	31	
学級数	8	6	8	15	15	6	
(うち特別支援学級)	(2)	(1)	(2)	(4)	(4)	(2)	
	安楽小学校	田之浦小学校	森山小学校	伊崎田小学校	蓬原小学校	野神小学校	
児童数	209	22	15	88	94	139	
学級数	11	3	5	8	8	9	
(うち特別支援学級)	(3)	(0)	(2)	(2)	(2)	(3)	
	有明小学校	通山小学校	原田小学校	山重小学校			
児童数	154	172	48	45			
学級数	8	8	6	6			
(うち特別支援学級)	(2)	(2)	(2)	(2)			
中学校							
	松山中学校	志布志中学校	有明中学校	宇都中学校	伊崎田中学校		
生徒数	104	407	114	142	33		
学級数	5	15	6	8	5		
(うち特別支援学級)	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)		

表 3-2：学校別の学級数による分類

	過小規模校 5学級以下	小規模校 6～11学級	適正規模校 12～18学級	大規模校 19～30学級	過大規模校 31学級以上
小学校 (学級数)	泰野小学校 (5) 潤ヶ野小学校 (4) 田之浦小学校 (3) 森山小学校 (3) 原田小学校 (4) 山重小学校 (4)	松山小学校 (6) 尾野見小学校 (6) 志布志小学校 (11) 香月小学校 (11) 安楽小学校 (8) 伊崎田小学校 (6) 蓬原小学校 (6) 野神小学校 (6) 有明小学校 (6) 通山小学校 (6)			
	過小規模校 2学級以下	小規模校 3～11学級	適正規模校 12～18学級	大規模校 19～30学級	過大規模校 31学級以上
中学校 (学級数)		松山中学校 (3) 有明中学校 (4) 宇都中学校 (6) 伊崎田中学校 (3)	志布志中学校 (12)		

※令和 2 年 (2020 年) 5 月 1 日時点

資料：志布志市教育委員会資料

小規模校・過小規模校は、適正規模校のクラス数を下回る学校のことを指します。小規模校には良い点とそうでない点がありますが、児童・生徒一人一人に対して特性に応じたきめ細やかな指導が可能であるなど多くのメリットがあります。また、大規模校においても、豊かな人間関係の構築が図られやすいなどメリットもありますが、デメリットもあります。

学校の規模に適した教育環境について、児童・生徒の目線から検討することが重要です。

表 3-3：学校の規模によるメリット・デメリット

	メリット	デメリット
小規模校 過小規模校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童・生徒と教師の距離が近く、一人一人への理解がより深まる。 ○ 意見や感想を公表できる機会が多くなる。 ○ 児童・生徒の特性に応じたきめ細やかな指導が可能である。 ○ 複式学級においては、教師が複数の学年間を行き来する間、児童・生徒が相互に学ぶ合う活動を充実させることができる。 ○ 児童・生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。 ○ 運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって利用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● クラス替えが全部又は一部の学年でできない。 ● クラス同士が切磋琢磨する教育活動ができない。 ● 協働的な学習で取り上げる課題に制約が生じる。 ● 集団性が必要な活動に支障がでる。 ● 専門の免許を有する教諭等による教科指導が困難である。 ● 運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動・行事の教育効果が下がる。 ● 人間関係が固定化されている。 ● 教員と児童・生徒との心理的な距離が近くなりすぎる。

資料：公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き（平成 27 年 1 月）

(2) 適切な施設整備の展望

施設整備の検討は、児童・生徒の教育条件の改善の観点を中心に据え、学校教育の目的や目標をより良く実現するために行うものになります。

将来的な教育内容や指導方法の改善の方向性も十分勘案しつつ、今後も学級数や児童生徒数が減少する中で、具体的にどのような教育上の課題があるかについて総合的な観点から分析を行い、地域の実情に合わせて計画的に統廃合を進めていくことで適切な施設整備を行っていきます。

また、過小規模校、小規模校であっても、小規模であることの良さを活かしデメリットを抑えながら持続するかなど、少子化に対応した活力ある学校づくりについても検討する必要があります。

2. 改修等の基本的な方針

本市の学校施設等や設備の老朽化、不具合などの実態を踏まえ、「学校施設等の目指すべき姿」を持続的に実現していくための基本方針を次のように設定します。

(1) 長寿命化の方針

本市の厳しい財政状況において、従来の改築を中心とした施設更新では、対応できない施設が多数発生します。

維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少なくなる改修対応が重要となります。

改修には様々な手法があり、建物の全体的な改修、部分的な改修、建築時に戻す改修、性能を建築時より向上させる改修など、大きく4つに区分されます。

長寿命化改修は、建物全体を対象として改修し、併せて性能の向上を伴う改修となり、建物の耐用年数を延ばすことで、ライフサイクルコストの縮減が見込めます。

	部 分	全 体
原状回復	<p style="text-align: center;">修繕</p> <p>経年劣化した建物の一部を、既存のものと同様の位置に概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること</p>	<p style="text-align: center;">大規模改造</p> <p>エコ改修や老朽化に伴う補修など、既存の建物を建て替えずに改修を行うこと（老朽改修、トイレ改修、空調改修など）</p>
性能向上	<p style="text-align: center;">改善</p> <p>経年劣化した建物の一部を、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと</p>	<p style="text-align: center;">長寿命化改修</p> <p>長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと</p>

資料：学校施設の長寿命化改修の手引き

図 3-1：長寿命化改修の位置付け

表 3-4：改築と長寿命化改修のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
改築	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設計や施工上の制約が少ない。 ○ 高層化や地下階の拡大が容易に可能、設計や施工は比較的容易、耐震基準、法規などについては最新のものに対応は容易。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 工事に時間と費用がかかる。 ● 廃棄物が大量に発生する。既存建物の解体と廃棄に費用と時間がかかる。
長寿命化改修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工期の短縮、工事費の縮減ができる。 ○ 廃棄物が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設計及び施工上の制約が多い。 ● 柱・耐力壁などの既存躯体を利用するための間取りの変更に制約が生じる場合がある。計画には十分な検討が必要。

資料：学校施設の長寿命化改修の手引き

長寿命化改修では、基本的に建物の耐久性向上、建物の性能や機能を向上させるために下表に示す工事を行います。

表 3-5：長寿命化改修工事の内容例

建物の耐久性を高める工事	建物の機能や性能を向上させる工事
<ul style="list-style-type: none"> ○ 構造躯体の経年劣化を回復する <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートの中性化対策や鉄筋の腐食対策など ○ 耐久性に優れた仕上材への取り替え <ul style="list-style-type: none"> ・劣化に強い塗装・防水材等の使用 ○ 維持・管理や設備更新の容易性を確保する ○ 水道、電気、ガス管等のライフラインの更新 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全・安心な施設環境を確保する <ul style="list-style-type: none"> ・耐震対策(非構造部材を含む) ・防災機能の強化 ・事故防止・犯罪対策など ○ 教育環境の質的向上を図る <ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習内容・学習形態への対応 ・今後の学校教育や情報化の進展に対応可能な柔軟な計画 ・省エネルギー化・再生可能エネルギーの活用 ・バリアフリー化 ・木材の活用など ○ 地域コミュニティの拠点形成を図る <ul style="list-style-type: none"> ・防災機能の強化 ・地域住民の利用を考慮した教室等の配置など

資料：学校施設の長寿命化改修の手引き

ただし、下記のような場合は、長寿命化改修に適さない施設もあります。

- ① 施設の劣化が激しく、改修に多額の費用がかかるため、改築した方が経済的に望ましい施設
- ② 改築までの期間が短いため、長寿命化改修を行ってもライフサイクルコストの縮減が見込めない施設
- ③ コンクリート強度が著しく低い施設（おおむね 13.5N/mm² 以下）
- ④ 学校の再編などにより、改築しなければ対応できない施設
- ⑤ 校地環境または、周辺環境の安全性が欠如している施設

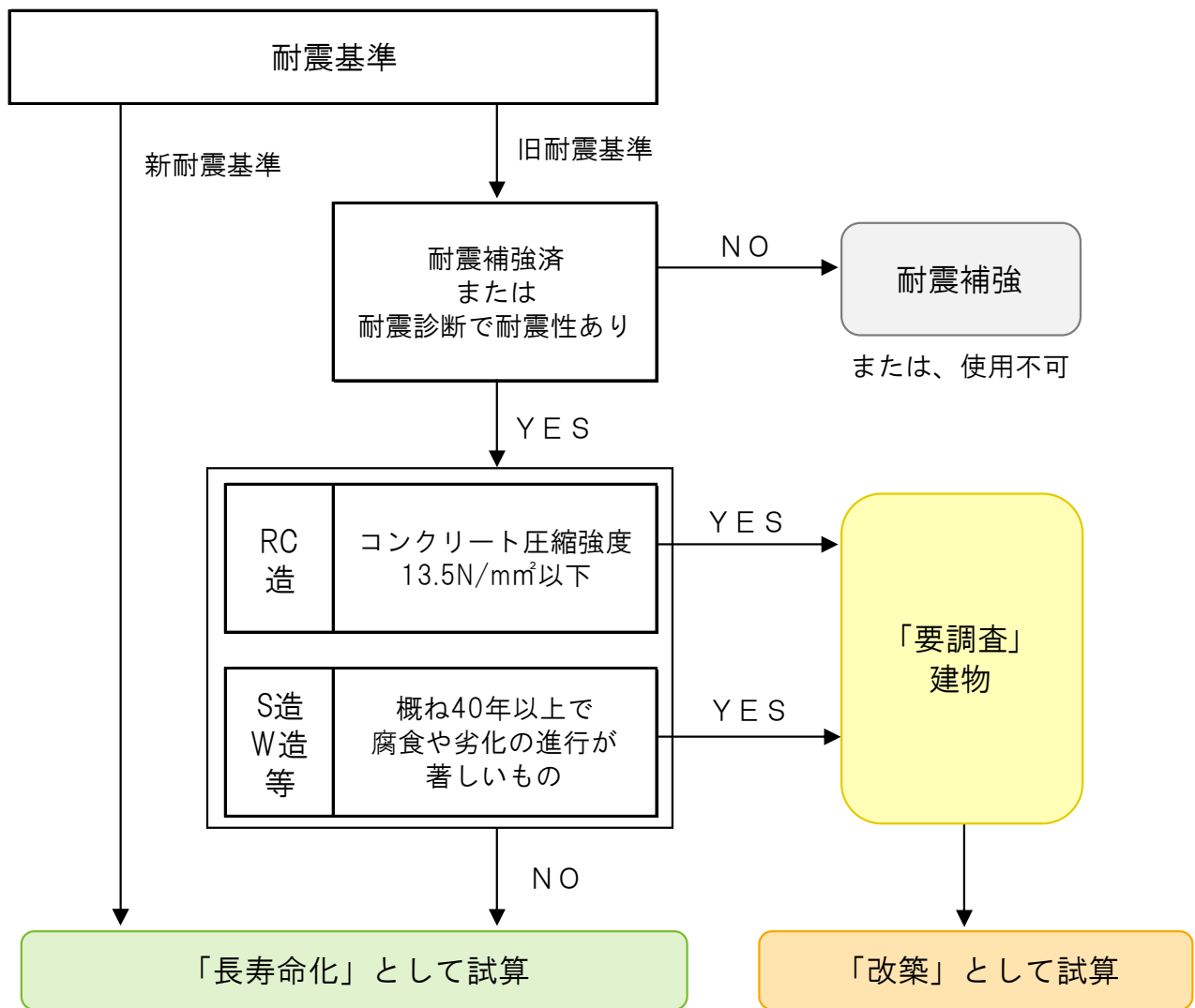


図 3-2：長寿命化判定フロー

参考：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

(2) 予防保全の方針

施設をできる限り長く使用するため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのための整備方法として、「事後保全」と「予防保全」の2つがあります。

「事後保全」は老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行うもので、従来の施設管理の多くで行われていました。

一方、「予防保全」は、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図り、これにより突発的な事故が減少し、多額の費用の発生を抑えることができます。また、計画的な修繕を行うことで、施設に不具合が生じる前にメンテナンスを施し、従来の「事後保全」での整備と比較して施設を長く使用することができます。

したがって、学校施設の整備は今後「事後保全」から「予防保全」への転換を図る必要があります。

表 3-6：学校施設等の保全

保 全	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性質や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断・改修等がある。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。

(3) 目標使用年数の設定

「学校施設の長寿命化改修の手引き」では、学校施設の物理的な耐用年数は、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70～80年程度、さらに、技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能となっています。

また、社団法人日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」で、建築物全体の望ましい目標使用年数として、鉄筋コンクリート造の場合、普通品質で50～80年、高品質の場合は80～100年となっています。

これらを踏まえ、学校施設等の目標使用年数は、80年を基本として設定します。

なお、改築時期は、学校施設の事業量の平準化を図る必要があるため、80年から前後させる場合があります。

また、鉄骨造（S造）は、技術的な耐用年数の目安は特にありませんが、鉄骨構造における防錆やボルトの締め付け力が維持される限り使用可能であると想定し、鉄筋コンクリート造建物と同等の年数とします。

表 3-7：建築用途・構造に応じた望ましい目標耐用年数の級

用途	構造種別	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
		高品質 の場合	普通の 品質の場合	重量鉄骨		軽量鉄骨		
				高品質 の場合	普通の 品質の場合			
学校・官庁		Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y60以上
住宅・事務所・病院		Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y40以上
店舗・旅館・ホテル		Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y40以上
工場		Y40以上	Y25以上	Y40以上	Y25以上	Y25以上	Y25以上	Y25以上

表 3-8：級に応じた目標耐用年数の区分

	目標耐用年		
	代表値	範囲	下限
Y150	150年	120～200年	120年
Y100	100年	80～100年	80年
Y60	60年	50～80年	50年
Y40	40年	30～50年	30年
Y25	25年	20～30年	20年

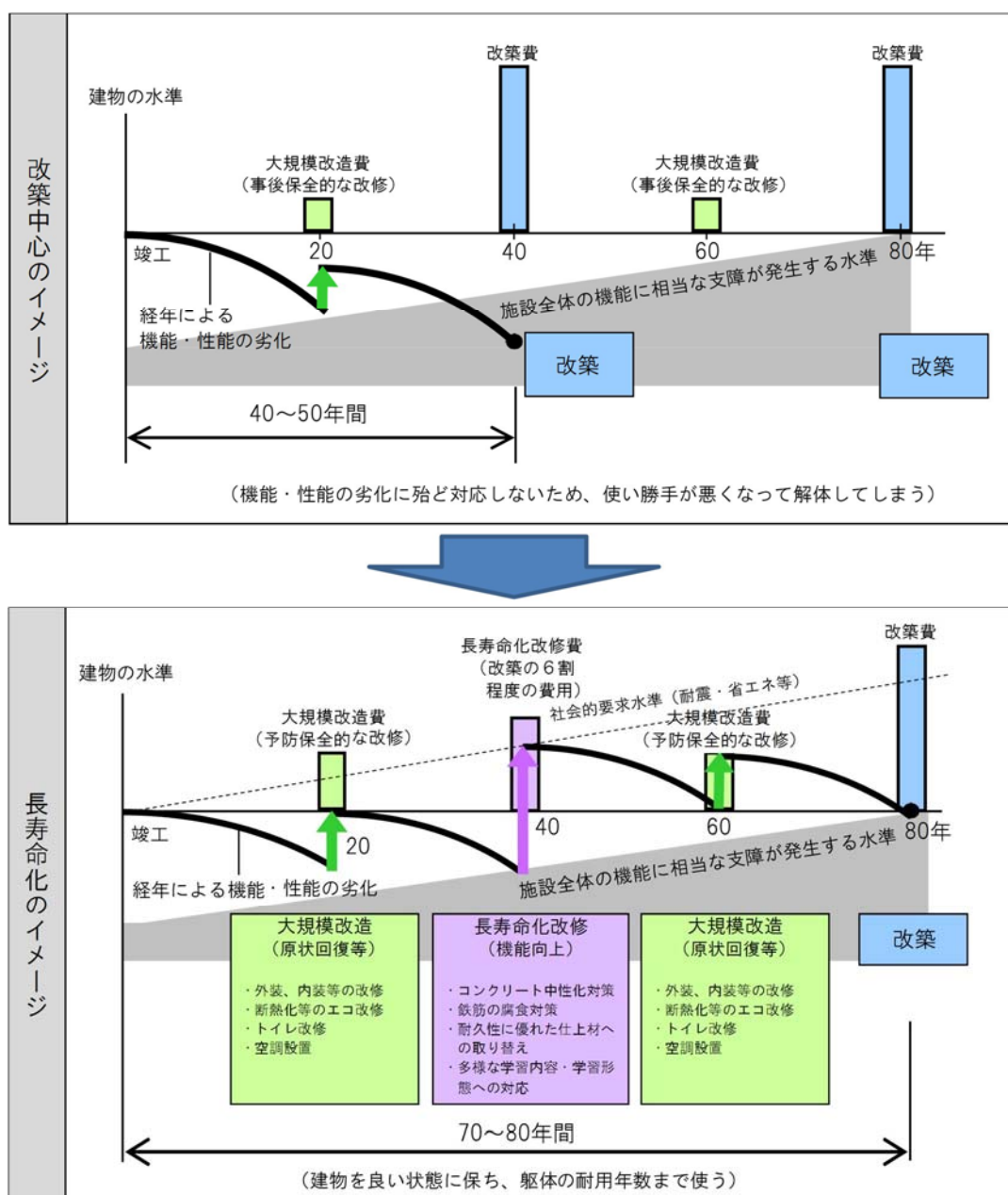
資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

(4) 改修周期の設定

学校施設等は、改築中心の整備から長寿命化を図る方向へと転換し、あらかじめ設定した目標使用年数まで使用することを目標に、適切な時期に改修を行います。

例えば、築20年経過後に原状回復のための改修（予防保全的な改修）を行い、目標使用年数の中間期（概ね40年後）に長寿命化改修を実施、その後、改築までの期間に再度原状回復のための改修を行うなど、建物の長寿命化に取り組みます。

このように定期的に必要な改修を行うことで、経年による劣化状況の回復だけでなく、学校施設の機能・性能の低下を長期間放置することなく、社会的に必要とされる多様な学習形態の水準まで引き上げることができるように取り組みます。



資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）

図3-3：改築中心から長寿命化への転換イメージ



第4章 基本的な方針を踏まえた施設の水準

1. 改善等の整備水準

長寿命化改修にあたっては、単に建築時の状態に戻すのではなく、「安全面・耐用性」「機能性・快適性」「環境面」を確保するための改修を行います。

「安全性・耐用性」「機能性・快適性」の改修では、構造体の長寿命化やライフラインの更新等により建物の耐久性を高め、維持管理コストの縮減、計画的な支出による財政の平準化を図ります。また、「環境面」の改修では多様な学習形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要請に応じるための改修を行います。

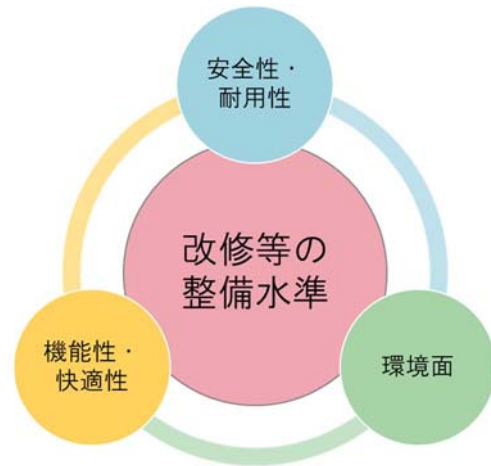


図 4-1：整備水準の考え方

表 4-1：改修工事等における整備内容例

項目	整備内容
安全性・耐用性を確保・維持するための改修 構造体の長寿命化や内外装仕上等の改修、設備更新や必要な防災・防犯機能の付加等	<ul style="list-style-type: none"> ◆外装（屋上防水、外壁仕上材、躯体のクラック、鉄筋、浮き補修等） ◆屋上・屋根（防水改修等） ◆内装（床、壁、天井、間仕切り等） ◆非構造部材の耐震対策 ◆防災機能 ◆防犯対策・事故防止対策
機能性・快適性を確保・維持するための改修 機能性や快適性等、学校生活の場として必要な環境の確保・維持や、必要な社会ニーズに応じた機能付加等	<ul style="list-style-type: none"> ◆受変電、照明設備等更新 ◆設備（空調、給排水等） ◆ICT 設備 ◆バリアフリー対応（段差の解消等） ◆トイレ改修（洋式化、乾式化）
環境面を確保・維持するための改修 断熱や遮音等による環境面の向上や省エネ化によるコスト削減等	<ul style="list-style-type: none"> ◆断熱性能の向上（壁、開口部等） ◆遮音性能の向上（壁、開口部等） ◆設備の高効率化（LED化、エアコン設置等）

長寿命化改修では、整備水準を高めるほどコストは高くなりますが、建物性能の向上により建物寿命が延びることや、設備機能の向上により光熱水費の縮減につながります。

下図に示す整備水準において、Aレベルは最も整備水準が高く、Cレベルは従来の整備水準にほぼ相当します。このため、基本的な整備水準をBレベルに設定しますが、建物の劣化状況や改修内容により整備水準を柔軟に変更します。また、ライフサイクルにおけるコストの試算を行い、予算の見通しを踏まえた整備水準の設定を行います。

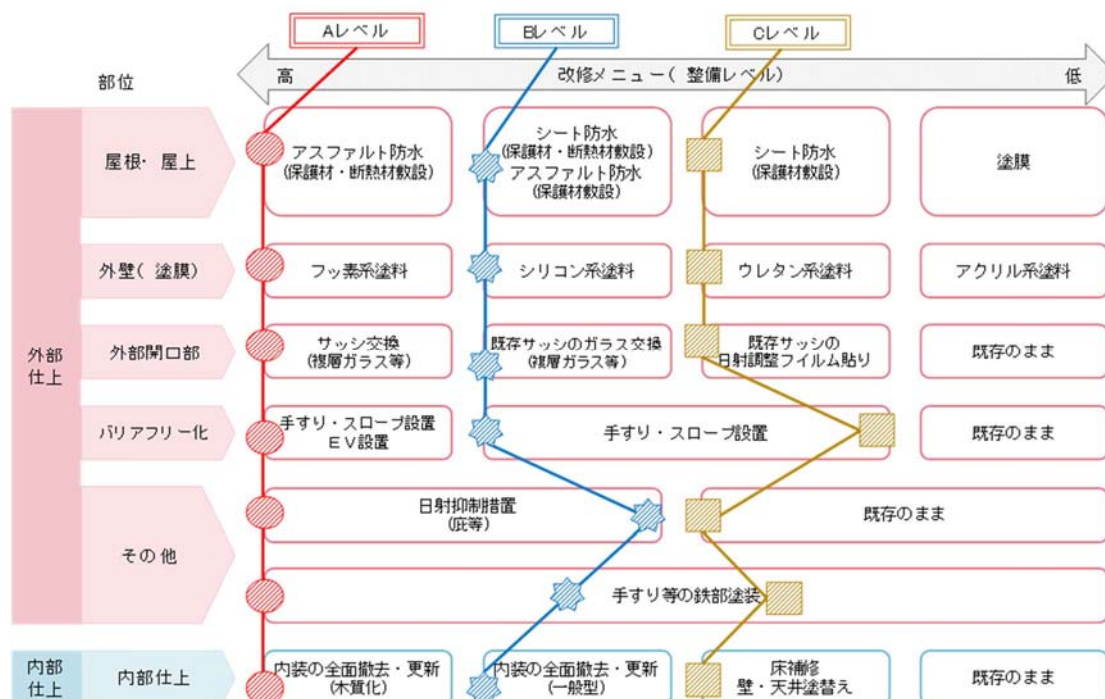


図 4-2：校舎・体育館等の整備水準

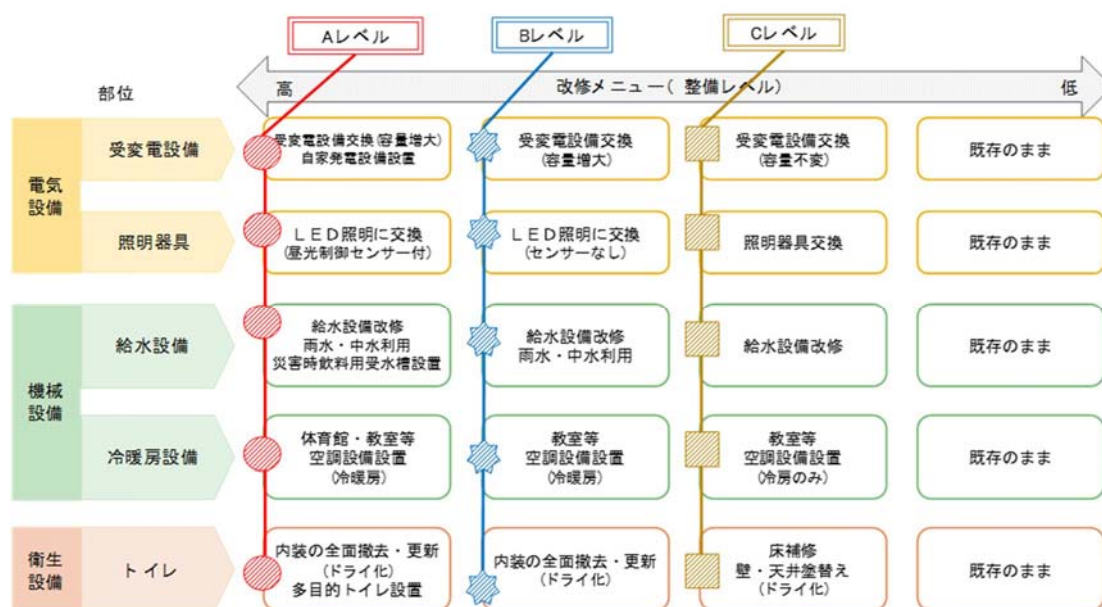


図 4-3：主要な設備の整備水準

2. 維持管理の項目・手法等の検討

(1) 維持管理の必要性

学校施設は、児童・生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割も担うものであるため、平常時だけでなく災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められます。

しかし、建築当初に確保されているこれらの性能も、経年劣化等により必要な性能を満たさなくなっているおそれがあることから、学校施設の管理者においては、当該施設が常に健全な状態を維持できるよう、法令等（建築基準法、消防法等）に基づいて定期的に点検を行い、必要な修理・修繕等を速やかに実施し、適切に維持管理を行っていくことが必要です。

また、学校施設を適切に維持管理するためには、施設の管理者と学校の教職員がそれぞれの立場に応じて点検等を行うことが重要です。

(2) 維持管理の項目

施設の維持管理については、管理者が日常的に点検を行い、建物の劣化状況等を早い段階で把握できるようにするとともに、建築基準法等に基づいて、「定期的な点検の実施」と「点検結果に基づく必要な修繕等」を行うことが義務付けられています。

「定期的な点検の実施」は、建築基準法や消防法に基づき定められた点検項目等について、専門的な知識を持った有資格者に、一定の期間ごとに点検を実施します。

表 4-2：建築基準法に基づく法定点検

点検する項目		点検内容	点検する項目	点検内容
A. 敷地及び地盤		D. 建築物の内部		
地盤	不陸、傾斜等	天井	劣化・損傷	
敷地	排水	防火設備	劣化・損傷	
敷地内通路	通路の確保、支障物	照明器具、懸垂物等	劣化・損傷	
塀	劣化・損傷	居室の採光及び換気	劣化・損傷、作動	
擁壁	劣化・損傷	E. 避難施設等		
B. 建築物の外部		居室から地上への通路	基準適合性	
基礎・土台	劣化・損傷、沈下	廊下、出入口	物品放置	
外 壁	躯体等	劣化・損傷	避難上有効なバルコニー	
	外装仕上材	劣化・損傷	階段	
	窓サッシ等	劣化・損傷	排煙設備等	防煙壁
C. 屋上及び屋根		非煙設備		作動、排煙口
屋上面、屋上周り	劣化・損傷	非常時の 設備等	進入口等	維持保全
機器及び工作物	劣化・損傷		照明装置	劣化・損傷
D. 建築物の内部		F. その他		
防火区画	劣化・損傷	特殊構造等（免震構造等）	劣化・損傷	
内壁	劣化・損傷	避雷設備	劣化・損傷	
床	劣化・損傷	煙突	劣化・損傷	

また、日常的に維持管理を行うことで、建物の劣化状況を詳細に把握できるとともに、より早く異常に気付くことができるため、施設の状況に応じた維持、改修内容や時期の検討が早期に可能となります。

表 4-3：維持管理のための点検

点検分野	項目	内容	期間	点検者
日常的な維持管理のための点検	清掃	◆ 汚れを除去すること及び汚れを予防することにより仕上材を保護し、快適な環境に保つための作業	毎日	各学校
	保守	◆ 点検の結果に基づき、建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の交換、注油、塗装、その他これらに類する軽微な作業	毎日	各学校
	日常点検	◆ 目視、聴音、触接等の簡易な方法により、巡回しながら日常的に行う点検 ◆ 機器及び設備について、異常の有無、兆候を発見	毎月	各学校
定期的な維持管理のための点検	自主点検	◆ 機器及び設備の破損、腐食状況を把握し、修理・修繕等の保全計画の作成	1年	教育委員会
	法定点検	◆ 自主点検では確認できない箇所や、法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検 ◆ 当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門知識を有する者が定期的に行う点検	建築物 3年 設備等 1年	教育委員会
臨時的な維持管理のための点検	臨時点検	◆ 日常、定期点検以外に行う臨時的な点検 ◆ 建築物等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭、その他の異常の有無を調査し、保守又はその他の措置が必要か否か判断	随時	各学校

(3) 点検・評価結果の蓄積

施設の予防保全管理に日常的に取り組む上で、建物の定期的な点検により老朽化の状況を把握し、改修履歴を含めた施設の情報をデータベース化し、随時更新していくことにより、長寿命化を図るための大規模改修を計画的かつ円滑に行うように努めます。

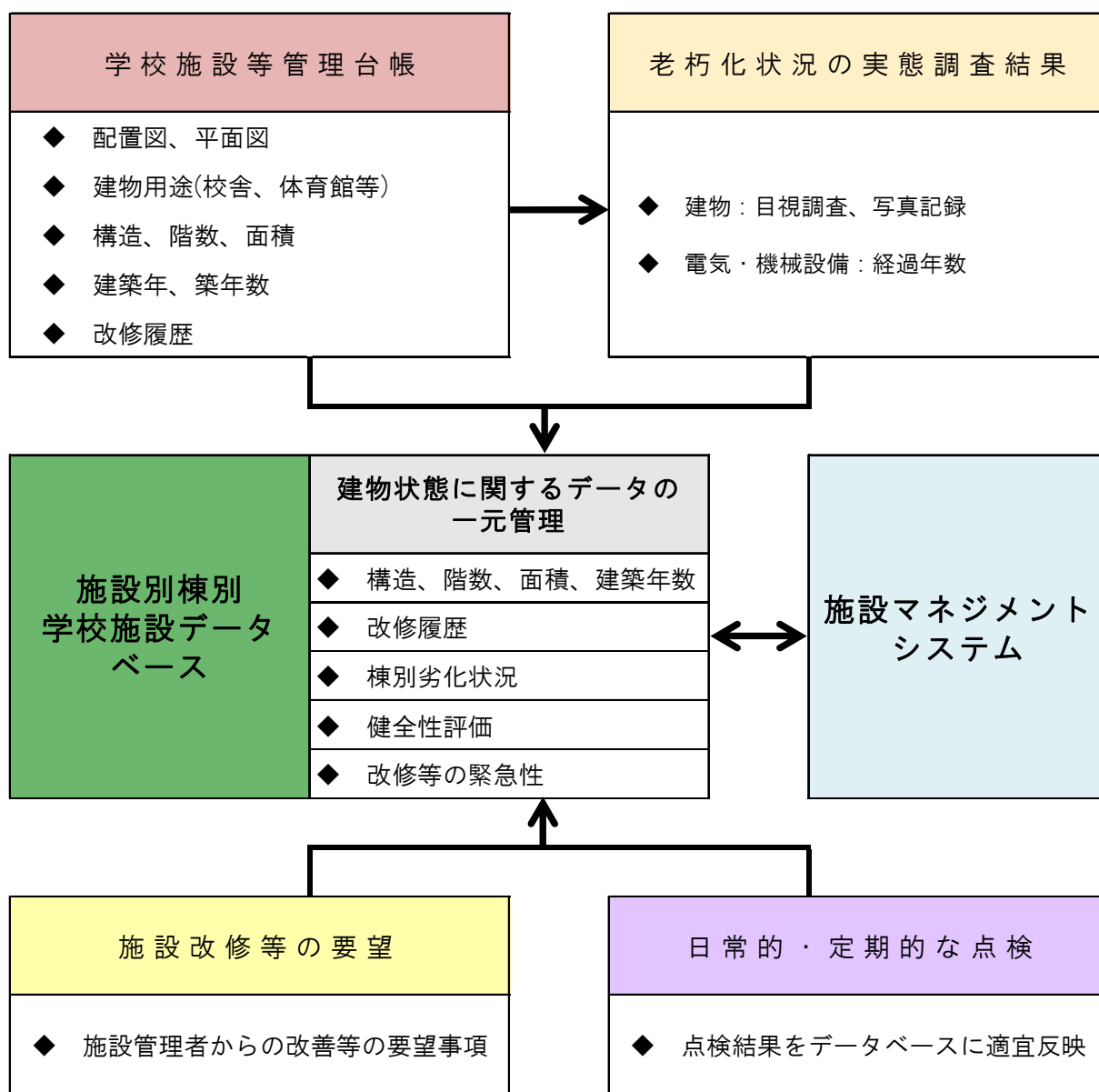


図 4-4：点検・評価結果のデータベース化（イメージ）



第5章 長寿命化の実施計画

1. 施設評価及び優先順位

(1) 改修等の優先順位

改修等を行う建物は、直近で改修工事が行われていない建物で健全度が低く、建築年の古い建物から順次行うことを基本とします。

健全度が40点未満の建物は劣化状況調査で劣化や老朽化が進行している建物や設備等が建築後に一度も更新されていない建物が多くあります。これらに対しては緊急性を要する建物として扱うため、なるべく早い時期の部位修繕や長寿命化改修を検討します。

また、劣化状況評価でC・Dに評価された棟はできるだけ早期に部位修繕を実施します。

なお、志布志市教育委員会作成の「学校棟別老朽化対策実施計画」と「教職員住宅整備計画」における大規模改造と改築も事業計画に反映します。

2. コスト試算

今後の学校施設等の改修等について、改築中心の事後保全型（従来型）と、長寿命化による予防保全型（長寿命化型）のどちらがコスト的に有利であるか判断するため、コスト試算を次のように行いました。

(1) 単価設定

単価設定は市内の工事の実績値を用いて行いました。

校舎、体育館・武道場の工事単価は、直近の工事実績が約20年前の実績であるため建設工事費デフレーター（平成23年度基準）を基に算出しました。教員住宅は平成29年度の新築工事の実績を用いて単価設定を行いました。

表 5-2：改築単価の設定根拠

分類	工事費 (円)	延床面積 (㎡)	改築単価 (円/㎡)
校舎 (RC)	市実績：平成13年 志布志中学校管理教室改築工事		
	380,000,000	1,440	263,889 ≒260,000 (円/㎡)
	260,000×1.213 (デフレーターより算出) = 315,380		≒320,000 (円/㎡)
体育館 ・ 武道館	市実績：平成10年 有明中学校屋内運動場新築工事		
	429,000,000	1,176	364,796 ≒360,000 (円/㎡)
	360,000×1.184 (デフレーターより算出) = 426,240		≒430,000 (円/㎡)
教員住宅	市実績：平成29年度 宇都中学校教頭住宅改築工事		
	17,000,000	88	193,182 ≒190,000 (円/㎡)

資料：志布志市教育委員会資料

表 5-3：デフレターの設定

年度		RC	対2019	備考
1998年度	平成10年度	95.2	118.4	有明中 屋内運動場
2001年度	平成13年度	92.9	121.3	志布志中 管理教室棟

資料)国土交通省 建設工事費デフレーター(平成23年度基準)

校舎の改築単価は 320,000 円/㎡、長寿命化改修は 192,000 円/㎡、大規模改造は 80,000 円/㎡、体育館・武道館の改築単価は 430,000 円/㎡、長寿命化改修は 258,000 円/㎡、大規模改造は 94,600 円/㎡、教員住宅の改築単価は 190,000 円/㎡に設定しました。

改築単価は、文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」（以下、「付属エクセルソフト」という）の比率を使用して検討しました。

(2) コスト試算条件

改築、長寿命化改修、大規模改造などコスト試算条件は以下のように設定します。

表 5-4：コスト試算条件

	事後保全型（従来型）	予防保全型（長寿命化型）
基準年度	令和2年度（2020年度） 試算年度：基準年度の翌年度から40年間	
改築	50年	80年
長寿命化改修	—	40年
大規模改造	20年	20年
部位修繕	—	D評価：今後5年以内実施 C評価：今後10年以内実施

※コスト試算条件は付属エクセルソフトのプロプログラムで設定されている。

(3) コスト試算結果

上記の条件に基づき、付属エクセルソフトを使用して、40年間の事後保全型（従来型）と予防保全型（長寿命化型）の維持・更新コストを試算しました。

事後保全型の維持・更新を行った場合、図 5-1 に示すように 40 年間の累計で 280 億円の費用が発生し、平均で年間約 7.0 億円が必要となります。

一方、予防保全型で維持・更新を行った場合、図 5-2 に示すように 40 年間の累計で 253 億円の費用が発生し、平均で年間約 6.3 億円が必要となり、表 5-5 に示すように事後保全型よりも 27 億円（年間約 0.7 億円）の費用を縮減することができる結果となりました。

以上のことから、事後保全型の維持・管理から、予防保全型の維持・管理に移行することを基本とします。

教員住宅は「教職員住宅整備計画」に沿った改築工事中心の事業計画にするため、コスト試算から除外しています。

表 5-5：更新コストの結果比較

	1年目～ 10年目	11年目～ 20年目	21年目～ 30年目	31年目～ 40年目	40年間合計	40年間平均
事後保全型 （従来型）	110億円	65億円	81億円	24億円	280億円	7.0億円/年
予防保全型 （長寿命化型）	94億円	61億円	47億円	52億円	253億円	6.3億円/年
差額	▲16億円	▲4億円	▲34億円	28億円	▲27億円	▲0.7億円/年

※計算上の理由により、10年間の平均コストの合計と40年間の総額は必ずしも一致しない。

※▲は長寿命化の効果を示している。

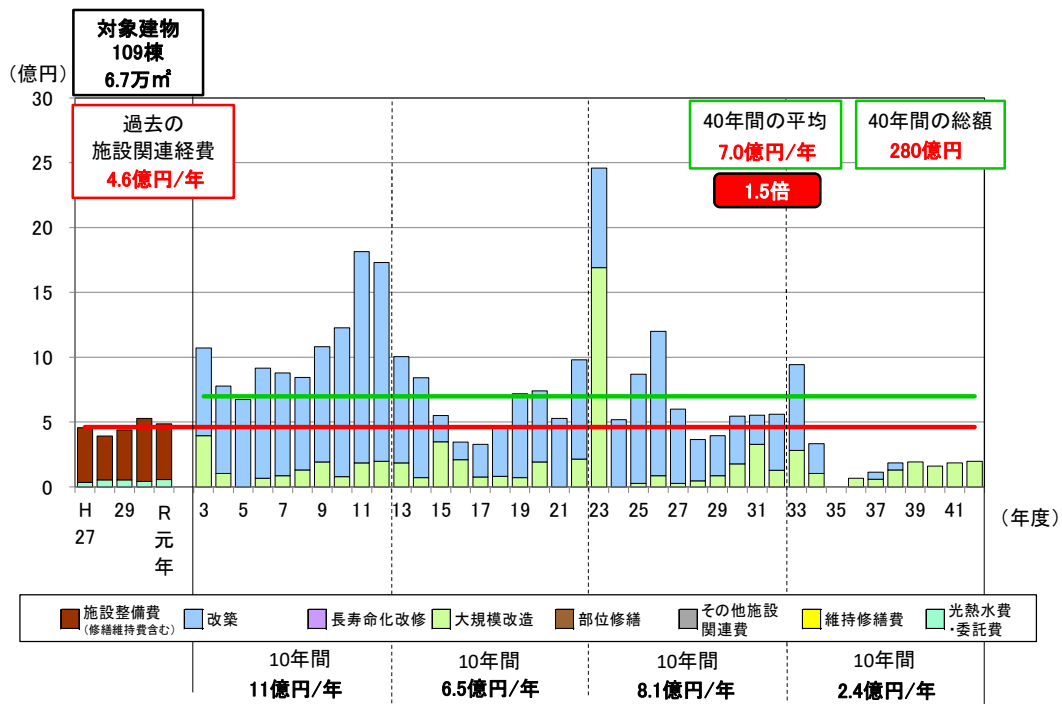


図 5-1：今後の維持・更新コスト（従来型）

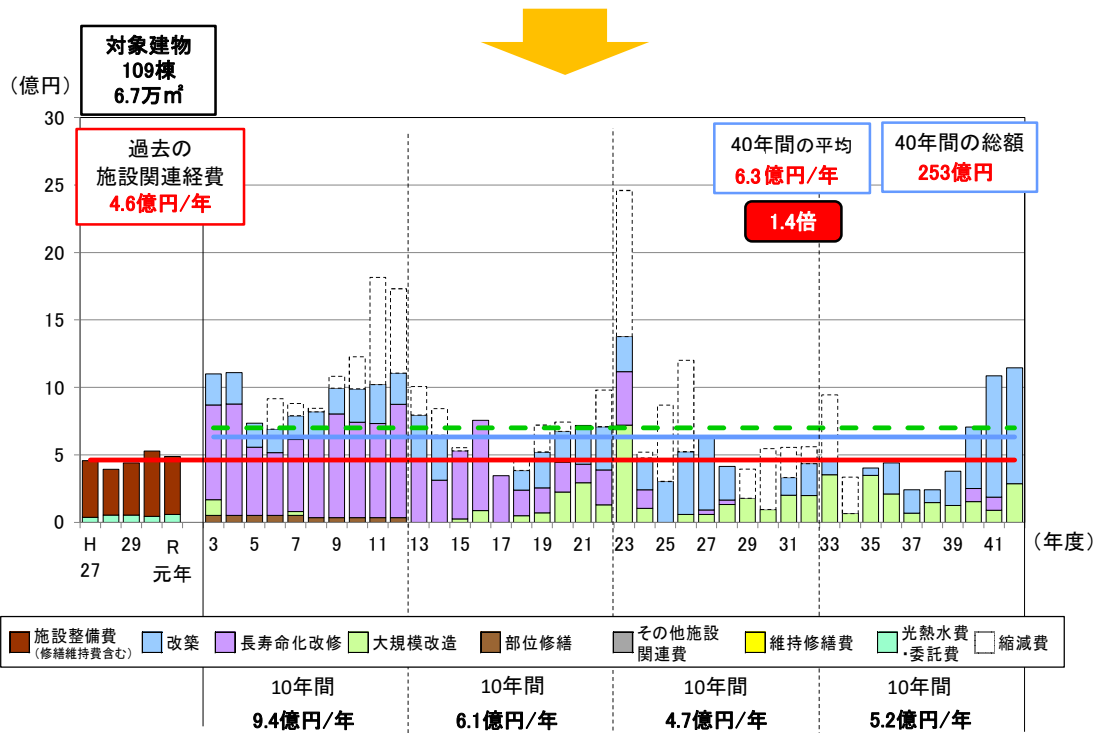


図 5-2：今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

2021年～2030年までのコスト算出の考え方

工種	内容
改築	2020年の時点で改築及び長寿命化改修の実施年数より古い建物は、
長寿命化	今後10年以内に改築又は長寿命化を実施するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上
部位修繕	2020年の時点でC評価の部位：今後10年以内に修繕するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上
	2020年の時点でD評価の部位：今後5年以内に修繕するものとし、該当コストの5分の1の金額を5年間計上

※以上の内容は付属エクセルソフトのプログラムで設定されている

3. 事業計画

(1) 今後 10 年間の事業計画の考え方

STEP1

- 2022 年度までは「学校施設老朽化対策実施計画」に基づく工事を実施
- 教員住宅は「教職員住宅整備計画」に基づく事業計画を作成

STEP2

- 健全度が低い棟を優先的に工事
- 棟が連なっている建物、同じ学校の建物は、作業の効率化を図るため、なるべく同時期に工事を実施
- 学校規模が大きく築 40 年を経過する建物は長寿命化改修（直近で工事を行っていない建物）
- 今後、長寿命化改修を実施する見込みのある築 20 年程度が経過した建物は大規模改造

築40年以降の建物→長寿命化改修 築20年程度の建物→大規模改造（予防保全的な改修）

建物基本情報					劣化状況評価						備考
通し番号	施設名	建物名	棟番号	築年数	屋上	外壁	内部	電気	機械	健全度	
27	志布志小学校	教室棟	16	39	A	A	B	B	B	84	築40年目以降に長寿命化改修を実施
28		倉庫・図工室	17	39	B	B	B	B	B	75	
126	志布志中学校	管理教室棟	37	19	A	B	A	A	A	93	

STEP3

- D 評価の部位は今後 5 年以内、C 評価の部位は今後 10 年以内に可能な限り工事を実施
- D 評価・C 評価どちらも該当している場合は、作業の効率化を図るため、なるべく同時期に工事を実施

D 判定のある建物→可能な限り5年以内の部位修繕、C 判定のある建物→可能な限り10年以内の部位修繕

建物基本情報					劣化状況評価						備考
通し番号	施設名	建物名	棟番号	築年数	屋上	外壁	内部	電気	機械	健全度	
121	志布志中学校	屋内運動場	31-1	33	B	D	B	B	-	54	5年以内の部位修繕
122		クラブハウス	31-2	33	C	C	B	B	B	62	31-1と同じ年度に部位修繕
20	尾野見小学校	管理棟	1-5	27	B	C	B	B	B	65	10年以内に部位修繕

- 上記の条件で工事種別を決定し工事数と費用の平準化を図ります。
- 上記の条件に該当しない施設は、今後 10 年間は現状を維持しながら管理していきます。

(2) 今後 10 年間の事業計画

本計画では「第 2 次志布志市総合振興計画（平成 29 年 3 月）」や「第 2 次志布志市教育振興基本計画（令和 2 年 3 月）」を基本的な方針とし、従来型と長寿命化型とのコスト比較にて長寿命化型の効果があることを計画の基本とします。

(1)の今後 10 年間の事業計画の考え方を基に、年度別に学校施設別事業費を検討した結果は以下のとおりです。

今後の学校再編の検討により統合等の実行性が明確となった際には、事業計画の見直しを行います。

大規模改修及び長寿命化改修は、「4. 事業推進のための財源」に示す補助事業の対象となるため、これを活用し、市の財政負担軽減に取り組みます。

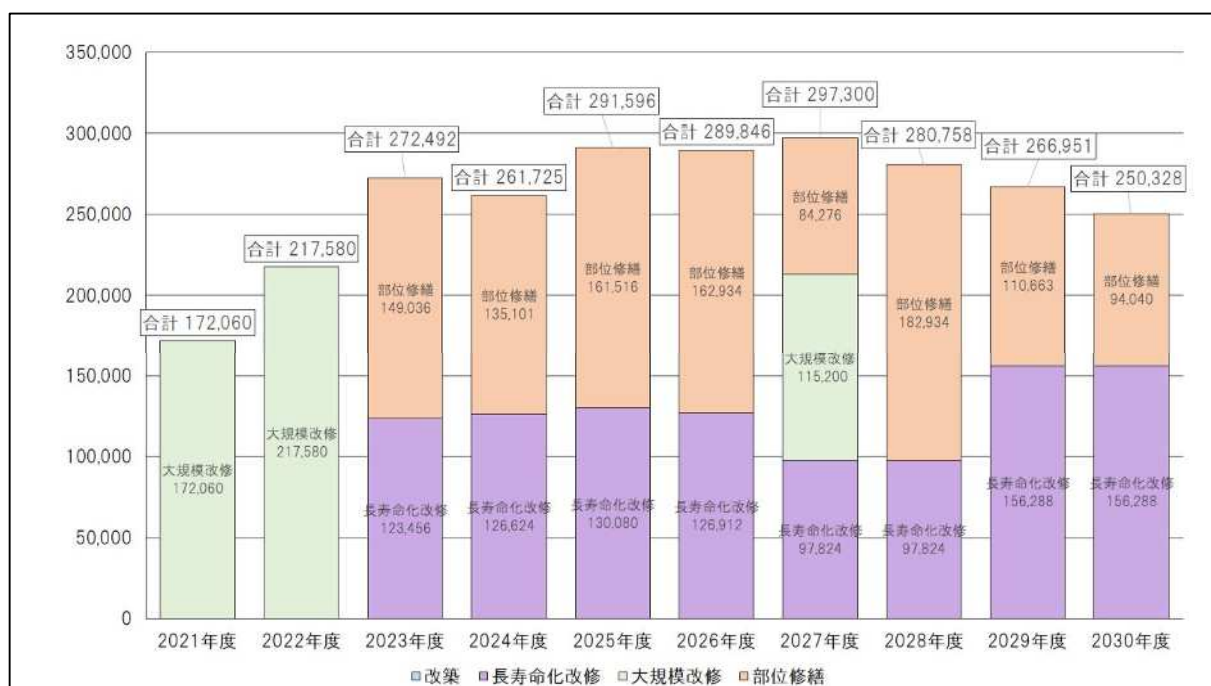


図 5-3：校舎、体育館・武道場の今後 10 年間の事業計画

本市の学校施設は、劣化状況評価で D 判定がある棟が多く存在します。

2022 年度までは「学校施設老朽化対策実施計画」に基づいた大規模改修工事を実施するため、D 判定のある棟を全て 5 年以内に改修すると 2023 年度から 2025 年度に工事が集中し、経済的な負担が大きくなることや、工事の件数が多くなることで管理が難しくなり工事が煩雑になる可能性があります。

そのため 10 年間の事業計画は、築年数や健全度が低く優先度が高い建物から整備内容を計画し、できる限り事業費の平準化を図ったうえで準じ整備を行います。その結果、10 年間の総事業費は約 26.0 億円（年あたりの平均は約 2.6 億円）です。

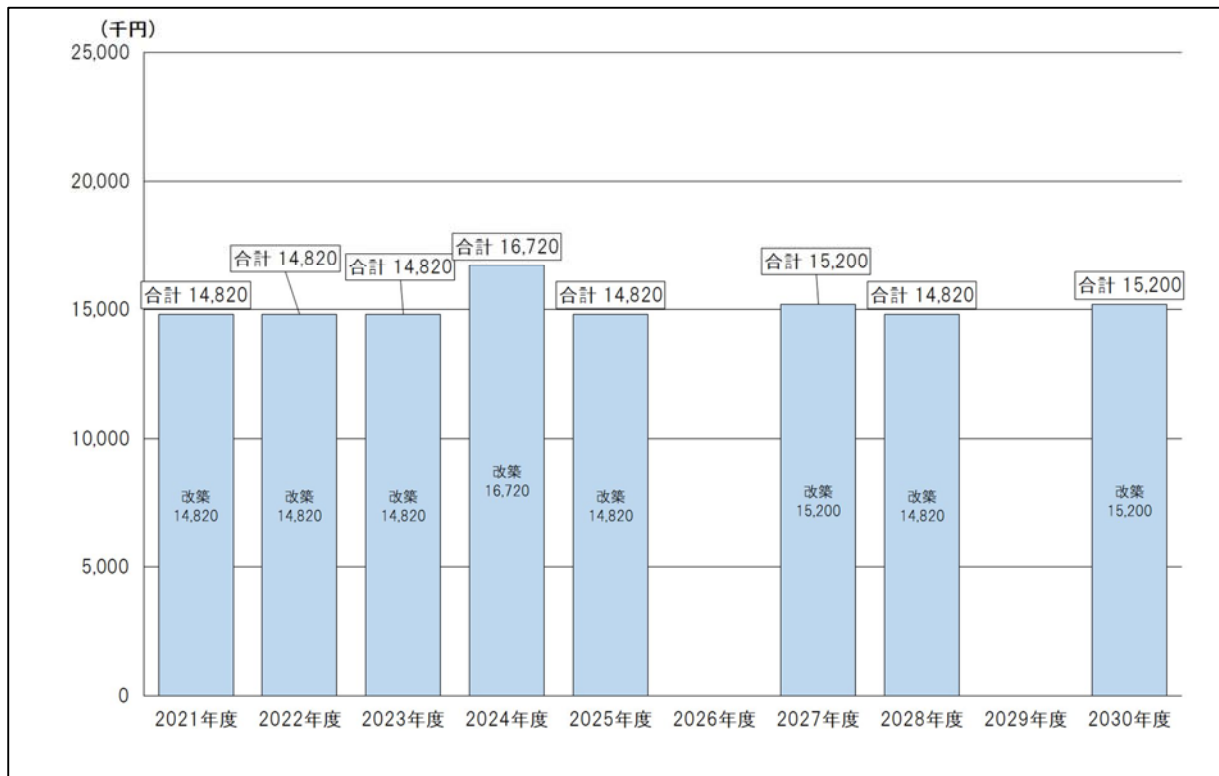


図 5-4：教員住宅の今後 10 年間の事業計画

教員住宅は、「教職員住宅整備計画」に沿った改築工事中心の 10 年間の事業計画とします。

2026 年度と 2029 年度は工事の予定はなく、その他の年度は 1 戸ずつの改築工事を予定しています。

10 年間の総事業費は約 1.2 億円（年あたりの平均は約 0.12 億円）となります。

4. 事業推進のための財源

国では「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律」等に基づき、学校施設の改造、改修、改築を支援するため、公立学校施設の整備に関する補助事業を定め、支援を行っています。学校施設等の整備にあたっては、これらの補助事業を活用しながら必要な対応に取り組んでいきます。

表 5-7：国庫補助関係

項目	大規模改造事業	長寿命化改良事業	改築事業
趣旨	文部科学省の学校施設環境改善交付金における対象事業の一つ		
	大規模な改修を行う事業	長寿命化を目的とした改修を行う事業	改築を行う事業
	◇ 経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置等	◇ 建物の耐久性を高めるとともに、現代の社会要請に応じた施設への改修	◇ 構造上危険な状態にある建物や、教育を行うのに著しく不適当な建物で特別な事情があるものの改築
交付金算定割合	33.3%	33.3%	33.3%
地方財政措置	なし	40.0%	40.0%
実質的な地方負担	66.7%	26.7%	26.7%
上限額	2億円	なし	なし
下限額	7,000万円	7,000万円	なし
補助要件	◇ 建築後20年以上経過したもの ◇ 外部及び内部の両方同時に全面的に改造するもの	◇ 耐力度調査の結果、基準点以下となったもの	◇ 危険建物の改築 耐力度調査の結果、基準点以下となったもの ◇ 不適格建物の改築 Is値がおおむね0.3に満たないもの、又は保有水平耐力に係る指標（q）の値がおおむね0.5に満たないもの

資料：学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き（平成 27 年 4 月）文部科学省



第6章 長寿命化計画の継続的運営方針

1. 情報基盤の整備と活用

(1) 施設カルテ及び建物目視調査票の作成

本計画を策定するにあたって収集した学校施設等の基礎資料や、屋根・屋上、外壁、内部等の建物目視調査結果を、以下のような構成で施設カルテとして作成しています。

表 6-1：施設カルテの構成

《学校施設別》	
図面等	施設全景写真、位置図、配置図
施設状況	学校種別、所管課、所在地、延床面積、校地面積、避難場所指定・避難場所収容可能人員、施設保有状況、土地保有状況、複合施設区分
運営情報	運営方法、学校規模（規模分類、児童・生徒数、学級数）
コスト状況	年度別経常経費（施設整備費、光熱水費、修繕費、委託費）
《棟別》	
基本情報	施設名、建物名、調査番号・棟番号、学校種別、建物用途、建築年度・築年数、構造、階数、延床面積、耐震基準・耐震診断・耐震補強
設備情報	生活環境（トイレのドライ化、木質化）、省エネ化（太陽光発電、屋上緑化）、バリアフリー（エレベーター、多目的トイレ、点字ブロック、手すり、スロープ）
改善履歴	年度、種別、工事名称、費用
外部評価表	劣化状況（屋上・屋根、屋上金物、外壁、軒・バルコニー、外部建具、外部階段）、劣化状況部位写真
内部評価表	劣化状況（内部床、内部壁、内部天井、内部建具、内部階段、トイレ）、劣化状況部位写真

(2) データベース及び簡易マニュアルの作成

施設カルテの情報は、データベース化し、パソコン上で閲覧でき、情報の一元化、共有化、継続化を図れるようにし、職員の誰もが簡単に操作できる簡易マニュアルを作成します。

(3) データベースの活用

データベースは、今後の維持管理の効率化や最適化を図るとともに、改築や改修計画等の基礎的データとして、長期にわたり活用していきます。

2. 推進体制等の整備

本計画に基づいて、担当部署と各小・中学校とが協力・連携を図りながら、必要な改修等を計画的・効率的・継続的に取り組んでいくことが必要です。

さらに、他の公共施設の長寿命化計画との関係や財政の状況、改修の検討に必要な技術的支援など、関係各課と協議・協力しながら推進していくことが重要であることから、学校施設等の長寿命化を実行的に推進するための体制を構築し、取り組んでいきます。

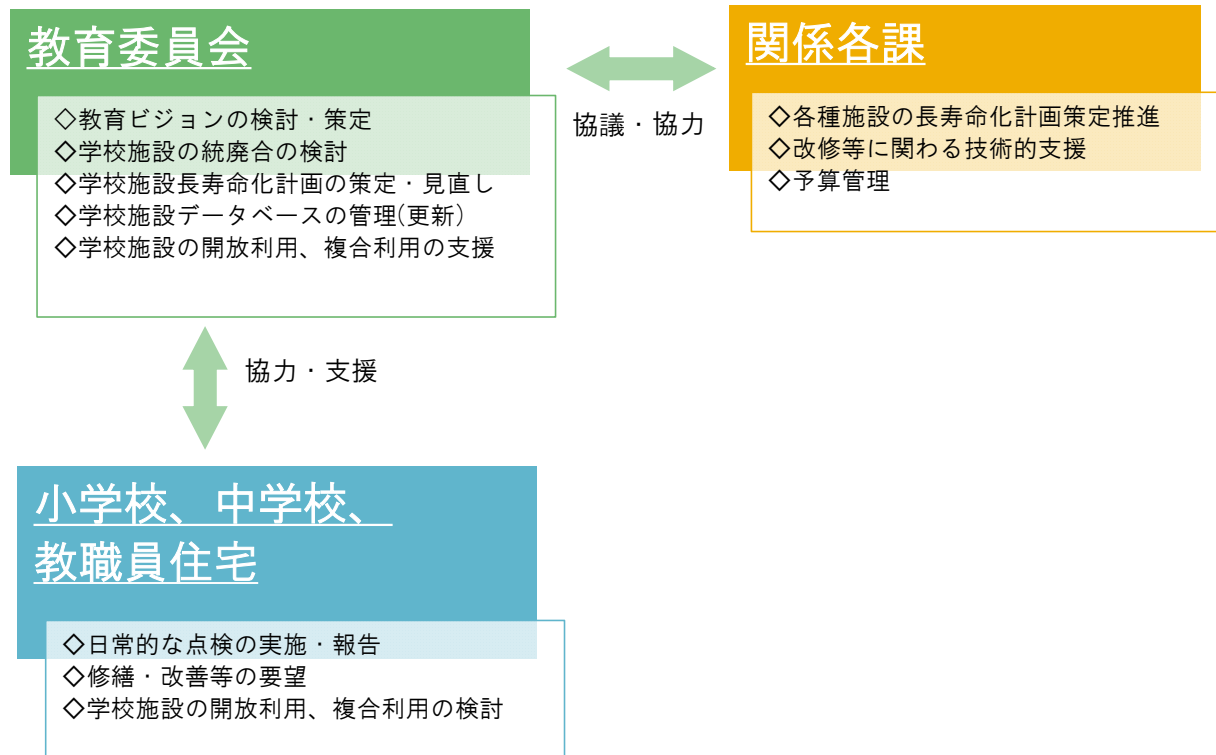


図 6-1：学校施設等長寿命化の推進体制

3. フォローアップ

効率的・効果的な施設整備を進めていくためには、本計画に基づき適切な改修や維持管理を行うだけでなく、常に施設の現状を適確に把握し、問題点を検証・改善するとともに、計画の進捗状況や目標達成状況を正確に把握するという PDCA サイクルを確立し、的確にフォローアップをしていきます。

また、本計画は計画の進捗状況のフォローアップの結果や社会環境の変化等の状況を踏まえ、必要に応じ見直しを行うこととします。

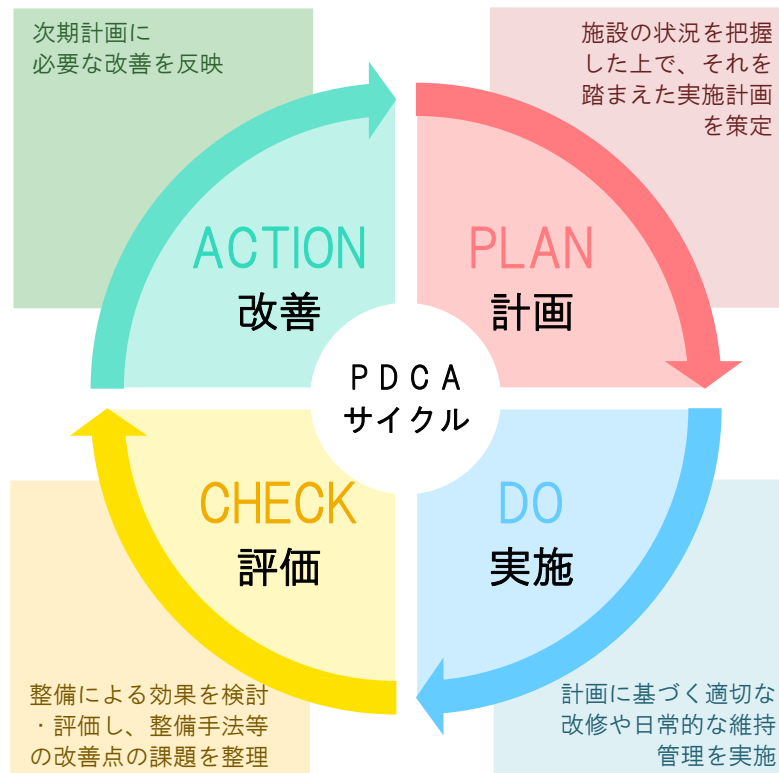


図 6-2 : PDCA サイクルイメージ